

多機能電話機



発信 を押すだけで未使用外線を捕捉します。

外線自動選局を行う場合、お買い上げ時は老番の未使用外線番号から選びます

発信ボタンなどを押した場合、指定した種別の外線（お買い上げ時は局線）を捕捉します。

1 **発信** を押す

外線発信
04:

発信者番号：通知 **フラッシュ** で変更

- ・外線発信音「ツー」が聞こえます。
- ・表示例：デジタル回線の外線4を捕捉
老番の未使用 **外線** ランプ：緑点灯
スピーカ ランプ：赤点灯

2 電話番号を押す

外線発信
0334935111

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

3 **井** (デジタル回線のみ) を押す

外線発信
0334935111

- ・すぐに電話がかかります。
- ・**井** を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- ・アナログ回線は **井** を押しません。

4

- ・受話器をあげて通話します。
スピーカ ランプ：消灯
- ・受話器を置いたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。
- ・通話終了後、受話器を置くと約5秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。(デジタル回線)

構内交換機(PBX)に接続している場合の外線発信は、相手の電話番号の前にPBXへアクセスする番号を押します。


スピーカ (または ) **0** を押すと、未使用のNTT外線を捕捉します。



また、**スピーカ** (または ) **9** **8** **9** を押すと、未使用のIP外線を捕捉します。

受話器を置いたままで電話をかける (オンフックダイヤル)

受話器を置いたままで、発信できます。

1 を押す

外線発信
04:
発信者番号：通知 で変更

- ・外線発信音「ツー」が聞こえます。
- ・表示例：デジタル回線の外線4を捕捉
 -  ランプ：緑点灯
 -  ランプ：赤点灯



2 電話番号を押す

外線発信
0334935111


- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

3 (デジタル回線のみ) を押す


外線発信
0334935111

- ・すぐに電話がかかります。
-  を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- ・アナログ回線は  を押しません。

4

- ・受話器をあげて通話します。
 -  ランプ：消灯
- ・受話器を置いたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。
- ・通話終了後、受話器を置くと約5秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

外線捕捉後、最初のダイヤルボタンを押してから次の電話番号を押す間隔は5秒以内にしてください。5秒以上になると、相手につながらないことがあります。(デジタル回線)
工事設定により、 を押すと電話機に外線の電話番号を表示させることができます。

受話器を上げてから発信します。

1

- ・内線発信音「プップッ・・・・」が聞こえます。

内線発信
10 [■]

2 発信 (または 外線) を押す

- ・外線発信音「ツー」が聞こえます。
- ・表示例：デジタル回線の外線4を捕捉

外線発信
04 :
発信者番号：通知 で変更

外線 ランプ：緑点灯

3 電話番号を押す

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

外線発信
0334935111

4 # (デジタル回線のみ) を押す

- ・すぐに電話がかかります。
- ・ # を押さなくても約5秒後に電話がかかります。
- ・アナログ回線は # を押しません。

外線発信
0334935111

MEMO

電話機の 外線 が赤点灯の場合は、他の電話機がその外線を使用しています。
使用中の 外線 を押すと話中音「プープープー・・・」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。

工事設定により、受話器を上げてすぐに発信できるように設定できます。

1 電話番号を押す

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

外線発信
0334935111

2

- ・未使用外線を選択して、発信します。
 外線 ランプ：緑点灯

MEMO

外線自動選択発信を行うとき、老番の外線番号から選びます。工事設定により若番から選ぶことができます。

電話番号を押してから電話をかける (プリセットダイヤル)

受話器をおいたままで、電話番号をダイヤルしてから、発信します。

1 電話番号を押す

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

外線発信
0334935111

2 発信(または外線)を押す

○外線ランプ：緑点灯

○スピーカランプ：赤点灯

- ・デジタル回線からの発信時、電話番号の後に **#** を付けなくてもすぐに発信します。

外線発信
0334935111

3



- ・受話器をあげて通話します。
○スピーカランプ：消灯
- ・受話器を置いたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。
- ・通話終了後、受話器を置くと約5秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

プリセットダイヤルの操作1で電話番号を途中で間違えたときは、**フラッシュ**を押すたびに最後の番号から1つつつ消去されます。**フラッシュ**を長押しすると、入力したすべての番号が消去されます。プリセットダイヤルの電話番号を押す間隔は10秒以内に行ってください。10秒以上あけると、入力したすべての番号が消えます。外線自動選択を行うとき、お買上げ時は老番の外線番号を選びます。操作1の電話番号の後に**短縮**押下して短縮番号を入力して発信することができます。(182ページ参照)プリセットダイヤル時はポーズを入れることはできません。

○オート にリダイヤルを登録することで、最後にかけた相手に、簡単な操作でかけ直すことができます。

1 発信 (または 外線) を押す

- ・表示例：デジタル回線の外線4を捕捉
- ・外線発信音「ツー」が聞こえます。

外線発信
04:
発信者番号：通知 [フッシュ] で変更

○外線 ランプ：緑点灯

○スピーカ ランプ：赤点灯

2 リダイヤル (または 短縮 #) を押す

外線発信
01:0334935111

- ・最後にかけた電話番号へ自動発信します。
- ・電話番号が14桁以上の場合には確認できません。
- ・発信履歴がない場合は、「Error」を表示します。

MEMO

操作1の代わりに、**確定** **ア1** **ア1** **確定** **ア1** を押してもリダイヤルできます。

名前が登録してあると、電話をかけたときに電話機に名前が表示されます。

名前の登録は「電話帳登録」を参照ください。(73ページ参照)

○リダイヤル を押すだけでも最後にかけた電話番号へ自動発信します。

○リダイヤル (特殊番号43) は、電話機の○オート に登録できます。(222ページ参照)

付属のステッカ「リダイヤル」シールを貼ると便利です。

オート にリダイヤルを登録することで、相手が話し中などのときに、電話機が自動的に繰り返しかけ直すことができます。

1 相手が話中

外線 ランプ：緑点灯

スピーカ ランプ：赤点灯

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

2 **リダイヤル** を押す

・最後にかけた電話番号へ自動発信します。

機能 ランプ：赤点滅

外線発信
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

3 自動的にオートリピートを行う

・途中でオートリピートダイヤルを解除するときは、 **スピーカ** を押します。

MEMO

工事設定によりオートリピートダイヤルの呼出時間、待ち時間、回数を変更できます。

呼出時間 (秒)	待ち時間 (秒)	回数
120	3	15
120	10	15
120	30	15
120	60	100

← お買い上げ時の設定

オートリピート中は、プッシュ信号を送出できません。

リダイヤル (特殊番号 4 3) は、電話機の **オート** に登録できます。(222ページ参照)

外線に着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できます。

1 着信音が鳴る

○外線 ランプ：赤点滅

着信ランプ：点滅

・表示例：外線 1

外線着信
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

2

○外線 ランプ：緑点灯

着信ランプ：消灯

外線通話中 0 : 0 5
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

MEMO

外線通話中の電話機に、別の外線着信が鳴ったときは、外線着信中の ○外線 を押すと通話ができます。ただし、前の外線との通話はきれます。

外線通話中の電話機を保留して、別の外線着信の相手と通話するときは、次の操作を行ってください。

保留、外線着信中の ○外線、外線着信の相手と通話、終話、保留中の ○外線 を押します。最初の相手と通話できます。

設定により、外線着信音を 8 種類の着信音、または 10 曲のメロディから選択して利用できます。

(63、91ページ参照)

設定により、電話機ごとに、外線着信音を停止することができます。(35ページ参照)

工事設定により、自動応答しないようにできます。

設定により、外線着信表示ランプを 8 種類の表示色から選択して利用できます。(93ページ参照)

外線着信音が鳴動または停止にかかわらず、外線ボタンを押すと応答できます。

かかってきた外線に対応するボタンがないときは、指定外線捕捉（178ページ）またはコールピックアップ（179ページ）の操作をします。

1 着信音が鳴る

外線着信
01:0334935111

○外線 ランプ：赤点滅

着信ランプ：点滅

・表示例：外線 1

2 ○外線 を押す

外線通話中 0:05
01:0334935111

○外線 ランプ：緑点灯

○スピーカ ランプ：赤点灯

着信 ランプ：消灯

3

・受話器を上げて通話します。

○スピーカ ランプ：消灯

・受話器を置いたままの場合は、スピーカから相手の声が聞こえます。

外線通話を一時保留し、保留している電話機または他の電話機より再応答できます。外線に対応するランプが点滅して保留中であることを知らせます。

1 外線通話中

2 保 留 を押す

内線発信
1 2 [■]

- ・外線相手に保留音を流します。
○外線ランプ：緑点滅
- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。
- ・保留後3分経過すると保留警報音「プープー...」が鳴ります。
- ・工事設定により1分、2分、4分、無制限のいずれかに変更できます。

3

《保留再応答のしかた》

4

内線発信
1 2 [■]

- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

5 保留中の○外線を押す

外線通話中 0 : 3 0
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

- ・保留中の○外線を押します。
○外線ランプ：緑点灯

MEMO

保留音をメロディ（10曲）から選択して利用できます。（62ページ参照）
また、お客様がご用意された曲をWeb設定から登録することで保留音として、利用することができます。（542ページ参照）
外線保留の保留音は、内線保留の保留音と共通です。
工事設定により、保留音を外部保留音源にすることができます。


保留メロディの曲を切り替えることができます。

1 確定 マ P Q R S 7 ナ J K L 5 ア 1 を押す

- ・現在設定されているメロディに「 」が表示されます。
- ・初期設定は、「愛の挨拶」です。

《保留メロディ》
愛の挨拶
ひだまりの詩
Hey Jude

2 メロディを選択する

- ・メロディの種類は、下記の通りです。
- ・表示例：を2回押して、Hey Judeを選択します。

《保留メロディ》
愛の挨拶
ひだまりの詩
Hey Jude

メロディ曲名一覧表

原題名	作曲者名
愛の挨拶	ELGAR EDWARD
ひだまりの詩	日向 敏文
Hey Jude	LENNON JOHN WINSTON MCCARTINEY PAUL JAMES
TSUNAMI	桑田 佳祐
大きな古時計	WORK HENRY CLAY
エレクトリカルパレードのテーマ	KINGSLEY GERSHON PERREY JEAN JACQUES
君をさがしてた	川口 大輔
白い恋人達	桑田 佳祐
いつも何度でも	木村 弓
川の流れるように	見岳 章

ユーザーメロディ1～4。

3 確定 を押す

- ・選択されたメロディの登録へ進みます。
- ・選択されたメロディを試聴したいときは ア 1 を押してください。

《保留メロディ》
【Hey Jude】
1 試聴
#登録

4 # を押す

- ・選択されたメロディが登録され、《メロディ設定》に戻ります。

《保留メロディ》
登録しました

MEMO

操作1は、メニュー特番751として、電話機の ○オート に登録できます。(221ページ参照)
 ユーザーメロディ1～4には、お客様がご用意された曲をWeb設定から登録することで、保留メロディ、着信メロディとして利用することができます。(542ページ参照)

アストラルは標準機能として、保留メロディ、着信メロディ 1 を使用して外線着信音をメロディに設定することができます。また、「メロディ増設ユニット」(オプション)を追加することで、着信メロディ 2、着信メロディ 3 を着信メロディとして使用することができます。

《登録のしかた》

1 (確定) | | |------------| | 《着信メロディ 1》 | | 黒電話 | | ステーション | | ハーブ |

- ・保留メロディの場合、
- ・着信メロディ 1 の場合は、
- ・着信メロディ 2 の場合は、
- ・着信メロディ 3 の場合は、
- ・現在設定されているメロディに「」表示がついています。
- ・保留メロディの初期設定は「愛の挨拶」です。
- ・着信メロディ 1 ~ 3 の初期設定は「黒電話」です。
- ・着信メロディ 2、3 を利用する場合は、メロディ増設ユニット (オプション) が必要です。
- ・表示例：(確定) を押して《着信メロディ 1》を選択します。

2 メロディを選択する

《着信メロディ1》
朝
ネクストステージ
琴

- ・メロディの種類は、下記の通りです。
- ・表示例：○を押すと、ページが切り替わり、「朝」を選択します。

メロディ曲名一覧表

原題名	作曲者名
愛の挨拶	ELGAR EDWARD
ひだまりの詩	日向 敏文
Hey Jude	LENNON JOHN WINSTON MCCARTINEY PAUL JAMES
TSUNAMI	桑田 佳祐
大きな古時計	WORK HENRY CLAY
エレクトリカルパレードのテーマ	KINGSLEY GERSHON PERREY JEAN JACQUES
君をさがしてた	川口 大輔
白い恋人達	桑田 佳祐
いつも何度でも	木村 弓
川の流れるように	見岳 章

ユーザーメロディ1~4。
黒電話、ステーション、ハーブ、朝、ネクストステージ、
琴は「着信メロディ1~3」のメロディです。

3 確定を押す

《着信メロディ1》
【朝】
1 試聴
登録

- ・選択されたメロディの登録へ進みます。
- ・選択されたメロディを試聴したいときは **1** を押してください。

4 #を押す

《着信メロディ1》
登録しました

- ・選択されたメロディが登録され、《メロディ設定》に戻ります。

《確認のしかた》

「登録のしかた」の操作1（63ページ）により確認できます。現在設定されているメロディに「**1**」表示がついています。

《変更のしかた》

変更のしかたは、「登録のしかた」と同様の操作を行います。

MEMO

操作1は、メニュー特番75X
(X: 1 保留メロディ、2 着信メロディ1、3 着信メロディ2、4 着信メロディ3)
として、電話機の **1** オート に登録できます。(221ページ参照)

外線を保留し、転送先を内線呼出しして転送することを伝えてから、転送します。

《転送する側の操作（例：内線12）》

1 外線通話中

○外線ランプ：緑点灯

2 保留を押す

内線発信
12 [■]

- ・外線相手に保留音が流れます。
- 外線ランプ：緑点滅
- ・内線発信音「プップッ・・・・」が聞こえます。

3 内線番号を押す

内線発信
12 [15]

- ・表示例：内線12から内線15を呼び出します。
- ・呼出音「プー」が聞こえます。

4 内線通話

内線通話中
12 = [15]

- ・内線相手と通話します。
「例：...さんから電話です！」

5

- ・受話器を置くと、外線が自動的に転送されます。
- 外線ランプ：赤点灯

《転送される側の操作（例：内線15）》

1 呼出音が鳴る

内線着信
15 [12]

- ・呼出音「ププ」が鳴り、音声が聞こえます。
- 着信ランプ：点滅

2

内線通話中
15 = [12]

- ・受話器を上げて内線相手と通話します。
- 着信ランプ：消灯
- ・相手が通話を切ると、外線が自動的に転送されます。

MEMO

内線番号は○オートに登録できます。(187,219ページ参照)内線番号の一覧表は548ページを参照してください。

内線番号を登録したあと、転送する側の操作2、3の代わりに外線通話中に○オートなどを直接押し、保留、内線呼び出しがワンタッチで可能になります。

工事設定により、自動転送が停止できます。

他テナントの電話機へ転送した場合、パーク経由での転送となります。

《転送する側の操作(例:内線12)》

1 外線通話中

外線 ランプ: 緑点灯

2 保留 を押す

内線発信
12 [■]

- ・外線相手に保留音が流れます。
- 外線 ランプ: 緑点滅
- ・内線発信音「プップッ・・・・」が聞こえます。

3 内線番号を押す

内線発信
12 [15]

- ・内線12から内線15を呼び出します。
- ・呼出音「プー」が聞こえます。

4

- ・受話器を置くと、外線が自動的に転送されます。

外線 ランプ: 赤点滅

【転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、5'~7'の操作をします。】

5' 保留警告音が鳴る

- ・保留警告音「プープー・・・」が鳴ります。

外線 ランプ: 緑点滅

保留警報
保留: 01

6'

7' 外線 を押す

外線通話中 0:35
01:0334935111
目黒サクサ
ホームディスプレイ着信

- ・保留中の 外線 を押して再度、外線相手と通話します。
- 外線 ランプ: 緑点灯
- ・保留中の外線が他テナントの場合は、点滅中の パーク X (X: パーク保留番号0~9) で応答します。
- パーク X (X: パーク保留番号0~9) は、特殊番号50~59として、電話機の オート に登録できます。(222ページ参照)

MEMO

内線番号は、電話機の オート に登録できます。(187,219ページ参照)

内線番号の一覧表は548ページを参照願います。

内線番号を登録したあと、転送する側の操作2、3の代わりに外線通話中に オート など直接押し、保留、内線呼び出しがワンタッチで可能になります。

工事設定により、強制転送が停止できます。

他テナントの電話機へ転送した場合、パーク経由での転送となります。

操作2~4で、他テナントへ転送後、30秒経過し、保留警告音が鳴ってから再度、外線相手と通話する場合は、緑点滅中の パーク を押します。

パーク は、特殊番号50~59として、電話機の オート に登録できます。(222ページ参照)

《転送される側の操作（例：内線15）》

1 呼出音が鳴る

外線強制転送 15 [12] 転送

- ・転送されたことを表す呼出音「プルルプルル・・・」が鳴ります。

○外線ランプ：緑点滅

着信ランプ：点滅

- ・約30秒経過した場合には、呼出音が鳴らなくなり、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・このとき転送する側（内線12）に保留警報音が鳴ります。

2

外線通話中 01:0334935111 0:35

- ・30秒以内に受話器を上げると、自動的に外線につながります。

○外線ランプ：緑点灯

着信ランプ：消灯

転送したい相手が近くにいる場合には通話を保留して口頭で伝え、応答してもらいます。

《転送する側の操作(例：内線12)》

1 外線通話中

○外線ランプ：緑点灯

2 保留を押す

内線発信
12 [■]

・外線相手に保留音が流れます。

○外線ランプ：緑点滅

・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

3

11月 5日(金) 内線12
午前 9:00

・カレンダー・時計表示に戻ります。

4 口頭で呼びかける

・口頭で呼びかけます。

「例：...さんから電話です！」

《転送される側の操作(例：内線15)》

1

内線発信
15 [■]

○外線ランプ：赤点滅

・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

2 保留中の○外線を押す

○外線ランプ：緑点灯

外線通話中 0:35
01:0334935111

3 外線通話

・外線相手と通話します。

外線通話を一時保留してからパークに転送すると、保留している電話機または他テナントの電話機より再応答できます。対応する **○パーク** のランプが点滅して保留中であることを知らせます。

パークは 0 ~ 9 まであります。

《転送する側の操作(例：内線 1 2)》

1 外線通話中

2 **保留** を押す

内線発信
1 2 [■]

- ・外線相手に保留音が流れます。
○外線 ランプ：緑点滅
- ・保留後 3 分経過すると保留警報音「プープー・・・」が鳴ります。
- ・工事設定により 1 分、2 分、4 分、無制限のいずれかに変更できます。

3 **○パーク** を押す

内線発信
パーク [0] 転送

- ・表示例：**○パーク** 0 へ転送
- ・保留している外線がパークに転送されます。
- ・パーク転送音「ピピピピッ・・・」が聞こえます。
○外線 ランプ：赤点灯
○パーク ランプ：緑点滅

4

《転送される側の操作(例：内線 1 5)》

1

内線発信
1 5 [■]

- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。
○パーク ランプ：赤点滅

2 **○パーク** を押す

- ・表示例：**○パーク** 0 の保留に应答
- ・保留中の **○パーク** を押します。
○パーク ランプ：緑点灯

3 外線通話

外線通話中 0 : 3 5
パーク 0 :

- ・外線相手と通話します。

MEMO

パークを使用する場合は、必ず **○パーク** (特殊番号 5 0 ~ 5 9) を電話機の **○オート** に登録してください。(222 ページ参照)

転送された側で再度 **保留** を押すと、**○パーク** が緑点滅します。

再度応答する場合は、受話器を上げて点滅している **○パーク** を押してください。

外線通話を保留して他テナントの電話機へ内線転送した場合でも、パーク経由での転送になります。

受話器を上げて内線をかけます。

1

- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

内線発信
1 2 [■]

2 内線番号を押す

- ・表示例：内線 1 2 から内線 1 5 を呼び出します。
- ・呼出音「プー」が聞こえます。

内線発信
1 2 [1 5]

3 内線通話

- ・相手が出たら通話します。

内線通話中
1 2 = [1 5]

MEMO

工事設定により内線呼び出しは、音声の他に信号音でも呼び出せます。(初期設定：音声)
内線発信でダイヤルを操作しないで、約3分経過するとビジートーン「プープープー・・・」が鳴り、更に約20秒するとハウラ音「ピピピ・・・」が鳴り、着信ランプ7色に点滅します。

受話器を置いたままで内線呼び出しする（内線オンフック発信）

受話器を置いたままで、内線へかけられます。

1 を押す

・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

 ランプ：赤点灯

内線発信
1 2 [■]

2 内線番号を押す

・表示例：内線 1 2 から内線 1 5 を呼び出します。

・呼出音「プー」が聞こえます。

内線発信
1 2 [1 5]

3

・相手が出たら受話器を上げて通話します。

 ランプ：消灯

内線通話中
1 2 = [1 5]

MEMO

工事設定により内線呼び出しは、音声の他に信号音でも呼び出せます。（初期設定：音声）

内線発信でダイヤルを操作しないで、約3分経過するとビジートーン「プープープー・・・」が鳴り、更に約20秒するとハウラ音「ピピピ・・・」が鳴り、着信ランプ7色に点滅します。

内線の呼び出しは、音声での呼び出しと信号音での呼び出しを自由に切り替えることができます。
ただし、DC子機や単独電話機への内線呼出は、信号音のみです。
初期設定は、音声での呼び出しです。

1

- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

内線発信
12 [■]

2 内線番号を押す

- ・表示例：内線 1 2 から内線 1 5 を呼び出します。
- ・内線呼び出し中です。

内線発信
12 [15]

3 を押す

- ・  を押すたびに音声 信号音を繰り返します。

内線発信
12 [15]

MEMO

内線通話が終わると、内線呼出音の切替は初期に戻ります。
工事設定により、信号音を複合音（低）から、単音、複合音（中）、複合音（高）に変更できます。
工事設定により、初期設定を音声呼出から信号音呼出に変更できます。

電話番号と名前を合わせて電話帳として登録することができます。

電話番号をあらかじめ登録しておく、簡単な操作で電話がかけられます。

登録後は、「電話帳カナ検索」(83ページ)、「電話帳グループ検索」(86ページ)、「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、活用ください。

〈登録のしかた〉

1 確定 を押す

《電話帳登録 - 短縮番号》
 (000 ~ 999)
 自動選択

- ・《電話帳登録 - 短縮番号》へ進みます。

2 短縮番号を入力する

《電話帳登録》
 短縮番号
 グループ
 電話番号

- ・短縮番号をダイヤルボタンで、3桁(000 ~ 999)入力すると、短縮番号が仮登録され、《電話帳登録》へ進みます。
- ・入力された番号が登録済みの場合は、その短縮番号の登録内容が表示されます。ただし、他の電話機でグループの登録が「個別」に登録されている短縮番号は指定できません。
- ・ を押すと、空き番号が自動で入力されます。ただし、空き番号がない場合は登録できません。
- ・表示例：短縮番号 000

3 を押す

《電話帳登録 - グループ》
 グループ 0
 グループ 1
 グループ 2

- ・《電話帳登録 - グループ》へ進みます。

4 ~ 、 のいずれかを押す

《電話帳登録》
 グループ
 電話番号
 名前

- ・グループを選択します。
 グループ 0 ~ グループ 9、 個別
- ・グループが仮登録され《電話帳登録》に戻ります。
- ・初期設定は、「グループ 0」です。
- ・グループ名の設定は、88ページを参照してください。
- ・表示例： を押して「グループ 1」を選択する。

5 **サ** **DEF** **3** を押す

《電話帳登録 - 電話番号》

桁数：最大 24 桁
短縮 特殊コード

- ・《電話帳登録 - 電話番号》へ進みます。

6 電話番号を入力する

《電話帳登録 - 電話番号》

03-3493-5111
桁数：最大 24 桁
短縮 特殊コード

《電話帳登録 - 電話番号》

[001][002][003][004][005]
桁数：最大 24 桁
短縮 特殊コード

- ・電話番号を登録します。
- ・電話番号は、最大 24 桁まで入力できます。
- ・**短縮** を押すと、特殊コードを入力できます。(下記のMEMO参照)
- ・複数の短縮番号を組み合わせて登録するネスティングダイヤルの場合は、[] 内に短縮番号を入れてください。
- ・入力した番号を間違えた場合は、**フラッシュ** を押して消去します。
- ・表示例：(上)：電話番号、(下)：ネスティング

7 **確定** を押す

《電話帳登録》

3 電話番号 03-3493-5111
4 名前
5 カナ

- ・電話番号を入力し、**確定** を押すと、電話番号が仮登録され《電話帳登録》に戻ります。

8 **タ** **GHI** **4** を押す

《電話帳登録 - 名前》

桁数：最大 16 桁
漢

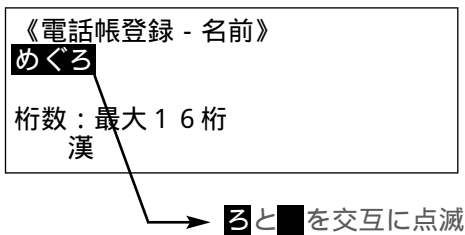
- ・《電話帳登録 - 名前》へ進みます。

MEMO

電話番号入力時に以下のこともできます。

- ・**短縮** を 1 回押すと「P」(ポーズ)を入力することができます。(待ち時間：お買い上げ時は約 3 秒) 電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。(デジタル回線) (登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。)
- ・**短縮** を 2 回押すと「E」(切断コード)を入力することができます。
- ・**短縮** を 3 回押すと「-」(ハイフン)を入力することができます。
- ・**短縮** を 4 回押すと「[]」(ネスティング)を入力することができます。
短縮 A に短縮 A (ネスティングさせたい短縮番号) を登録することはできません。
共通短縮番号に個別短縮番号を登録することはできません。
- ・**短縮** を 5 回押すと「P」(ポーズ)に戻ります。

9 文字を入力する



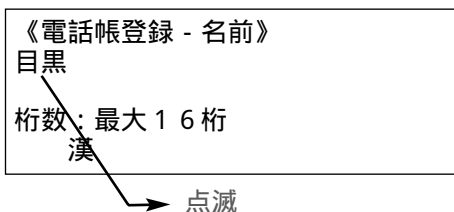
と■を交互に点滅

- 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、全角で最大16文字)
- 短縮で文字入力モードを変更します。
かな(漢) カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- 入力できる文字は、下記の表のとおりです。

ダイヤルボタン	かな(漢)	カナ(カナ)	英字(英)	数字(数)
1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース(空き)	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつとっ	タチツテトツ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	T U V t u v	8
9	らりるれる	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをん ゝー。 !?,。	ワワン ゝー。 !?,。	@ . ~ / ; _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
フラッシュ	一文字消去			
左右移動	カーソル左右移動			

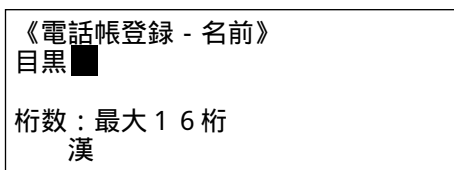
- 文字を入力していないときに、「かな」モードで # を押すと、スペース(空き)が入力できます。
- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
表示例：「めぐろ」を変換して「目黒」を表示します。
- 左右移動で変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、上下移動を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、フラッシュを押したあとにかな文字で変換文字を変更して確認ください。
- 変換候補が決定されます。

10 上下移動を押す

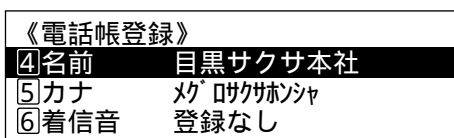


点滅

11 確定を押す

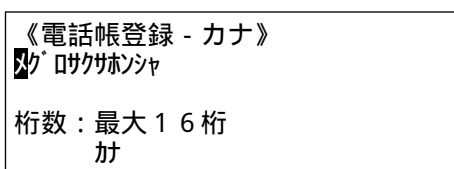


12 確定を押す



- 名前を入力し、確定を押すと名前が仮登録され、《電話帳登録》に戻ります。
- 表示例：名前「目黒サクサ本社」

13 ナJKL 5を押す






- 《電話帳登録 - カナ》へ進みます。
- カナは、前項の名前入力時に自動的に入力されます。

次ページへ →

14 カナを編集する



《電話帳登録 - カナ》
㊦ カナ

桁数：最大16桁
カ

- ・  でカーソルを移動し、カナを編集します。
- ・  で文字入力モードを変更します。
カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- ・ 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、半角で最大16文字)
- ・ 入力できる文字は、前頁の表のとおりです。
ただし、「英字」モードで  を押したときの「~」は「」になります。

15 を押す

《電話帳登録》
5 カナ ㊦ カナ
6 着信音 登録なし
登録

- ・ カナを編集し、 を押すとカナが仮登録され、《電話帳登録》に戻ります。
- ・ 「カナ」モードで  を押すとスペース(空き)が入力できます。




16 を押す

《電話帳登録 - 識別着信音》
登録なし
着信音 A
着信音 B

- ・ 《電話帳登録 - 識別着信音》へ進みます。
- ・ グループが「個別」に設定されている場合「変更できません」が表示され、《電話帳登録》に戻ります。


17 着信音を選択する

《電話帳登録 - 識別着信音》
登録なし
着信音 A
着信音 B

- ・   にて着信音を選択します。
「登録なし」、「着信音 A ~ 着信音 H」
「保留メロディ」、「着信メロディ 1 ~ 着信メロディ 3」
- ・ 初期設定は「登録なし」です。
- ・ 着信メロディ 2、3 を利用する場合は、メロディ増設ユニット(オプション)が必要です。
- ・ 表示例： を押して、着信音 A を選択する。


18 を押す

《電話帳登録》
6 着信音 着信音 A
登録
保留 戻る


- ・ 着信音を選択し、 を押すと、着信音が仮登録され《電話帳登録》に戻ります。

19 を押す

《電話帳登録》
登録しました

- ・ 仮登録された内容を確認してください。
- ・ 確認後、 を押すと本登録され、《電話帳》に戻ります。
- ・ 電話番号またはカナが仮登録されていないと、本登録できません。
- ・ 指定した短縮番号が登録済みで参照可能な場合、上書き確認へ移ります。
- ・ 指定した短縮番号が登録済みで参照不可の場合、登録しないで《電話帳登録》に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番21として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

 を押すと、1つ前のメニュー画面に戻ります。

《確認のしかた》

確認のしかたは、「電話帳カナ検索」(83ページ)、「電話帳グループ検索」(86ページ)、「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、短縮番号を選択したあとに行います。
ここでは、「電話帳一覧より検索」による説明をします。




1 を押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・《電話帳》へ進みます。
- ・名前もしくは電話番号が50音順に表示されます。


2 短縮番号を選択する

《電話帳》
100:目黒サクサ
001 目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・  により、短縮番号を選択します。
- ・表示例： を押して、短縮番号001を選択します。



3 を押す

短縮:001
0334935111
目黒サクサ本社
メグロサクサホンシャ


- ・選択された短縮番号の登録内容が、上から順に「短縮番号」「電話番号」「名前」「カナ」と表示されます。
- ・表示例：短縮番号001
- ・再度  を押すと《電話帳》にもどります。
- ・「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。

4 を押す

短縮:001
グループ:グループ1
着信音:着信音A

- ・次の登録内容が上から順に「短縮番号」「グループ」「着信音」と表示されます。
- ・ を押すと、操作3の表示に戻ります。
- ・ を押すと、《電話帳》に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番22として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

《変更のしかた》

変更のしかたは、「電話帳カナ検索」(83ページ)、「電話帳グループ検索」(86ページ)、「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、短縮番号を選択したあとに行います。

ここでは、「電話帳一覧より検索」による説明をします。




1 **確定** **カ** **2** **カ** **2** を押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・《電話帳》へ進みます。
- ・名前もしくは電話番号が50音順に表示されます。

2 短縮番号を選択する

《電話帳》
100:目黒サクサ
001 目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・  により修正したい短縮番号を選択します。
- ・表示例： を押して、短縮番号001を選択します。

3 **確定** を押す

001:目黒サクサ本社
0334935111
1 発信
2 変更

- ・選択された短縮番号の設定へ進みます。
- ・表示例：短縮番号001

4 **カ** **2** を押す

《電話帳登録》
1 短縮番号 001
2 グループ グループ0
3 電話番号 0334935111

- ・《電話帳登録》へ進みます。

- 5 これ以降は電話帳の《登録のしかた》をご覧になり、変更したい各項目へ進んでください。
- 「短縮番号」 操作2(73ページ) 「グループ」 操作3、4(73ページ)
- 「電話番号」 操作5~7(74ページ) 「名前」 操作8~12(74,75ページ)
- 「カナ」 操作13~15(75,76ページ) 「着信音」 操作16~18(76ページ)
- 変更が終わりましたら必ず、操作19の本登録(76ページ)を行ってください。
- 短縮番号を変更して、本登録した場合は、元の短縮番号のデータは残っています。必要がなければ消去してください。

6 **井** を押す

《電話帳登録》
上書きしますか?
1 はい
2 いいえ

- ・仮登録した内容を確認してください。
- ・確認後、**井** を押すと、上書き確認へ進みます。

7 **ア** **1** を押す

《電話帳登録》
上書きしました

- ・本登録され、《電話帳》に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番22として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた》

消去のしかたは、「電話帳カナ検索」(83ページ)「電話帳グループ検索」(86ページ)「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、短縮番号を選択したあとに行います。

ここでは、「電話帳一覧より検索」による説明をします。




1 確定 を押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・《電話帳》へ進みます。
- ・名前もしくは電話番号が50音順に表示されます。

2 短縮番号を選択する

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・  により消去したい短縮番号を選択します。
- ・表示例： を押して、短縮番号001を選択します。


3 確定 を押す

001:目黒サクサ本社
0334935111
①発信
②変更



001:目黒サクサ本社
0334935111
③消去
保留 戻る

- ・選択された短縮番号の設定へ進みます。
- ・表示例：短縮番号001

- ・表示例： を押すと、ページが切り替わり、③消去を表示します。

4 サ DEF 3 を押す

001:目黒サクサ本社
消去しますか?
①はい
②いいえ

- ・消去確認へ進みます。

5 ア 1 を押す

001:目黒サクサ本社
消去しました

- ・選択された短縮番号が消去され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・表示例：短縮番号001を消去

MEMO

操作1は、メニュー特番22として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

着信した相手によって着信音を変える

(識別着信)

あらかじめ短縮番号ごとに着信音(着信音A~H、保留メロディ、着信メロディ1~3)を登録しておくことにより、着信時に発信者番号と短縮番号に登録されている電話番号(市外局番含む)が一致した場合、登録されている着信音にて着信音を鳴動させることができます。

《登録のしかた》

登録のしかたは、「電話帳カナ検索」(83ページ)「電話帳グループ検索」(86ページ)「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、短縮番号を選択したあとに行います。

ここでは、「電話帳一覧より検索」による説明をします。




1 確定 と押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・《電話帳》へ進みます。
- ・名前もしくは電話番号が50音順に表示されます。

2 短縮番号を選択する

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・  により修正したい短縮番号を選択します。
- ・表示例： を押して、短縮番号001を選択します。

3 確定 を押す

001:目黒サクサ本社
0334935111
①発信
②変更

- ・選択された短縮番号の設定へ進みます。
- ・表示例：短縮番号001


4 を押す

《電話帳登録》
①短縮番号 001
②グループ グループ0
③電話番号 0334935111



《電話帳登録》
④名前 目黒サクサ本社
⑤カナ 目黒サクサ本社
⑥着信音 登録なし

- ・選択された短縮番号の《電話帳登録》へ進みます。

- ・表示例： を押して、ページを切り替えると、⑥着信音を表示します。




5 **ハ MNO 6** を押す

《電話帳登録 - 識別着信音》
登録なし
着信音 A
着信音 B

- ・《電話帳登録 - 識別着信音》に進みます。
- ・グループが「個別」に設定されている場合「変更できません」が表示され、《電話帳登録》に戻ります。

6 着信音を選択する

《電話帳登録 - 識別着信音》
登録なし
着信音 A
着信音 B

- ・  にて着信音を選択します。
- ・「登録なし」、「着信音 A ~ 着信音 H」、「保留メロディ」、「着信メロディ 1 ~ 着信メロディ 3」
- ・初期設定は「登録なし」です。
- ・保留メロディに設定すると、保留音との兼用です。
- ・着信メロディ 2、3 を利用する場合は、メロディ増設ユニット（オプション）が必要です。
- ・表示例： を押して、「着信音 A」を選択します。

7 **確定** を押す

《電話帳登録》
6 着信音 着信音 A
登録
保留 戻る

- ・着信音が仮登録され《電話帳登録》に戻ります。

8 **#** を押す

《電話帳登録》
上書しますか？
1 はい
2 いいえ

- ・**#** を押すと上書き確認へ移ります。

9 **ア 1** を押す

《電話帳登録》
上書きしました

- ・**ア 1** を押すと上書きされ、《電話帳》に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番22として、電話機の **（ ）オート** に登録できます。（221ページ参照）

《確認のしかた》

確認のしかたは、「電話帳カナ検索」(83ページ)、「電話帳グループ検索」(86ページ)、「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、短縮番号を選択したあとに行います。

ここでは、「電話帳一覧より検索」による説明をします。




1 を押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・《電話帳》へ進みます。
- ・名前か電話番号が50音順に表示されます。


2 短縮番号を選択する

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・  により、確認したい短縮番号を選択します。
- ・表示例： を押して、短縮番号001を選択します。



3 を押す

短縮:001
0334935111
目黒サクサ本社
メグロサクサホンシャ

- ・選択された短縮番号の登録内容が、上から順に「短縮番号」、「電話番号」、「名前」、「カナ」と表示されます。
- ・表示例：短縮番号001
- ・再度  を押すと、《電話帳》にもどります。
- ・「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。

4 を押す

短縮:001
グループ:グループ1
着信音:着信音A

- ・次の登録内容が上から順に「短縮番号」、「グループ」、「着信音」と表示されます。
- ・ を押すと、操作3の表示に戻ります。
- ・ を押すと、《電話帳》に戻ります。

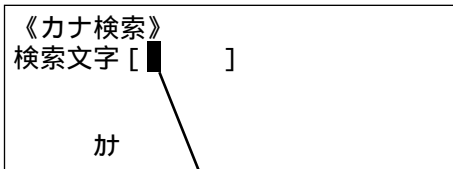
MEMO

操作1は、メニュー特番22として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

「電話帳」に登録されている中からカナ（最大5文字）により検索を行い、50音順に表示します。
 「個別カナ検索」の場合、電話機ごとに個別で登録されている中からカナ検索を行います。

《かけかた（カナ検索）》

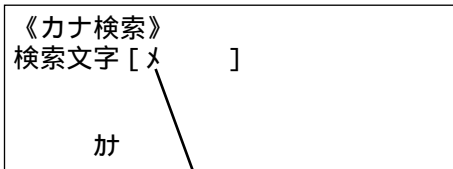
1  (または、 **カ ABC 2** **サ DEF 3**) を押す



点滅




・《カナ検索》へ進みます。

2 カナを入力する




メとを交互に点滅

- ・カナを入力します。
- ・カナ入力は、ダイヤルボタンから入力します。
 (文字数は、半角で最大5文字)
- ・**短縮**で文字入力モードを変更します。
 カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- ・入力できる文字は、下記の表のとおりです。
- ・表示例：検索文字「メ」

ダイヤルボタン	カナ (カナ)	英字 (英)	数字 (数)
 1	アイウエオ アイウエオ	スペース (空き)	1
 2	カキクケコ	A B C a b c	2
 3	サシスセソ	D E F d e f	3
 4	タチツテトツ	G H I g h i	4
 5	ナニヌネノ	J K L j k l	5
 6	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
 7	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
 8	ヤユヨ ャュョ	T U V t u v	8
 9	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
 0	ワロン ° - . ! ? 、 。	@ . / : _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
 フラッシュ	一文字消去		
	カーソル左右移動		

MEMO



次ページへ →

操作1は、メニュー特番23として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 電話帳検索で、文字の表示優先順位は、次のとおりです。

「 - (バー) 」 「 ` (濁点) 」 「 ° (半濁点) 」 「 ア 」 「 ア 」 「 イ 」 「 イ 」 (中略) 「 ヲ 」
 「 ン 」 「 A 」 「 a 」 「 B 」 「 b 」 (中略) 「 Z 」 「 z 」 「 0 」 「 1 」 「 2 」
 (中略) 「 9 」 「 ! 」 「 " 」 「 # 」 「 \$ 」 「 % 」 「 & 」 「 ' 」 「 (」 「) 」 「 * 」
 「 + 」 「 , 」 「 - (マイナス) 」 「 . 」 「 / 」 「 : 」 「 ; 」 「 < 」 「 = 」 「 > 」 「 ? 」
 「 @ 」 「 [」 「 ¥ 」 「] 」 「 ^ 」 「 _ 」 「 ` 」 「 { 」 「 | 」 「 } 」 「 「 」 「 。 」 「 「 」
 「 」 「 、 」 「 . 」 「 (スペース) 」

3 カナ入力後、 (または)を押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・ 検索するカナを入力後、 (または )を押すと、カナ検索を行い、名前が電話番号が50音順に表示されます。
- ・ 表示例：「メ」を入力して検索した場合。

4 短縮番号を選択する









《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A





短縮:001
0334935111
目黒サクサ本社
メロサクサホンシャ ▶



短縮:001
グループ:グループ1
着信音:着信音A ◀

- ・   により短縮番号を選択します。
- ・ 表示例： を押して短縮番号001を選択します。
- ・  を押すと、選択された短縮番号の登録内容が、上から順に「短縮番号」、「電話番号」、「名前」、「カナ」と表示されます。
- ・ 表示例：短縮番号001
- ・ 再度  を押すと、《電話帳》に戻ります。
- ・ 「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。
- ・ さらに  を押すと、次の登録内容が、上から順に「短縮番号」、「グループ」、「着信音」と表示されます。
- ・  を押すと上記操作3の画面に戻ります。
- ・  を押すと、《電話帳》に戻ります。



5 を押す

001:目黒サクサ本社
0334935111
 1 発信
 2 変更

- ・ 選択された短縮番号の設定へ進みます。
- ・ 表示例：短縮番号001

6 を押す

外線発信
001:0334935111
目黒サクサ本社

- ・ 空き外線を自動捕捉し、選択された短縮番号に発信します。
- ・  ランプ：緑点灯
- ・  ランプ：赤点滅

MEMO

操作1はメニュー特番23として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

《かけかた（個別カナ検索の場合）》

電話帳個別カナ検索とは、
電話帳登録時のグループ設定で、個別に登録された短縮番号は、登録した電話機からのみ、
検索、発信、変更、消去ができます。

1 (確定) カ 2 ナ 5 と押す

・《個別カナ検索》へ進みます。

《個別カナ検索》 検索文字 [■] か

(以降、カナ検索と同じ操作です。カナ検索のしかたの操作2から行ってください。)
(83ページ参照)

MEMO

操作1はメニュー特番25として、電話機の()オートに登録できます。(221ページ参照)
付属のステッカ「個別カナ検索」シールを貼ると便利です。

グループから検索して発信する

(電話帳グループ検索発信)

「電話帳」に登録されている中からグループ別に検索を行い、電話をかけることができます。
電話帳を10種類(グループ0~9)に分けて登録することができます。
また、グループに「得意先A」「得意先B」などの名前をつけることができます。(88ページ参照)

《かけかた》

1 確定 を押す

《グループ検索》
0 グループ0
1グループ1
2グループ2

・《グループ検索》へ進みます。

2 ~ のいずれかを押す

《グループ1》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

・グループを選択します。
グループ0 ~ グループ9、個別
・選択されたグループで検索を行い、名前か電話番号が50音順に表示されます。
・表示例：グループ1

3 短縮番号を選択する

《グループ1》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

・ により短縮番号を選択します。
・表示例：を押して短縮番号001を選択します。

短縮:001
0334935111
目黒サクサ本社
メグロサクサホンシャ ▶

・を押すと、選択された短縮番号の登録内容が、上から順に「短縮番号」、「電話番号」、「名前」、「カナ」と表示されます。
・表示例：短縮番号001
・再度 を押すと、《電話帳》に戻ります。
・「▶」表示は、さらに登録内容があることを示します。

短縮:001
グループ:グループ1
着信音:着信音A ◀

・さらに を押すと、次の登録内容が、上から順に「短縮番号」、「グループ」、「着信音」と表示されます。
・を押すと上記操作3の画面に戻ります。
・を押すと、《電話帳》に戻ります。

4 を押す

001:目黒サクサ本社
0334935111
1 発信
2変更

・選択された短縮番号の設定へ進みます。
・表示例：短縮番号001

5 を押す

外線発信
001:0334935111
目黒サクサ本社

・空き外線を自動捕捉し、選択された短縮番号に発信します。
ランプ：緑点灯
ランプ：赤点滅

MEMO

操作1はメニュー特番24、
操作1、2はメニュー特番24X(X:グループ0~グループ9、個別)
として、電話機の に登録できます。(221ページ参照)
付属のステッカ「グループ検索」シールを貼ると便利です。

「電話帳」の「一覧表示」により短縮番号を検索し、発信します。
この場合、登録されている中から50音順に表示します。

〈かけかた〉




1 を押す

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A



- ・《電話帳》へ進みます。
- ・名前か電話番号が50音順に表示されます。

2 短縮番号を選択する

《電話帳》
100:目黒サクサ
001:目黒サクサ本社
050:目黒A

- ・  により短縮番号を選択します。
- ・表示例： を押して短縮番号001を選択します。

3 を押す

001:目黒サクサ本社
0334935111



- ・選択された短縮番号の設定へ進みます。
- ・表示例：短縮番号001

4 を押す

外線発信
001:0334935111
目黒サクサ本社

- ・空き外線を自動捕捉し、選択された短縮番号に発信します。

 外線 ランプ：緑点灯

 機能 ランプ：赤点滅

MEMO

操作1は、メニュー特番22として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

グループ名の登録を行います。

グループ名を登録しておくと、電話帳のグループ検索等、グループごとに操作を行うのに便利です。

《登録のしかた》

1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **タ 4** を押す

《グループ設定》
0 グループ0
1グループ1
2グループ2

・《グループ設定》へ進みます。

2 **0** ~ **ラ 9** のいずれかを押す

《グループ1》
1 着信音設定
2着信ランプ設定
3グループ名前登録

・グループを選択します。

0グループ0 ~ **9**グループ9

・選択されたグループの登録へ進みます。

・表示例： **ア 1** を押してグループ1を選択します。

3 **サ 3** を押す

《グループ1 - 名前》
【登録なし】
1 名前登録
2名前消去

・選択されたグループの名前設定へ進みます。

・【 】内に現在登録されている名前を表示します。

・初期設定は「登録なし」です。

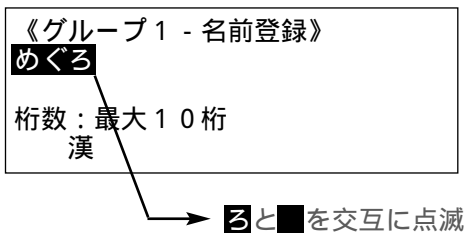
・表示例：グループ1

4 **ア 1** を押す

《グループ1 - 名前登録》
■
桁数：最大10桁
漢

・選択されたグループの名前登録へ進みます。

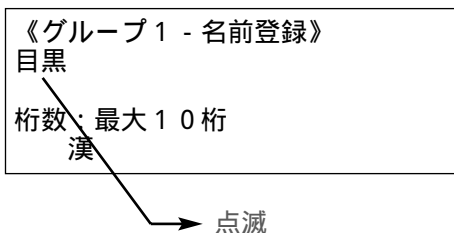
5 文字を入力する



- 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、全角で最大10文字)
- 短縮で文字入力モードを変更します。
かな(漢) カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- 表示例：「めぐる」
- 入力できる文字は、下記の表のとおりです。

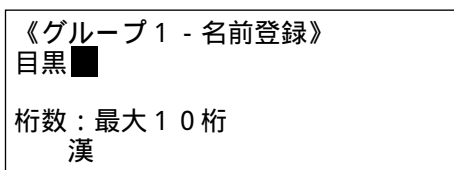
ダイヤルボタン	かな(漢)	カナ(カナ)	英字(英)	数字(数)
1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース(空)	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABC abc	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEF def	3
4	たちつとっ	タチツテトツ	GHI ghi	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRS p q r s	7
8	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
0	わをん ゝー。 ! ?、。	ワワン ゝー。 ! ?、。	@ . ~ / : _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
フラッシュ	一文字消去			
カーソル	カーソル左右移動			

6 を押す



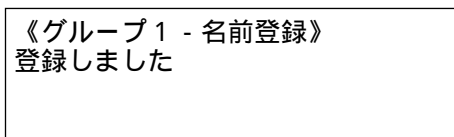
- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- にて変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、フラッシュを押したあとにかな文字で変換文字を変更して確認ください。
- 表示例：「めぐる」を変換して「目黒」を表示します。

7 確定を押す



- 変換候補が決定されます。

8 確定を押す



- グループ名が登録され、選択されたグループの設定に戻ります。



MEMO

操作1は、メニュー特番914、
 操作1、2は、メニュー特番914X(X: 0グループ0~9グループ9)
 操作1~3は、メニュー特番914X3(X: 0グループ0~9グループ9)
 操作1~4は、メニュー特番914X31(X: 0グループ0~9グループ9)
 として、オートに登録できます。(221ページ参照)

《確認のしかた》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **タ** 4 と押す

《グループ設定》
0 グループ0
1目黒
2グループ2

- ・《グループ設定》へ進みます。
- ・名前が登録されているグループは名前で表示します。
- ・表示されるのは、グループ0～グループ2です。
- ・  にて、グループ3～グループ9を見られます。
- ・表示例：目黒（グループ1）

《消去のしかた》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **タ** 4 と押す

《グループ設定》
0 グループ0
1目黒
2グループ2

- ・《グループ設定》へ進みます。
- ・名前が登録されているグループは名前で表示します。
- ・表示例：目黒（グループ1）

2 **フ** 0 ~ **ラ** 9 のいずれかを押す

《グループ1》
1 着信音設定
2着信ランプ設定
3グループ名前登録

- ・名前を消去したいグループを選択します。
- ・**0**グループ0～**9**グループ9
- ・グループを選択すると、選択されたグループの設定へ進みます。
- ・表示例：**ア** 1 を押して目黒（グループ1）を選択します。

3 **サ** 3 を押す

《グループ1 - 名前》
【目黒】
1 名前登録
2名前消去

- ・選択されたグループの名前設定へ進みます。

4 **カ** 2 を押す

《グループ1 - 名前消去》
消去しますか？
1 はい
2いいえ

- ・選択されたグループの消去確認へ進みます。

5 **ア** 1 を押す

《グループ1 - 名前消去》
消去しました

- ・選択されたグループの名前が消去され、選択されたグループの設定に戻ります。

MEMO

操作1はメニュー特番9 1 4、
操作1、2はメニュー特番9 1 4 X (X : **0**グループ0～**9**グループ9)
操作1～3はメニュー特番9 1 4 X 3 (X : **0**グループ0～**9**グループ9)
操作1～4はメニュー特番9 1 4 X 3 2 (X : **0**グループ0～**9**グループ9)
として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに着信音（パターンA～H、着信メロディ1～3）を設定しておくことにより、着信時に発信者番号と電話帳に登録されている電話番号が一致した場合、グループ識別着信に登録されている着信音にて着信音を鳴動させることができます。ただし、実際の着信音は、設定の優先度（識別着信＞グループ識別着信＞各外線ごとの着信音）によります。

短縮番号ごとにグループ（グループ0～9）分けを行うには、「電話帳カナ検索」（83ページ）、「電話帳グループ検索」（86ページ）、「電話帳一覧より検索」（87ページ）を行い、短縮番号を選択して、「電話帳の変更のしかた」（78ページ）の操作3から行ってください。

《登録のしかた》

1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **タ 4** を押す

・《グループ設定》へ進みます。

《グループ設定》
0 グループ0
1グループ1
2グループ2

2 **マ 0** ~ **ラ 9** のいずれかを押す

・グループを選択します。
 0グループ0～9グループ9
 ・選択されたグループの設定へ進みます。
 ・表示例：グループ1



《グループ1》
1 着信音設定
2着信ランプ設定
3グループ名前登録

3 **ア 1** を押す

・選択されたグループの《着信音》選択へ進みます。
 ・表示例：グループ1の着信音設定
 ・初期設定は「設定なし」です。

《グループ1 - 着信音》
【設定なし】
設定なし
着信音A

4 着信音を選択する

・により、着信音の選択をします。
 「登録なし」、「着信音A～着信音H」、「保留メロディ」、「着信メロディ1～着信メロディ3」
 ・保留メロディに設定すると、保留音との兼用です。
 ・着信メロディ2、3を利用する場合には、メロディ増設ユニット（オプション）が必要です。
 ・表示例：を押すと、ページが切り替わり、着信音Bと着信音Cを表示します。

《グループ1 - 着信音》
【設定なし】
着信音B
着信音C

5 **確定** を押す

・選択された着信音が設定され、選択されたグループの設定に戻ります。

《グループ1 - 着信音》
設定しました

《確認のしかた》

グループごとの着信音の場合は、登録のしかたの操作1～3（91ページ）により確認できます。

《変更のしかた》

変更のしかたは、登録のしかたと同じ操作をします。

MEMO

操作1はメニュー特番914、

操作1、2はメニュー特番914X（X：グループ0～グループ9）

操作1～3はメニュー特番914X1（X：グループ0～グループ9）

として、電話機のオートに登録できます。（221ページ参照）

ユーザーメロディ1～4にはお客様がご用意された曲をWeb設定から登録することで着信音として、利用することができます。（542ページ参照）

グループによって着信ランプの色を変える (誰カラー着信)

あらかじめ電話帳に割り当てたグループごとに外線着信時の着信ランプの色（シグナルレッド、レモンイエロー、グラスグリーン、ロイヤルブルー、ライトブルー、ピーチホワイト、バイオレット、7色）を設定しておくことにより、外線着信時にグループごとに色分けすることができます。

短縮番号ごとにグループ（グループ0～9）分けを行うには、「電話帳カナ検索」（83ページ）、「電話帳グループ検索」（86ページ）、「電話帳一覧より検索」（87ページ）を行い、短縮番号を選択して、「電話帳の変更のしかた」（78ページ）の操作3から行ってください。

《登録のしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **ア** **1** **タ** **4** を押す

《グループ設定》
0 グループ0
1グループ1
2グループ2

・《グループ設定》へ進みます。

2 **ワ** **0** ~ **ラ** **9** のいずれかを押す

《グループ1》
1 着信音設定
2着信ランプ設定
3グループ名前登録

・グループを選択します。
0グループ0 ~ 9グループ9
・選択されたグループの設定へ進みます。
・表示例：グループ1

3 **カ** **2** を押す

《グループ1 - 着信ランプ》
【設定なし】
1 シグナルレッド
2レモンイエロー

・選択されたグループの着信ランプへ進みます。
・表示例：グループ1のランプ表示

4 **ア** **1** ~ **ヤ** **8** のいずれかを押す

《グループ1 - 着信ランプ》
設定しました

・着信ランプの色を選択します。
1シグナルレッド、2レモンイエロー、
3グラスグリーン、4ロイヤルブルー、
5ライトブルー、6ピーチホワイト、
7バイオレット、87色
・選択されたグループの着信ランプの色が設定され、選択された《グループ》の設定に戻ります。

《確認のしかた》

登録のしかたの上記操作1～3により確認できます。

《変更のしかた》

変更のしかたは、登録のしかた（上記操作1～4）を行います。

MEMO

操作1はメニュー特番914、

操作1、2はメニュー特番914X（X：0グループ0～9グループ9）

操作1～3はメニュー特番914X2（X：0グループ0～9グループ9）

として、電話機の○オートに登録できます。（221ページ参照）

着信ランプの色は電話機ごとの電気的特性や光の加減により、多少色が違って見えることがあります。

各電話機ごとに最後にかけた電話番号から順に10件まで記録して、表示させることができます。




1 (または、) を押す

《発信履歴》
01:0123456789
02:目黒サクサ本社
03:目黒サクサビジネス

- ・《発信履歴》へ進みます。
- ・最後にかけた電話番号から順に3件を表示します。


2 発信履歴を選択する

《発信履歴》
01:0123456789
02:目黒サクサ本社
03:目黒サクサビジネス


- ・  にて、発信履歴01～10の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して発信履歴02を選択します。

3 短縮 押す

02:[001]
目黒サクサ本社
11月 5日(金) 午前9:00

- ・選択された発信履歴の「電話番号」、「名前」、「発信日時」を表示します。
- ・表示例：発信履歴02
- ・再度  を押すと、《発信履歴》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番11として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 発信履歴がない場合は、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

発信履歴から選択して、電話をかけることができます。

1 (または、) を押す

《発信履歴》
01:0123456789
02:目黒サクサ本社
03:目黒サクサビジネス

- ・《発信履歴》へ進みます。
- ・最後にかけた電話番号から順に3件を表示します。

2 発信履歴を選択する

《発信履歴》
01:0123456789
02:目黒サクサ本社
03:目黒サクサビジネス

- ・  にて発信履歴01～10の中から一箇所を選択する。
- ・表示例： を押して発信履歴02を選択します。



3 を押す

02:0334935111
目黒サクサ本社
① 発信
② 電話帳登録


- ・選択された発信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：発信履歴02

4 を押す

外線発信
02:0334935111
目黒サクサ本社

- ・空き外線を自動捕捉し、選択された電話番号に発信します。
-  ランプ：緑点灯
-  ランプ：赤点滅

MEMO

操作1は、メニュー特番11として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 発信履歴がない場合は、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

発信履歴から選択して、電話帳に登録することができます。




1 ◀ (または、確定) を押す

《発信履歴》
01:0123456789
02:0334935111
03:目黒サクサビジネス

- ・《発信履歴》へ進みます。
- ・最後にかけた電話番号から順に3件を表示します。

2 発信履歴を選択する

《発信履歴》
01:0123456789
02:0334935111
03:目黒サクサビジネス

- ・  にて発信履歴01～10の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して発信履歴02を選択します。

3 を押す

02:0334935111
1 発信
2 電話帳登録

- ・選択された発信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：発信履歴02

4 を押す

《電話帳登録 - 短縮番号》
(000～999)
<input type="checkbox"/> 自動選択

- ・《電話帳登録 - 短縮番号》へ進みます。

(これ以降は電話帳登録(73ページ)と同じ操作です。)

MEMO

操作1は、メニュー特番11として、電話機の に登録できます。(221ページ参照)
 発信履歴がない場合は、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

記録された発信履歴を消去することができます。消去方法には一件消去または全件消去があります。

〈一件消去のしかた〉




1  (または、  ) を押す

《発信履歴》
01:0123456789
02:目黒サクサ本社
03:目黒サクサビジネス

- ・《発信履歴》へ進みます。
- ・最後にかけた電話番号から順に3件を表示します

2 発信履歴を選択する

《発信履歴》
01:0123456789
02:目黒サクサ本社
03:目黒サクサビジネス

- ・  にて発信履歴01～10の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して発信履歴02を選択します。



3  を押す

02:0334935111
目黒サクサ本社
1 発信
2 電話帳登録

- ・選択された発信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：発信履歴02

↓


02:0334935111
目黒サクサ本社
3 一件消去
4 全件消去

- ・表示例： を押してページを切り替えると、 一件消去を表示します。

4  を押す

02:0334935111
消去しますか？
1 はい
2 いいえ


- ・一件消去確認へ進みます。

5  を押す

02:0334935111
消去しました

- ・選択された発信履歴を一件消去し、《発信履歴》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番11として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 発信履歴がない場合は、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

《全件消去のしかた》

1 (または、) を押す


01:0123456789

1 発信
2 電話帳登録

- ・表示例：発信履歴 0 1
全件消去の場合は、選択する発信履歴は、何でもよい。

01:0123456789

3 一件消去
4 全件消去

- ・表示例： を押して、次ページに進むと、**4** 全件消去を表示します。

2 **4** を押す

《発信履歴》
全件消去しますか？

1 はい
2 いいえ


- ・全件消去確認へ進みます。

3 を押す

《発信履歴》
全件消去しました

- ・発信履歴を全件消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 1 1 * として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
発信履歴がない場合は、操作 1 を行うと「登録なし」が 2 秒間表示されます。

「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで200件までを記録して、表示することができます。

着信履歴には、システム着信履歴と個別着信履歴があります。

電話帳に登録してある場合には、名前が表示されます。

着信履歴には、最後にその通話に回答した内線番号が記録され、個別着信履歴として一覧表示できます。

ナンバーディスプレイ契約時、公衆電話機からの発信や相手非通知、サービス提供不可なども着信履歴に残ります。工事設定により、残らないようにすることもできます。

個別着信履歴(100ページ)は、システム着信履歴200件の中から各電話機ごとに履歴された電話番号を表示させることができます。

《システム着信履歴の表示のしかた》




1 (または)を押す

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・《システム着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。


2 システム着信履歴を選択する

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス


- ・   にてシステム着信履歴001～200の中から一箇所を選択します。
- ・ 表示例:  を押してシステム着信履歴002を選択します。

3 を押す

002:0334935111
目黒サクサ本社
11月 5日(金)午前 9:00
内線 10 テナント1外線02

- ・ 選択されたシステム着信履歴の「電話番号」、「名前」、「着信日時」、「着信応答内線」、「テナント」、「着信外線」を表示します。
- ・ 表示例: システム着信履歴002
- ・ 再度  を押すと、《システム着信履歴》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番12として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 システム着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。
 ネームディスプレイ(524ページ)の着信記録は、例「001>目黒サクサ」が表示されます。

《個別着信履歴の表示のしかた》

1 **確定** **ア** **1** **サ** **DEF** **3** を押す

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス




2 個別着信履歴を選択する

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

3 **短縮** を押す


002:0334935111
目黒サクサ本社
11月 5日(金)午前 9:00
テナント1外線02

- ・《個別着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。

- ・  にて、個別着信履歴001～200の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して、個別着信履歴002を選択します。

- ・選択された個別着信履歴の「電話番号」、「名前」、「着信日時」、「着信応答内線」、「テナント」、「着信外線」を表示します。
- ・表示例：個別着信履歴002
- ・再度 **短縮** を押すと、《個別着信履歴》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番13として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
個別着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

着信履歴で表示された電話番号へ自動発信することができます。

《システム着信履歴からのかけかた》




1 (または)を押す

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス



- ・《システム着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。

2 システム着信履歴を選択する

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・  にてシステム着信履歴001～200の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押してシステム着信履歴002を選択します。

3 を押す

002:0334935111
目黒サクサ本社
 発信
 電話帳登録


- ・選択されたシステム着信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：システム着信履歴002

4 を押す

外線発信
002:0334935111
目黒サクサ本社

- ・空き外線を自動捕捉し、選択されたシステム着信履歴に発信します。
- 外線 ランプ：緑点灯
- 機能 ランプ：赤点滅



MEMO

操作1はメニュー特番12として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 システム着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。
 ネームディスプレイ(524ページ)の着信記録は、例「001>目黒サクサ」が表示されます。

《個別着信履歴からのかけかた》




1 確定 **ア** 1 **サ** DEF 3 と押す

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・《個別着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。
- ・  を押すと、他の個別着信履歴が見られます。

2 個別着信履歴を選択する

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・  にて個別着信履歴001～200の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して個別着信履歴002を選択します。

3 確定 **ア** を押す

002:0334935111
目黒サクサ本社
1 発信
2 電話帳登録

- ・選択された個別着信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：個別着信履歴002

4 **ア** 1 を押す

外線発信
002:0334935111
目黒サクサ本社

- ・空き外線を自動捕捉し、選択された個別着信履歴に発信します。
 外線 ランプ：緑点灯
 機能 ランプ：赤点滅

MEMO

操作1は、メニュー特番13として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)
個別着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。
ネームディスプレイ(524ページ)の着信履歴は、例「001>目黒サクサ」が表示されます。

着信履歴から電話帳に登録することができます。

《システム着信履歴からの登録のしかた》




1 (または)を押す

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:33333333
003:目黒サクサビジネス

- ・《システム着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。

2 システム着信履歴を選択する

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:33333333
003:目黒サクサビジネス

- ・ にてシステム着信履歴001～200の中から一箇所を選択する。
- ・表示例：を押してシステム着信履歴002を選択します。

3 を押す

002:33333333
1 発信
2 電話帳登録

- ・選択されたシステム着信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：システム着信履歴002


4 を押す

《電話帳登録 - 短縮番号》
(000～999)
*自動選択

- ・《電話帳登録 - 短縮番号》へ進みます。

(これ以降は電話帳登録(73ページ)と同じ操作です。)

MEMO

操作1は、メニュー特番12として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 システム着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。
 ネームディスプレイ(524ページ)の着信履歴は、例「001>目黒サクサ」が表示されます。

《個別着信履歴からの登録のしかた》




1 と押す

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:33333333
003:目黒サクサビジネス

- ・《個別着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。

2 個別着信履歴を選択する

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:33333333
003:目黒サクサビジネス

- ・  にて個別着信履歴001～200の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して個別着信履歴002を選択します。

3 を押す

002:33333333
1 発信
2 電話帳登録

- ・選択された個別着信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：個別着信履歴002


4 を押す

《電話帳登録 - 短縮番号》
(000～999)
* 自動選択

- ・《電話帳登録 - 短縮番号》へ進みます。

(これ以降は電話帳登録(73ページ)と同じ操作です。)

MEMO

操作1はメニュー特番13として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)
個別着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。
ネームディスプレイ(524ページ)の着信履歴は、例「001>目黒サクサ」が表示されます。

記録された着信履歴を消去することができます。システム着信履歴と個別着信履歴には、一件消去または全件消去があります。

〈システム着信履歴の一件消去のしかた〉




1 (または)を押す

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・《システム着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。

2 システム着信履歴を選択する

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス



- ・  にてシステム着信履歴001~200の中から一箇所を選択する。
- ・表示例： を押してシステム着信履歴002を選択します。

3 を押す

002:0334935111
目黒サクサ本社
1 発信
2 電話帳登録

- ・選択されたシステム着信履歴の設定へ進みます。

002:0334935111
目黒サクサ本社
3 迷惑電話登録
4 一件消去

- ・表示例： を押して、ページを切り替えると、 一件消去を表示します。

4 を押す

002:0334935111
消去しますか？
1 はい
2 いいえ


- ・一件消去確認へ進みます。

5 を押す

002:0334935111
消去しました

- ・選択されたシステム着信履歴を一件消去し、《システム着信履歴》へ戻ります。



MEMO

操作1はメニュー特番12として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
システム着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

《システム着信履歴の全件消去のしかた》


1 (または) を押す



001:0123456789

 発信
 電話帳登録

- ・表示例：システム着信履歴 0 0 1
全件消去の場合は、選択するシステム着信履歴は、何でもよい。



001:0123456789

 全件消去
保留 戻る

- ・表示例： を 2 回押して、ページを切り替えると、 全件消去を表示します。

2 を押す

《システム着信履歴》
全件消去しますか？

 はい
 いいえ


- ・全件消去確認へ進みます。

3 を押す

《システム着信履歴》
全件消去しました

- ・システム着信履歴を全件消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。



MEMO

操作1～3は、メニュー特番 1 2 * として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
システム着信履歴がない場合には、操作 1 を行うと「登録なし」が 2 秒間表示されます。

《個別着信履歴の一件消去のしかた》




1 を押す

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・《個別着信履歴》へ進みます。
- ・かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。
- ・  にて、他の個別着信履歴を見られます。

2 個別着信履歴を選択する

《個別着信履歴》
001:0123456789
002:目黒サクサ本社
003:目黒サクサビジネス

- ・  にて個別着信履歴001～200の中から一箇所を選択します。
- ・表示例： を押して個別着信履歴：002を選択します。

3 を押す

002:0334935111
目黒サクサ本社
①発信
②電話帳登録

↓

002:0334935111
目黒サクサ本社
③迷惑電話登録
④一件消去

- ・選択された着信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：個別着信履歴002

- ・表示例： を押して、次ページへ進むと④一件消去を表示します。

4 を押す

002:目黒サクサ本社
消去しますか？
①はい
②いいえ


- ・一件消去確認へ進みます。

5 を押す

002:目黒サクサ本社
消去しました

- ・選択された個別着信履歴を一件消去し、《個別着信履歴》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番13として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)
個別着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

《個別着信履歴の全件消去のしかた》


1 確定 **1** サ **3** 確定 と押す

001:0123456789
目黒サクサ本社
1 発信
2 電話帳登録



001:0123456789
5 全件消去
保留 戻る

- ・ 表示例：個別着信履歴 0 0 1
全件消去の場合は、選択する個別着信履歴は、何でもよい。

- ・ 表示例：  を 2 回押して、ページを切り替えると、**5** 全件消去を表示します。

2 ナ **5** を押す

《個別着信履歴》
全件消去しますか？
1 はい
2 いいえ


- ・ 全件消去確認へ進みます。

3 ア **1** を押す

《個別着信履歴》
全件消去しました

- ・ 個別着信履歴を全件消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作1～3はメニュー特番 1 3 * として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
個別着信履歴がない場合には、操作1を行うと「登録なし」が2秒間表示されます。

外線転送について

本システムは、外線からかかってきた電話を外出先などの電話に転送する、外線転送機能が利用できます。

転送先が一般回線または遠方の場合、転送先で電話に应答しても、初めの約2秒間の通話が途切れる場合があります。

手動転送と自動転送

- ・外線転送は着信応答後、転送先を呼び出して転送する外線手動転送と、工事設定で指定した外線に着信があった場合、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送する外線自動転送とがあります。

アストラルは同時に最大4組の転送が可能です。(デジタル回線または、IP電話回線を収容している場合)



デジタル回線またはIP電話回線による外線転送

- ・本システムにデジタル回線またはIP電話回線が収容されている場合のみで、アナログ回線を利用する場合の外線転送はできません。

外線転送機能の種類

サービス名	内容
外線自動転送	かかってきた電話を転送先外線から、あらかじめ登録された転送先に自動転送します。外線自動転送には「転送1~4」があります。
一次応答付き外線自動転送	電話をかけてきた相手にメッセージを流しながら、転送先へ自動転送できます。メッセージは固定内蔵メッセージ「ただ今電話を転送いたします。すこしお待ちください。」もしくは、ご自身が入れていただいたメッセージが流れます。
外線手動転送	通話中の電話をダイヤル操作により、転送先へ転送します。
リモコン機能	外出先の電話機から、リモコン操作で外線自動転送セットまたは解除したり、転送先電話番号の変更などができます。
外線転送コールバック	外線転送の通話終了後、電話をかけてきた相手が先に受話器をおろし、転送先相手がそのまま待っていると、GT500システムの転送先外線が着信状態になり、応答すると通話ができます。

転送先電話番号の登録/確認/変更/消去（転送先電話番号登録）

転送先は最大 8 カ所まで登録できます。外線自動転送をセットする際、ここで登録した中から転送先を選んで転送をセットすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

〈登録のしかた〉

1 **確定** **タ** 4 **カ** 2 **を押す**

《外線自動転送先電話番号》
1 外線転送先 1
2外線転送先 2
3外線転送先 3

- ・《外線自動転送先電話番号》へ進みます。
- ・外線転送先 1 ~ 3 を表示します。

2 **ア** 1 ~ **ヤ** 8 **のいずれかを押す**

《外線転送先 8 電話番号》
【登録なし】
1 登録
2消去

- ・転送先を選択します。
1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8
- ・選択された転送先の《電話番号》へ進みます。
- ・【 】内に転送先が表示されます。
- ・初期設定は【登録なし】です。
- ・表示例：外線転送先 8

3 **ア** 1 **を押す**

《外線転送先 8 電話番号》
桁数：最大 2 4 桁
短縮 特殊コード

- ・選択された外線転送先の《電話番号》進みます。
- ・表示例：外線転送先 8

4 **転送先電話番号を入力する**

《外線転送先 8 電話番号》
03-3493-5111
桁数：最大 2 4 桁
短縮 特殊コード

- ・転送先電話番号を入力します。
- ・最大桁数は 2 4 桁です。
- ・電話番号を誤って入力した場合は、**フラッシュ** で消去してください。
- ・**短縮** を押すと、特殊コードを入力できます。
- ・**短縮** を押すごとに、ポーズ「P」 ハイフン「-」を繰り返します。
- ・転送先電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。

5 **確定** **を押す**

《外線転送先 8 電話番号》
登録しました

- ・転送先電話番号が登録され《外線自動転送先電話番号》に戻ります。
- ・表示例：外線転送先 8

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 4 2、

操作 1、2 はメニュー特番 4 2 X (X : 1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8) (* 1)

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 4 2 X 1 (X : 1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8) (* 2)

として、電話機の **オート** に登録できます。(221 ページ参照)

* 1 登録後は、**オート** を押すだけで転送先電話番号が確認できます。

* 2 登録後は、**オート** を押すだけで転送先電話番号が登録できます。

《確認のしかた》

1 **確定** **4** **2** を押す

・《外線自動転送先電話番号》へ進みます。

《外線自動転送先電話番号》

1 外線転送先 1

2 外線転送先 2

3 外線転送先 3

2 **ア** 1 ~ **ヤ** 8 のいずれかを押す

・転送先を選択します。

1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8

・選択された転送先の《電話番号》へ進みます。

・【 】内に転送先が表示されます。

・初期設定は【登録なし】です。

・表示例：外線転送先 1

《外線転送先 1 電話番号》

【0334935111】

1 登録

2 消去

《変更のしかた》

「登録のしかた」と同じ操作をします。(110 ページ参照)

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 4 2、

操作 1 は、メニュー特番 4 2 X (X : 1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8) (* 1)

として、電話機の **オート** に登録できます。(221 ページ参照)

* 1 登録後は、**オート** を押すだけで転送先電話番号が確認できます。

《消去のしかた》

1 **確定** **タ** 4 **カ** 2 を押す

《外線自動転送先電話番号》
1 外線転送先 1
2 外線転送先 2
3 外線転送先 3

- ・《外線自動転送先電話番号》へ進みます。

2 **ア** 1 ~ **ヤ** 8 のいずれかを押す

《外線転送先 3 電話番号》
【0123456789】
1 登録
2 消去

- ・転送先を選択します。
1外線転送先 1 ~ 8外線転送先 8
- ・選択された転送先の《電話番号》へ進みます。
- ・【 】内に転送先が表示されます。
- ・初期設定は【登録なし】です。
- ・表示例：外線転送先 3

3 **カ** 2 を押す

《外線転送先 3 電話番号》
消去しますか？
1 はい
2 いいえ

- ・選択された外線転送先電話番号の消去確認へ進みます。

4 **ア** 1 を押す

《外線転送先 3 電話番号》
消去しました

- ・登録された外線転送先電話番号が消去され、《外線自動転送先電話番号》に戻ります。

MEMO

- 操作 1 は、メニュー特番 4 2、
操作 1、2 は、メニュー特番 4 2 X (X : 1外線転送先 1 ~ 8外線転送先 8)(* 1)
操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 4 2 X 2 (X : 1外線転送先 1 ~ 8外線転送先 8)(* 2) として、
電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)
- * 1 登録後は **○オート** を押すだけで転送先電話番号が確認できます。
 - * 2 登録後は **○オート** を押すだけで転送先電話番号が消去されます。

外線自動転送を行うときのセットの方法です。転送 1 ~ 4 を同時にセットすることができます。

《セットのしかた》

1 **確定** **タ** 4 **ア** 1 **を押す**

《外線自動転送モード》
1 外線転送 1
2外線転送 2
3外線転送 3

・《外線自動転送モード》へ進みます。

2 **ア** 1 ~ **タ** 4 **のいずれかを押す**

《外線転送 2 モード》
【設定なし】
0 設定なし
1外線転送先 1

- ・外線自動転送モードを選択します。
1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4
- ・選択された《外線転送モード》の外線転送先設定へ進みます。
- ・初期設定は、「設定なし」です。
- ・表示例：《外線転送 2 モード》「設定なし」です。

3 **ア** 1 ~ **ヤ** 8 **のいずれかを押す**

《外線転送 2 モード》
設定しました

↓

外線転送 [2 1]
1 1 月 5 日 (金)
午前 9 : 0 0

- ・外線転送先を選択します。
1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8
- ・外線転送先が選択されると、《外線転送モード》がセットされ、カレンダー・時計表示に戻ります。
この時、選択された外線転送モードと転送先を表示します。
- ・表示例：**ア** 1 を押して、外線転送 2 を転送先 1 に設定します。
発信側 外線 ランプ：赤点滅
着信側 外線 ランプ：赤点滅

MEMO

転送先相手が（発信側）話し中のとき、電話にでないときは 60 秒呼び出したあと、自動的に電話を切つて約 10 秒後に再度かけ直します。（合計 3 回）

外線自動転送中に着信があったときでも転送先（発信側）または転送元（着信側）、どちらからでも応答できます。

外線自動転送後の通話中に「電話をかけた相手」と「転送先相手」との通話が、工事設定による通話時間を経過すると両方の相手に「ピー」音が聞こえ 30 秒後に電話が切れます。工事設定により 30 分、1 時間、2 時間、3 時間のいずれかに設定できます。お買い上げ時は 2 時間です。

着信側外線は通常どおり発信、着信できます。転送先（発信側）外線は発信できません。ただし、着信は受けることができます。

転送先の電話番号が登録されていない場合はセットされません。

工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。

工事設定により、転送の着信側外線に着信が入ったとき、電話機から着信音を鳴動しないように変更することができます。

操作 1 は、メニュー特番 4 1、

操作 1、2 は、メニュー特番 4 1 X（X：1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4）

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 4 1 X Y（X：1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4）

（Y：1 外線転送先 1 ~ 8 外線転送先 8）（* 1）

として、電話機の オート に登録できます。（221 ページ参照）

付属のステッカ「外線転送 1」、「外線転送 2」、「外線転送 3」、「外線転送 4」シールを貼ると便利です。

* 1 登録後は、 オート を押すだけで、外線自動転送のセット / 解除ができます。

《変更のしかた》

《セットのしかた》と同じ操作をします。(113ページ参照)

《解除のしかた》

1 **確定** **GH** 4 **ア** 1 を押す

《外線自動転送モード》
1 外線転送 1
2 外線転送 2
3 外線転送 3

・《外線自動転送モード》へ進みます。

2 **ア** 1 ~ **GH** 4 のいずれかを押す

《外線転送 2 モード》
【外線転送先 1】
1 外線転送先 1
2 外線転送先 2



《外線転送 2 モード》
【外線転送先 1】
0 設定なし
1 外線転送先 1

・設定されている外線自動転送モードを選択します。
1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4
・選択された《外線転送モード》の外線転送先設定へ進みます。
・表示例：《外線転送 2 モード》「外線転送先 1」です。

・表示例： を押すと、0 設定なしを表示します。

3 **GH** 0 を押す

《外線転送 2 モード》
解除しました

・選択された《外線転送モード》が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。
・表示例：《外線転送 2 モード》

MEMO

外線自動転送を解除しても、登録してある転送先の電話番号は消去されません。

操作 1 は、メニュー特番 4 1 として、

操作 1、2 は、メニュー特番 4 1 X (X : 1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4) として、

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 4 1 X 0 (X : 1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4) (* 1)

として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

* 1 登録後は、**オート** を押すだけで、外線転送 X (X : 1 ~ 4) のモード解除ができます。

外線自動転送の時刻登録/確認/セット/解除/消去（外線自動転送時刻登録）

決まった時刻に外線自動転送のセット・解除を自動的に行います。

《登録のしかた》

1 **確定** **4** **3** を押す

《外線転送自動切替設定》
1 外線転送 1
2外線転送 2
3外線転送 3

- ・《外線転送自動切替設定》へ進みます。

2 **ア 1** ~ **4** のいずれかを押す

《外線転送 3 - 自動切替》
【登録なし】
1 登録
2消去

- ・外線転送モードを選択します。
1外線転送 1 ~ 4外線転送 4
- ・選択された外線転送モードの《自動切替》設定へ進みます。
- ・初期設定は「登録なし」です。
- ・表示例：外線転送 3

3 **ア 1** を押す

《外線転送 3 - 自動切替》
1 転送先
2切替時刻
#登録

- ・選択された外線転送モードの《自動切替》登録へ進みます。
- ・表示例：外線転送 3

4 **ア 1** を押す

《外線転送 3 - 自動切替》
1 外線転送先 1
2外線転送先 2
3外線転送先 3

- ・選択された外線転送モードの転送先設定

5 **ア 1** ~ **8** のいずれかを押す

《外線転送 3 - 自動切替》
1 転送先 転送先 1
2切替時刻
#登録

- ・外線転送先を選択します。
1外線転送先 1 ~ 8外線転送先 8
- ・選択された外線転送先が仮登録され、《自動切替》登録に戻ります。
- ・表示例：**ア 1** を押して、外線転送 3 を外線転送先 1 に設定します。

6 **カ 2** を押す

《外線転送 3 - 自動切替》
■ : ~ :
(00:00 ~ 23:59)

- ・選択された外線転送モードの切替時刻設定へ進みます。

7 切替時刻を入力

《外線転送3 - 自動切替》
12:00~18:00
(00:00~23:59)

- ・切替時刻を00:00~23:59の範囲で入力します。
- ・表示例：切替時刻12:00~18:00

8 **確定** を押す

《外線転送3 - 自動切替》
2切替時刻 12:00-18:00
#登録
保留 戻る

- ・選択された外線転送モードの自動切替時刻が仮登録され、《自動切替》登録に戻ります。
- ・表示例：外線転送3

9 **#** を押す

《外線転送3 - 自動切替》
登録しました

- ・登録内容を確認してください。
- ・確認後、**#** を押すと、選択された外線転送モードの《自動切替》が本登録され、操作1の《外線転送自動切替設定》へ戻ります。
- ・表示例：外線転送3

《確認のしかた》

1 **確定** **タ** 4 **サ** 3 を押す

《外線転送自動切替設定》
1外線転送1
2外線転送2
3外線転送3

- ・《外線転送自動切替設定》へ進みます。

2 **ア** 1 ~ **タ** 4 のいずれかを押す

《外線転送1 - 自動切替》
【転送先1 12:00-18:00 ON】
1登録
2消去

- ・外線転送モードを選択します。
1外線転送1 ~ 4外線転送4
- ・選択された外線転送モードの《自動切替》設定へ進みます。
- ・表示例：外線転送1

MEMO

操作1は、メニュー特番43、
操作1、2は、メニュー特番43X (X: 1外線転送1 ~ 4外線転送4)
操作1~3は、メニュー特番43X1 (X: 1外線転送1 ~ 4外線転送4)
操作1~9は、メニュー特番43X1YSSSSSEEEE
(X: 1外線転送1 ~ 4外線転送4、Y: 1外線転送先1 ~ 8外線転送先8)
(SSSS: 切替開始時刻、EEEE: 切替終了時刻)
として電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

《セットのしかた》

1 **確定** **タ** 4 **サ** 3 **DEF** 3 を押す

《外線転送自動切替設定》

- ①外線転送 1
- ②外線転送 2
- ③外線転送 3

2 **ア** 1 ~ **タ** 4 **GHI** 4 のいずれかを押す

《外線転送 1 - 自動切替》

【転送先 2 12:00-18:00 OFF】

- ①登録
- ②消去



《外線転送 1 - 自動切替》

【転送先 2 12:00-18:00 OFF】

- ③セット / 解除
- 保留 戻る

3 **サ** 3 **DEF** 3 を押す

《外線転送 1 - 自動切替》
登録しました


・《外線転送自動切替設定》へ進みます。

・外線転送モードを選択します。

①外線転送 1 ~ ④外線転送 4

・選択された外線転送モードの《自動切替》設定へ進みます。

・表示例：外線転送 1

・  を押して、ページを切り替えると、③セット / 解除を表示します。


・選択された外線転送モードが登録され、《外線転送自動切替設定》に戻ります。


MEMO

操作 1 は、メニュー特番 4 3、

操作 1、2 は、メニュー特番 4 3 X (X : ①外線転送 1 ~ ④外線転送 4)

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 4 3 X 3 (X : ①外線転送 1 ~ ④外線転送 4) (* 1)

として電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

* 1 登録後は、 オート を押すごとに、「セット」「解除」を繰り返します。

《解除のしかた》

1 **確定** **タ** 4 **サ** 3 **DEF** を押す

《外線転送自動切替設定》
1 外線転送 1
2 外線転送 2
3 外線転送 3

2 **ア** 1 ~ **タ** 4 **GHI** のいずれかを押す

《外線転送 1 - 自動切替》
【転送先 2 12:00-18:00 ON】
1 登録
2 消去



《外線転送 1 - 自動切替》
【転送先 2 12:00-18:00 ON】
3 セット / 解除
保留 戻る

3 **サ** 3 **DEF** を押す

《外線転送 1 - 自動切替》
解除しました

・《外線転送自動切替設定》へ進みます。

・外線転送モードを選択します。

1外線転送 1 ~ **4**外線転送 4

・選択された外線転送モードの《自動切替》設定へ進みます。

・表示例：外線転送 1

・**3** を押して、ページを切り替えると、**3**セット / 解除を表示します。

・選択された外線転送モードが登録され、《外線転送自動切替設定》に戻ります。

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 4 3、

操作 1、2 は、メニュー特番 4 3 X (X : **1**外線転送 1 ~ **4**外線転送 4)

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 4 3 X 3 (X : **1**外線転送 1 ~ **4**外線転送 4) (* 1)

として電話機の **3** オート に登録できます。(221 ページ参照)

* 1 登録後は、**3** オート を押すごとに、「セット」「解除」を繰り返します。

《消去のしかた》

1 **確定** **タ** 4 **サ** 3 **を押す**

《外線転送自動切替設定》

- 1 外線転送 1
- 2 外線転送 2
- 3 外線転送 3

- ・《外線転送自動切替設定》へ進みます。

2 **ア** 1 ~ **タ** 4 **のいずれかを押す**

《外線転送 1 - 自動切替》

【転送先 2 12:00-18:00 ON】

- 1 登録
- 2 消去

- ・外線転送モードを選択します。
 - 1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4
- ・選択された外線転送モードの《自動切替》設定へ進みます。
- ・表示例：外線転送 1

3 **カ** 2 **を押す**

《外線転送 1 - 自動切替》
消去しますか？

- 1 はい
- 2 いいえ

- ・選択された外線転送モードの《自動切替》消去確認へ進みます。
- ・表示例：外線転送 1

4 **ア** 1 **を押す**

《外線転送 1 - 自動切替》
消去しました

- ・選択された外線転送モードの《自動切替》が消去され、《外線転送自動切替設定》へ戻ります。
- ・表示例：外線転送 1

MEMO

消去のしかたの操作は、メニュー特番 4 3 X 2 (X : 1 外線転送 1 ~ 4 外線転送 4) として電話機の **○オート** に登録できます。(221 ページ参照)

かかってきた電話にメッセージで応答させて転送する (一次応答付き外線自動転送)

本システムにかけてきた相手に、一次応答メッセージを送出しながら外線自動転送をすることができます。
この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

一次応答メッセージの録音 / 確認 / 消去のしかたは留守番機能の各種メッセージ (外線転送用メッセージ) の録音のしかた (135ページ) を参照してください。

一次応答メッセージは、次の固定内蔵メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください。」を用意しています。

MEMO

工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を遅らせることができます。

特定のグループからの着信だけ転送する (グループ識別着信転送)

電話帳に登録されたグループごとに外線自動転送するか、しないかを設定することにより指定したグループに登録された相手からの着信は転送して、それ以外のグループからの着信は全て電話機に着信させることができます。
この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

MEMO

転送させない着信を留守番で対応させることもできます。

外線通話中に、他の外線から転送先を呼び出して、転送することができます。

1 外線通話中（デジタル回線または、IP電話回線）

外線 1ランプ：緑点灯

2 保留 を押す

外線 1ランプ：緑点滅

3 外線 を押す（デジタル回線または、IP電話回線）

- ・未使用の 外線 を押します。
- ・外線発信音「ツー」が聞こえます。

外線 2ランプ：緑点灯

4 転送先電話番号を押す

5 転送先と通話をする

- ・転送先相手が応答したら転送することを話します。

6 手動転送 を押す

- ・着信側、転送側の 外線 ランプが点灯します。

外線 1ランプ：赤点灯

外線 2ランプ：赤点灯

7

- ・「電話をかけた相手」と「転送先の相手」が通話します。

MEMO

電話番号を誤って入力した場合は、 フラッシュ で消去してから再度入力し直してください。

手動転送 は、特殊番号10として、電話機の オート に登録できます。(222ページ参照)

特殊番号の一覧表は555ページを参照してください。

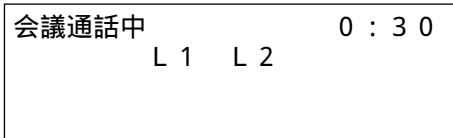
付属のステッカ「手動転送」シールを貼ると便利です。

操作6の 手動転送 の代わりに 機能 フラッシュ でもできます。

デジタル回線またはIP電話回線で、外線会議中（外線2人・内線1人）の三者会議に、内線1人が終話する（ぬける）と外線手動転送と同様に、外線2人がそのまま外線転送状態になります。

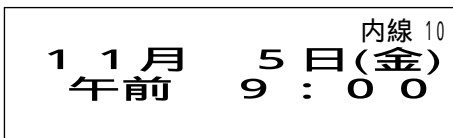
《外線会議転送（外線2人・内線1人）》

1 外線会議通話中



- ・外線2人・内線1人が外線会議通話中
- ・表示例：外線1、2と内線10が外線会議通話
 - 外線1ランプ：緑点灯
 - 外線2ランプ：緑点灯

2

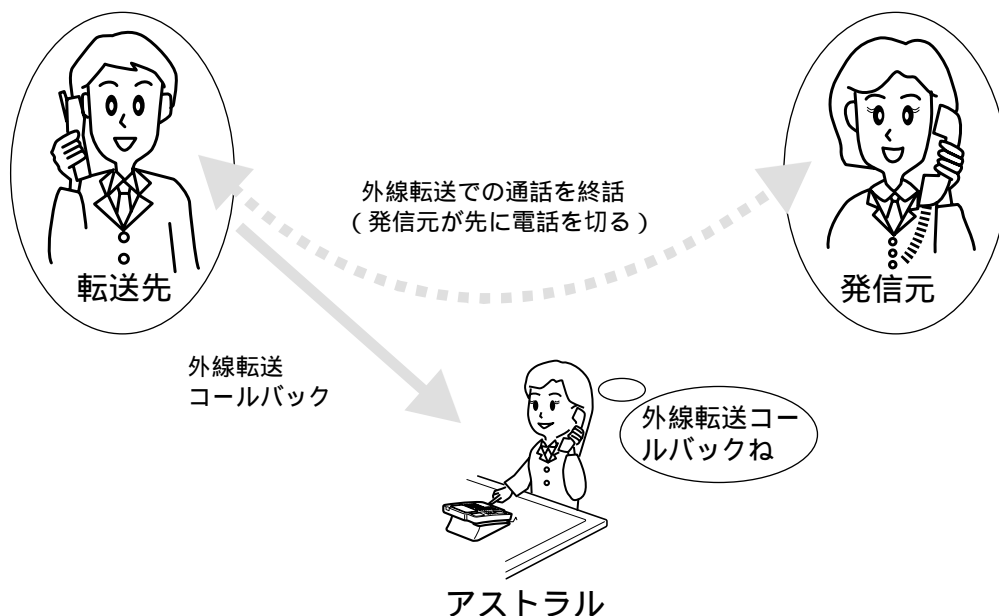


- ・内線1人が通話を終了します。外線2人が外線転送状態に移行します。
- ・内線10は、カレンダー・時計表示に戻ります。
 - 外線1ランプ：赤点灯
 - 外線2ランプ：赤点灯

MEMO

上記内容は外線会議通話中の外線2人・内線1人の場合のみ機能する内容です。
(デジタル回線またはIP電話回線のみ)

外線転送（手動 / 自動）の通話が終了後、電話をかけてきた相手（発信元）が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。



1 外線転送通話中

「電話をかけてきた相手」と「転送先相手」が通話しています。

2 通話が終わって「電話をかけてきた相手」が受話器をおろします。

3 転送先相手はそのまま待っていると（受話器は上げたまま）

約4秒間、ビジートーン「プープー...」が聞こえます。

4 2秒後¹に本システムに着信音が鳴る。

¹ お買い上げ時は2秒です。工事設定により0（コールバックしない）～6秒のいずれかに変更できます。

5 本システムの電話機で応答すると転送先相手と通話できる。

MEMO

外線自動転送、外線手動転送のどちらも外線転送コールバックができますが、お買い上げ時は外線手動転送のみです。工事設定により、外線自動転送を「コールバックする」に設定できます。

外線転送の暗証番号を設定する (外線転送リモコン用暗証番号)

リモコン操作を行うために必要な暗証番号を登録します。

《登録のしかた》

1 確定 4 4 を押す

《外線転送リモコン用暗証番号》
■ - - -
4桁の数字を入力してください

- ・《外線転送リモコン用暗証番号》登録画面へ進みます。
- ・登録されている場合は「****」を表示します。
- ・登録されていない場合は「- - - -」を表示します。

2 暗証番号を入力

《外線転送リモコン用暗証番号》
* * * ■
4桁の数字を入力してください

- ・0000～9999を入力します。
- ・4桁入力されると自動で登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・必ず4桁入力してください。


↓

《外線転送リモコン用暗証番号》
設定しました

《変更のしかた》

変更のしかたは、上記《登録のしかた》と同じ操作をします。

MEMO

暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。
操作1、2は、メニュー特番44XXXX (XXXX:0000～9999)
として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
暗証番号の確認はできません。
暗証番号を忘れたときは、再度登録し直してください。

《消去のしかた》

1 確定 を押す

《外線転送リモコン用暗証番号》
* * * *
4桁の数字を入力してください

- ・《外線転送リモコン用暗証番号》へ進みます。
- ・暗証番号が登録されていると「* * * *」と表示されます。

2 フラッシュ を押す

《外線転送リモコン用暗証番号》
- - - -
4桁の数字を入力してください

- ・暗証番号が消去されます。

3 確定 を押す

《外線転送リモコン用暗証番号》
解除しました

- ・暗証番号が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番44として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

発信者番号通知を利用してリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）

発信者番号通知を利用して、転送先番号に登録されている番号と通知された番号が一致すると、リモコン操作ができます。この機能を使用する場合は、工事設定が必要です。

1 外出先から電話をかける

プッシュ信号送出と発信者番号通知ができる外出先(転送先)の電話機から、本システムのデジタル回線へ電話をかけます。

2 自動応答する

- ・受付音「プップッ」が聞こえます。
- ・すぐに、本システムが自動応答します。

3 操作するリモコン番号を押す

- ・受付音「プップッ」が聞こえます。
- ・操作したいリモコン番号は「リモコン操作一覧表」を参照ください。(129ページ参照)

4 * 0 (終了) を押す

- ・終了音「ピー」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

転送先に登録された電話番号からだけ利用できます。

暗証番号の登録は必要ありません。

外線自動転送の転送先電話から発信者番号を通知して、本システムのデジタル回線へ電話をかけると、外線転送のセット状態または解除状態にかかわらずリモコン状態に入ります。

外線自動転送の転送先電話から、本システムのデジタル回線へリモコン以外の用事で電話をかけるときは、電話番号の前に「184」をダイヤルします。(発信者番号を通知不可にして電話をかけます)

受付音「プップッ」が鳴ってから約20秒以内にリモコン番号を押さないと、自動的に電話が切れます。

携帯電話からリモコン操作をする場合は、携帯電話の設定を「発信者番号通知あり」にしてください。

サブアドレス通知を利用してリモコン操作をする（サブアドレスリモコン）

デジタル回線の基本サービスであるサブアドレス通知を利用して（520ページ参照）外線自動転送機能のリモコン操作ができます。このサブアドレスを付加すれば、システムのどのデジタル回線にかけてもリモコン操作が可能です。

1 サブアドレス **9** **0** を付加して電話をかける。

- ・プッシュ信号送出とサブアドレスが通知できる外出先の電話機から、本システムのデジタル回線へ電話をかけます。
- ・ICカード公衆電話機、デジタル公衆電話機からかける場合は、「電話番号 サブアドレスボタン 9 0 スタートボタン」の順にダイヤルします。

2 自動応答する

- ・受付音「ブップ」が聞こえます。
- ・システムが自動応答します。

3 暗証番号を押す

- ・受付音「ブップ」が聞こえます。
- ・自動応答後、20秒以内に暗証番号の1桁目を押し、続けて残りの3桁を押します。
- ・暗証番号が間違っていると、エラー音「ブブブ」がなります。再度正しい暗証番号を押します。

4 操作するリモコン番号を押す

- ・操作したいリモコン番号は、「リモコン操作一覧表」を参照します。（129ページ参照）

5 ***** **0**（終了）を押す

- ・終了音「ピー」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

暗証番号は3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。
サブアドレス通知ができる電話機からだけ利用できます。
サブアドレス通知ができる電話機は、ICカード公衆電話機、デジタル公衆電話機、PHS、デジタル回線に接続された電話機だけです。携帯電話は、サブアドレス通知できません。
リモコン操作で、暗証番号など次のダイヤルする間隔が20秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

自動着信機能を利用してリモコン操作をする（自動着信リモコン）

外線自動転送の転送先外線（転送セット中のとき、赤点灯になる外線）に指定回数着信させて、リモコン操作ができます。

1 転送先外線へ電話をかける。

- ・プッシュ信号が送出できる外出先の電話機から、本システムの転送先外線へ電話をかけます。

2 自動応答する

- ・受付音「プップ」が聞こえます。
- ・42秒（初期値）呼出後、本システムが自動応答します。

3 暗証番号を押す

- ・受付音「プップ」が聞こえます。
- ・自動応答後、20秒以内に暗証番号の1桁目を押し、続けて残りの3桁を押します。
- ・暗証番号が間違っていると、エラー音「ブブブ」がなります。再度正しい暗証番号を押します。

4 操作するリモコン番号を押す

- ・操作したいリモコン番号は、「リモコン操作一覧表」を参照します。（129ページ参照）

5 ***** **0**（終了）を押す

終了音「ピー」が聞こえ、リモコン操作が完了します。

MEMO

暗証番号は3回まで受け付けます。それ以上間違えると自動的に電話を切ります。

工事設定により自動応答する時間を1～180秒のいずれかに設定できます。

（0秒に設定すると自動応答しません。）

リモコン操作で、暗証番号など次のダイヤルする間隔が20秒以上経過すると自動的に電話が切れます。

リモコン操作一覧

種 類	リモコン番号	動作内容	
自動転送 1 セット	転送先 1	✳ 1 1	自動転送 1 で転送先 1 をセット
	転送先 2	✳ 1 2	自動転送 1 で転送先 2 をセット
	転送先 3	✳ 1 3	自動転送 1 で転送先 3 をセット
	転送先 4	✳ 1 4	自動転送 1 で転送先 4 をセット
	転送先 5	✳ 1 5	自動転送 1 で転送先 5 をセット
	転送先 6	✳ 1 6	自動転送 1 で転送先 6 をセット
	転送先 7	✳ 1 7	自動転送 1 で転送先 7 をセット
	転送先 8	✳ 1 8	自動転送 1 で転送先 8 をセット
自動転送 2 セット	転送先 1	✳ 2 1	自動転送 2 で転送先 1 をセット
	転送先 2	✳ 2 2	自動転送 2 で転送先 2 をセット
	転送先 3	✳ 2 3	自動転送 2 で転送先 3 をセット
	転送先 4	✳ 2 4	自動転送 2 で転送先 4 をセット
	転送先 5	✳ 2 5	自動転送 2 で転送先 5 をセット
	転送先 6	✳ 2 6	自動転送 2 で転送先 6 をセット
	転送先 7	✳ 2 7	自動転送 2 で転送先 7 をセット
	転送先 8	✳ 2 8	自動転送 2 で転送先 8 をセット
自動転送 3 セット	転送先 1	✳ 3 1	自動転送 3 で転送先 1 をセット
	転送先 2	✳ 3 2	自動転送 3 で転送先 2 をセット
	転送先 3	✳ 3 3	自動転送 3 で転送先 3 をセット
	転送先 4	✳ 3 4	自動転送 3 で転送先 4 をセット
	転送先 5	✳ 3 5	自動転送 3 で転送先 5 をセット
	転送先 6	✳ 3 6	自動転送 3 で転送先 6 をセット
	転送先 7	✳ 3 7	自動転送 3 で転送先 7 をセット
	転送先 8	✳ 3 8	自動転送 3 で転送先 8 をセット
自動転送 4 セット	転送先 1	✳ 4 1	自動転送 4 で転送先 1 をセット
	転送先 2	✳ 4 2	自動転送 4 で転送先 2 をセット
	転送先 3	✳ 4 3	自動転送 4 で転送先 3 をセット
	転送先 4	✳ 4 4	自動転送 4 で転送先 4 をセット
	転送先 5	✳ 4 5	自動転送 4 で転送先 5 をセット
	転送先 6	✳ 4 6	自動転送 4 で転送先 6 をセット
	転送先 7	✳ 4 7	自動転送 4 で転送先 7 をセット
	転送先 8	✳ 4 8	自動転送 4 で転送先 8 をセット
自動転送 1 解除	✳ 5 1	自動転送 1 を解除	
自動転送 2 解除	✳ 5 2	自動転送 2 を解除	
自動転送 3 解除	✳ 5 3	自動転送 3 を解除	
自動転送 4 解除	✳ 5 4	自動転送 4 を解除	

種 類	リモコン番号	動作内容
転送先電話番号の登録 (変更)	転送先 1 ※ 6 1 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 1 の電話番号の登録(変更)
	転送先 2 ※ 6 2 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 2 の電話番号の登録(変更)
	転送先 3 ※ 6 3 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 3 の電話番号の登録(変更)
	転送先 4 ※ 6 4 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 4 の電話番号の登録(変更)
	転送先 5 ※ 6 5 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 5 の電話番号の登録(変更)
	転送先 6 ※ 6 6 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 6 の電話番号の登録(変更)
	転送先 7 ※ 6 7 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 7 の電話番号の登録(変更)
	転送先 8 ※ 6 8 ↓ 転送先電話番号を 押す(最大24桁) ↓ # #	転送先 8 の電話番号の登録(変更)
終了	※ 0	リモコン操作終了 (※ 0 を押さないで受話器を おろすと、自動的に切ります。)

MEMO

操作できないリモコン番号を押すとエラー音「プププ」が聞こえます。
 約20秒以内に正しいリモコン番号を押してください。
 操作を途中で間違えたときは、※ ※(訂正)を押してから正しいリモコン番号を押してください。

留守番の概要

本システムは、留守番機能を基本でStdの場合1系統、Proの場合2系統、オプションの録音増設ユニットを接続すると、Stdの場合3系統、Proの場合4系統利用できます。

録音時間（通話メモ）は、基本で約20分、オプションの録音増設ユニットを接続すると、最大約80分です。

1 応答録音（留守録）

留守番セット中にかかってきた電話に応答録音メッセージを流して相手の用件を録音します。

用件が録音されると、電話機表示部に用件録音の件数が表示されます。（最大99件）

応答録音には、3つのモードがあります。

モードによって応答録音メッセージを切り替えることができます。

モード1メッセージは次の固定内蔵メッセージも用意してあります。

「ただいま、留守にしております。ピーという音のあとにご用件をお話ください。」が流れます。

2 応答専用（お知らせ）

留守番セット中にかかってきた電話に応答専用メッセージを2回流して、通話を終了します。

（相手の用件は、録音しません。）

応答専用には、3つのモードがあります。

モードによって応答専用メッセージを切り替えることができます。

<モードの種類によるメッセージ例>

- ① モード1 . . . 「本日の業務は終了いたしました。」
- ② モード2 . . . 「 営業開始時間は、朝9：00からとなっております。」
- ③ モード3 . . . 「 本日は、休業となっております。後日あらためて」

モード1メッセージは次の固定内蔵メッセージも用意してあります。

「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」
が流れます。

3 手動応答（お待たせメッセージ応答）

外線通話中のときに、他の外線へ着信があっても応答できる人がいないときなど通話中の電話機操作で、お待たせメッセージを流して応答させることができます。

メッセージ送出版後に、自動的に保留状態になります。

お待たせメッセージは次の固定メッセージを用意してあります。「ただいま電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちいただくか、のちほどおかけ直してください。」が流れます。

4 追っかけ転送

留守番セット中に用件が録音されると、あらかじめ登録された転送先の携帯電話などへ自動的に電話をかけます。電話を受けて、そのまま携帯電話などからリモコン操作により用件を再生することができます。

5 3ch留守番（Std）、4ch留守番（Pro）

オプションの録音増設ユニットで、留守番機能をさらに2系統追加することができます。

最大で留守番電話機3台分（Std）、4台分（Pro）の機能が使えます。工事設定によります。

6 その他

- ① 用件自動消去 一度再生した用件は、次回留守番セットされたときに自動的に一括消去することができます。工事設定によります。
- ② 用件自動再生 留守番セットを解除すると録音された用件を自動再生します。自動再生するときに、用件が録音された日時が電話機表示部に表示されます。

次ページへ →

7 非通知着信拒否

発信者番号が非通知状態で電話がかかってきたら、自動応答して非通知着信拒否メッセージを1回流した後に電話を切ります。

非通知拒否用メッセージが録音されていない時は、固定メッセージ「おかけになった電話はお受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけておかけ直してください」が流れます。ナンバーディスプレイサービスのご契約が必要となります。

8 迷惑電話拒否

迷惑電話の発信者番号を登録し、登録されている番号から電話がかかってきたら、自動応答して迷惑電話拒否メッセージを1回流したあとに電話を切ります。

迷惑電話拒否メッセージが録音されていない時は、固定メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」が流れます。

9 通話メモ

外線通話内容を録音することができます。(最大99件)

10 ウィークリー留守番

あらかじめ設定した時刻になると留守番のセット/解除を自動で行います。

各曜日毎に4パターンの留守番セット/解除のタイマを設定することができます。

平日用、休日用、昼休み用などを分けて留守番タイマに設定できます。

留守番1のみで使用する場合

留守番2~4(Std:3~4)を使用する場合は、それぞれの留守番に録音とお知らせのメッセージがある。

留守録 (モード1) 1件最大5分	留守録 (モード2) 1件最大5分	留守録 (モード3) 1件最大5分	お知らせ (モード1) 1件最大5分	お知らせ (モード2) 1件最大5分	お知らせ (モード3) 1件最大5分	お待たせ メッセージ 1件最大5分	一次応答 メッセージ 1件最大5分	用件最大 99件 1件最大5分
-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------

「留守録」と「お知らせ」で別々のメッセージ。

デジタル留守録の録音時間

Proの初実装は、留守1と留守2の2チャンネルで、録音時間はそれぞれ約20分、留守1拡張で約40分利用可能。なお、Stdは初実装が留守1のみとなっており、留守2と留守1拡張の利用は不可。また、増設により留守3と留守4が追加され、録音時間はそれぞれ約40分、留守3拡張で約80分利用可能。

初実装		増設	
留守1 約20分	留守2 約20分	留守3 約40分	留守4 約40分
留守1拡張 約40分		留守3拡張 約80分	

 はProのみ利用可能。

留守番指定電話機を S t d の場合は最大 3 台、P r o の場合は 4 台まで設定できます。
留守番指定電話機に設定されたとき、次の留守番用ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	用件再生	スキップ	消去	留守
T D 5 1 0 電話機	オート 1 4	オート 1 5	オート 1 6	オート 1 7	オート 1 8
T D 5 2 0 電話機	オート 2 6	オート 2 7	オート 2 8	オート 2 9	オート 3 0
L D 5 0 0 電話機	オート 6	オート 9	オート 7	オート 8	オート 1 0

〈登録のしかた〉

留守番指定電話機のオートダイヤルのボタンを変更する場合、電話機の に特殊番号が登録できます。
(222ページ参照)

特殊番号	ボタン名称	内 容
2 5	レビュー	用件および通話メモ再生中に、1つ前の用件を再生するときに使用する
2 4	用件再生	1件目の用件から再生したり、再生中にメッセージの頭出しに使用する
2 3	スキップ	用件および通話メモ再生中に、次の用件を再生するときに使用する
2 2	消 去	用件、通話メモの消去に使用する
2 0	留 守	留守番セットまたは解除するときに使用する
2 1	再 生	用件番号を指定して、用件再生をするときに使用する。 例：3件目の用件を再生する場合 <input type="text" value="〇再生"/> <input type="text" value="30"/> <input type="text" value="DEF 3"/> (用件番号を2桁で入力)
2 6	通話メモ	通話メモを録音するときに使用する
2 7	メモ再生	通話メモを再生するときに使用する
2 9	留守子機切替	他の留守番指定電話機に切り替えて操作できます。 S t d の場合 <input type="text" value="留守番 1 指定電話機 留守番 3 指定電話機 留守番 4 指定電話機"/> P r o の場合 <input type="text" value="留守番 1 指定電話機 留守番 2 指定電話機 留守番 3 指定電話機 留守番 4 指定電話機"/>

《確認のしかた》

確定 ハ MNO 6 確認したいオートダイヤルを選択 短縮 内容の表示

(例) オートダイヤル22～30ボタンに登録された場合 (TD520 電話機の場合)

オートダイヤルボタン	表示	オートダイヤルボタン	表示
レビュー(オート26)	オート26:特殊番号 25 レビュー	用件再生(オート27)	オート27:特殊番号 24 用件再生
再生(オート22)	オート22:特殊番号 21 再生	通話メモ(オート23)	オート23:特殊番号 26 通話メモ
スキップ(オート28)	オート28:特殊番号 23 スキップ	メモ再生(オート24)	オート24:特殊番号 27 メモ再生
消去(オート29)	オート29:特殊番号 22 消去	留守子機切替(オート25)	オート25:特殊番号 29 留守子機切替
留守(オート30)	オート30:特殊番号 20 留守		

《消去のしかた》

確定 ハ MNO 6 消去したいオートダイヤルを選択 確定 カ ABC 2 ア 1

《変更のしかた》

オートダイヤルの「登録のしかた」と同じ操作をします。(222ページ参照)

各種メッセージの録音 / 確認 / 変更 / 消去のしかた

各種メッセージを留守番指定電話機から録音します。(録音時間は各メッセージごとに最大5分です。)
内蔵の固定メッセージでご利用される場合は、メッセージの録音は不要です。
留守番指定電話機からの操作になります。

《録音のしかた》

1 **確定** **ナ 5** **ア 1** を押す

《各種メッセージの設定》
1 留守録メッセージ1
2 留守録メッセージ2
3 留守録メッセージ3

2 **ワ 0** ~ **ラ 9** のいずれかを押す

《留守録メッセージ1》
1 録音
2 再生
3 消去

3 **ア 1** を押す

《留守録メッセージ1》
録音を開始します
受話器を上げて、**確定**を押下してください

4 

5 **確定** を押す

《留守録メッセージ1》
録音中です 残り時間 5:00
確定 録音終了

6 受話器からメッセージを録音する

7 

・《各種メッセージの設定》へ進みます。

・メッセージを選択します。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 留守録メッセージ1 | 2 留守録メッセージ2 |
| 3 留守録メッセージ3 | 4 応答専用メッセージ1 |
| 5 応答専用メッセージ2 | 6 応答専用メッセージ3 |
| 7 お待たせメッセージ | 8 外線転送用メッセージ |
| 9 非通知着信拒否メッセージ | 0 迷惑電話拒否メッセージ |

・選択されたメッセージの設定へ進みます。

・表示例：留守録メッセージ1

・《録音》へ進みます。

・表示例：留守録メッセージ1

スピーカー ランプ：赤点灯

スピーカー ランプ：消灯

・《録音》を開始します。

・表示例：留守録メッセージ1

・受話器を上げないで **確定** を押してもマイクから《録音》を開始します。

・録音中に **確定** を押すと、録音を終了します。

・マイクから録音した場合は、 **スピーカー** を押します。

・《各種メッセージの設定》へ戻ります。



MEMO

操作1は、メニュー特番5 1、

操作1、2は、メニュー特番5 1 X (X: ~) (上記操作2を参照)

操作1~3は、メニュー特番5 1 X 1 (X: ~) (上記操作2を参照) (* 1)

として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

* 1 登録後は **オート** **確定** マイク (もしくは、) からメッセージを録音 **スピーカー** (もしくは、) 操作になります。

《確認のしかた》

1 確定 を押す

《各種メッセージの設定》
<input type="text" value="1"/> 留守録メッセージ 1
<input type="text" value="2"/> 留守録メッセージ 2
<input type="text" value="3"/> 留守録メッセージ 3

2 ~ のいずれかを押す

《留守録メッセージ 1》
<input type="text" value="1"/> 録音
<input type="text" value="2"/> 再生
<input type="text" value="3"/> 消去

3 を押す

《留守録メッセージ 1》
再生を開始します
<input type="text" value="確定"/> を押下してください

4 を押す

《留守録メッセージ 1》
再生中です
<input type="text" value="確定"/> 再生終了

・《各種メッセージの設定》へ進みます。

・メッセージを選択します。

- | | |
|---|--|
| <input type="text" value="1"/> 留守録メッセージ 1 | <input type="text" value="2"/> 留守録メッセージ 2 |
| <input type="text" value="3"/> 留守録メッセージ 3 | <input type="text" value="4"/> 応答専用メッセージ 1 |
| <input type="text" value="5"/> 応答専用メッセージ 2 | <input type="text" value="6"/> 応答専用メッセージ 3 |
| <input type="text" value="7"/> お待たせメッセージ | <input type="text" value="8"/> 外線転送用メッセージ |
| <input type="text" value="9"/> 非通知着信拒否メッセージ | <input type="text" value="0"/> 迷惑電話拒否メッセージ |

・選択されたメッセージの設定へ進みます。

・表示例：留守録メッセージ 1

・再生確認へ進みます。

・再生を開始します。

・再生が終わると、《各種メッセージの設定》に戻ります。

・再生中に を押すと、再生を終了し、《各種メッセージの設定》に戻ります。

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 5 1、

操作 1、2 は、メニュー特番 5 1 X (X : ~ (上記操作 2 を参照))、

操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 5 1 X 2 (X : ~ (上記操作 2 を参照)) (* 1)

として、電話機の に登録できます。(221ページ参照)

* 1 登録後は、 を押すと、選択されたメッセージを再生します。

《変更のしかた》

《録音のしかた》と同じ的操作を行います。(135ページ参照)

《消去のしかた》

1 **確定** **ナ 5** **ア 1** を押す

《各種メッセージの設定》
1 留守録メッセージ1
2留守録メッセージ2
3留守録メッセージ3

・《各種メッセージの設定》へ進みます。

2 **フ 0** ~ **ラ 9** のいずれかを押す

《留守録メッセージ1》
1 録音
2確認
3消去

・消去したいメッセージを選択します。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1留守録メッセージ1 | 2留守録メッセージ2 |
| 3留守録メッセージ3 | 4応答専用メッセージ1 |
| 5応答専用メッセージ2 | 6応答専用メッセージ3 |
| 7お待たせメッセージ | 8外線転送用メッセージ |
| 9非通知着信拒否メッセージ | 0迷惑電話拒否メッセージ |

・選択されたメッセージの設定へ進みます。

・表示例：留守録メッセージ1

3 **サ DEF 3** を押す

《留守録メッセージ1》
消去しますか？
1はい
2 いいえ

・消去確認へ進みます。

4 **ア 1** を押す

《留守録メッセージ1》
消去しました

・選択されたメッセージが消去され、《各種メッセージの設定》に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番5 1、

操作1、2は、メニュー特番5 1 X (X: **1** ~ **0** (上記操作2を参照))

操作1~3は、メニュー特番5 1 X 3 (X: **1** ~ **0** (上記操作2を参照)) (* 1)

として、電話機の**○オート**に登録できます。(221ページ参照)

* 1 登録後は、**○オート**を押すと、選択されたメッセージを消去します。

留守番モードで、着信してから留守番電話が応答するまでの時間を設定できます。各留守番指定電話機で別々に設定します。

《変更のしかた》

1 確定 を押す

- ・《留守番自動応答時間》へ進みます。

《留守番自動応答時間》 009 (001~180)

2 応答時間を入力する

《留守番自動応答時間》 12 (001~180)


- ・001~180秒のいずれかを入力してください。
- ・000は入力できません。
- ・初期設定は9秒です。(009)
- ・必ず3桁入力してください。

↓

《留守番自動応答時間》 設定しました

- ・3桁入力されると《留守番自動応答時間》が登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。

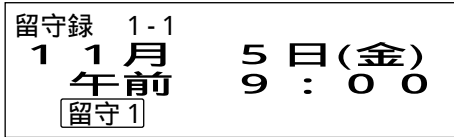
MEMO

操作1は、メニュー特番52、
操作1~3は、メニュー特番52XXX(X:001~180(秒))
として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

留守番セットのしかた

オートダイヤルに登録された **留守** を押し、留守番セット / 解除の操作ができます。

1 **留守** を押す



- ・ **留守** を押すたびにモードが変わります。
- ・ 表示例：留守番1指定電話機で応答録音モード1

応答録音 (モード1) ^{1~3}「留守録 n-1」⁴

応答録音 (モード2)「留守録 n-2」

応答録音 (モード3)「留守録 n-3」

応答専用 (モード1)「お知らせ n-1」

応答専用 (モード2)「お知らせ n-2」

応答専用 (モード3)「お知らせ n-3」

追っかけ転送 ⁵(モード1)「追っかけ n-1」

追っかけ転送 (モード2)「追っかけ n-2」

追っかけ転送 (モード3)「追っかけ n-3」

カレンダー・時計表示

留守 ランプ：赤点灯

- 1 応答録音で使うか、応答専用で使うかは工事設定によります。
- 2 応答録音 (モード2、3) および応答専用 (モード2、3) のモードは、応答録音メッセージ (モード2、3) 応答専用メッセージ (モード2、3) が録音されている場合だけセットできます。
- 3 応答録音メッセージ (モード1) または、応答専用メッセージ (モード1) が録音 (135ページ参照) されていない場合、内蔵の固定メッセージを流します。
- 4 「n」の表記は留守番指定電話機の番号を表示します。
- 5 転送先電話番号の登録および、リモコン機能の暗証番号の登録がされていない場合、追っかけ転送の留守番セットはできません。
(追っかけ転送先電話番号の登録は143ページ、暗証番号の登録は166ページ参照)

MEMO

用件自動消去が設定されているときに、未再生録音が残っている場合、操作1を行うと用件は消去されずに留守番セットになります。

留守番応答時にスピーカーから音声を送出不ないようにする (サイレントモード設定)

留守番応答時に留守番指定電話機のスピーカから音声（応答メッセージ、相手の音声）を送出不ないように設定できます。

《セットのしかた》

1 **確定** **ナ** **JKL** **5** **タ** **GHI** **4** を押す

《サイレントモード設定》
【OFF】
2 OFF
保留 戻る

- ・《サイレントモード設定》へ進みます。
- ・初期設定は「OFF」です。

2 **ア** **1** を押す

《サイレントモード設定》
設定しました

- ・サイレントモードに設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。

《解除のしかた》

1 **確定** **ナ** **JKL** **5** **タ** **GHI** **4** を押す

《サイレントモード設定》
【ON】
1 ON
2 OFF

- ・《サイレントモード設定》へ進みます。

2 **カ** **ABC** **2** を押す

《サイレントモード設定》
解除しました

- ・サイレントモードが解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

セット/解除のしかたの操作1、2はメニュー特番54として **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

登録後は、**○オート** を押すごとに、「セット」「解除」を繰り返します。

サイレントモードをONに設定すると、留守番セット中の留守番指定電話機の表示に「S」が表示されます。

留守番セット中に電話がかかってきたら

〈応答録音〉

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 応答メッセージを流す

- ・ 応答録音用のメッセージを録音していないときは、固定応答メッセージ「ただ今、留守にしております。ピーという音の後にご用件をお話してください。」を流します。

3 信号音「ピー」音を送出する

4 用件を録音する

- ・ 表示例：留守番 1 指定電話機で応答録音に用件 6 件あり

留守録	1-1	6件
1	1月	5日(金)
	午前	9:00
	留守1	

○留守ランプ：赤点滅

〈応答専用〉

1 電話がかかってきたら自動応答する

2 モード(1, 2, 3)により メッセージが2回流れる

- ・ 応答専用のメッセージを録音していないときは、固定応答専用メッセージ(ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。)を続けて2回流します。

3 信号音「ピー」音を送出する

4 メッセージが終了すると自動的に電話を切る

《追っかけ転送》

1 留守セット中に用件録音される

- ・用件が満杯のときは、追っかけ転送しません。

2 転送先電話に自動発信

- ・転送先電話番号の登録方法は、143ページを参照してください。
- ・用件が録音されると、約1分後に転送先電話番号へ自動発信します。
- ・約50秒間転送先を呼出します。応答しないと電話を切ります。
- ・転送先が通話中のときは、3回までリダイヤルします。

3 転送先電話が応答する

4 リモコン操作で録音された用件を確認する

- ・リモコンの操作は、プッシュ信号での操作になります。
- ・転送先へは、「プップッ」音が聞こえます。
- ・20秒以内に暗証番号をダイヤルするとリモコン操作ができます。

MEMO

留守機能応答後、留守番指定電話機のスピーカから相手の声が聞こえます。その時、留守番指定電話機の受話器をあげれば通話ができます。

用件録音が満杯になると、応答専用に自動で切り替わります。(応答専用メッセージまたは固定応答専用メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」を2回流したあと、自動的に電話を切ります。用件録音できなくなります)

工事設定により、識別着信毎に留守番応答するか、しないかを指定できます。

追っかけ転送先電話番号の登録/確認/変更/消去

各留守番指定電話機で別々に操作します。

《登録のしかた》

1 **確定** **ナ 5** **ナ 5** を押す

《追っかけ転送先電話番号》
【登録なし】
1登録
2消去

- ・《追っかけ転送先電話番号》へ進みます。
- ・初期設定は「登録なし」です。

2 **ア 1** を押す

《追っかけ転送先電話番号》
桁数：最大24桁
短縮 特殊コード

- ・《追っかけ転送先電話番号》登録へ進みます。

3 電話番号を入力する

《追っかけ転送先電話番号》
03-3493-5111
桁数：最大24桁
短縮 特殊コード

- ・電話番号を入力します。
- ・最大桁数は24桁です。
- ・**短縮** を押すと、特殊コードを入力できます。
- ・**短縮** を押すごとに、ポーズ「P」 ハイフン「-」 ネスティング「[]」を繰り返します。

4 **確定** を押す

《追っかけ転送先電話番号》
登録しました

- ・電話番号を入力し、**確定** を押すと、《追っかけ転送先電話番号》登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番55、操作1、2は、メニュー特番551として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

《確認のしかた》

1 確定 を押す

《追っかけ転送先電話番号》 【03-3493-5111】
<input type="radio"/> 1 登録
<input type="radio"/> 2 消去

- ・《追っかけ転送先電話番号》へ進みます。
- ・【 】内に追っかけ転送先電話番号が表示されます。

MEMO

操作1は、メニュー特番55として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)

《変更のしかた》

《登録のしかた》と同じ操作です。(143ページ参照)

登録済の電話番号は を押すと消せます。

《消去のしかた》

1 確定 を押す

《追っかけ転送先電話番号》 【03-3493-5111】
<input type="radio"/> 1 登録
<input type="radio"/> 2 消去

- ・《追っかけ転送先電話番号》へ進みます。

2 を押す

《追っかけ転送先電話番号》 消去しますか？
<input type="radio"/> 1 はい
<input type="radio"/> 2 いいえ

- ・消去確認へ進みます。

3 を押す

《追っかけ転送先電話番号》 消去しました

- ・登録されている《追っかけ転送先電話番号》が消去され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番55、操作1～3は、メニュー特番552として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)

録音された用件の再生 / 消去

用件が録音されていれば、留守番解除することで、用件が自動再生されます。

《用件再生のしかた》

留守番セットの状態から

留守録 1 - 1 7件
1 1月 5日(金)
午前 9 : 00
留守1

・表示例：7件の用件録音あり

留守 ランプ：赤点滅

着信 ランプ：青点滅

1 留守 を押す

用件再生 1件
1 0月 1 2日(火)
午前 9 : 30

・留守番が解除され、再生中の用件番号と用件が録音された日時を表示します。

・用件は、連続で再生されます。

・再生開始音「ピー」が聞こえます。

留守 ランプ：消灯

用件再生 ランプ：赤点灯

スピーカ ランプ：赤点灯

1 1月 5日(金) 内線 10
午前 9 : 00

・再生がすべて終了すると、カレンダー・時計表示に戻ります。

・再生終了音：「ピー」

用件再生 ランプ：消灯

スピーカ ランプ：消灯

着信 ランプ：消灯

《用件をもう一度初めから聞きたいとき》

1 用件再生 を押す

用件再生 1件
1 0月 1 2日(火)
午前 9 : 30

・用件再生 ランプが赤点滅しているときは未再生用件があります。この場合は、未再生用件から再生します。

・用件再生 ランプが消灯しているときは、1件目から再生します。

・再生開始音「ピー」が聞こえます。

用件再生 ランプ：赤点灯

スピーカ ランプ：赤点灯

・再生終了音「ピー」が聞こえます。

MEMO

工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。

用件再生中に、用件再生 を押すと、再生が停止され今の用件を初めから再生します。

用件再生中に、スキップ を押すと、再生が停止され次の用件を再生します。

用件再生中に、レビュー を押すと、再生が停止され1つ前の用件を再生します。

《用件消去のしかた（個別消去）》

1 用件再生 を押す

用件再生 1件
1 0 月 1 2 日 (火)
午前 9 : 3 0

- ・ 用件再生 ランプが赤点滅しているときは未再生用件があります。この場合は、未再生用件から再生します。
- ・ 用件再生 ランプが消灯しているときは、1件目から再生します。
- ・ 再生開始音「ピー」が聞こえます。
 - 用件再生 ランプ：赤点灯
 - スピーカ ランプ：赤点灯

2 消 去 を押す

用件個別消去
消去しますか？

で消去

- ・ 再生中の用件を停止し、消去確認へ進みます。

3 確定 を押す

用件個別消去
消去しました

- ・ 再生していた用件を消去します。

4 次の用件がある場合

用件再生 3件
1 0 月 1 2 日 (火)
午前 9 : 3 0

- ・ 次の用件がある場合、次の用件を再生します。
- ・ 再生開始音「ピー」が聞こえます。

4 次の用件がない場合

内線 10
1 1 月 5 日 (金)
午前 9 : 0 0

- ・ 次の用件がない場合、カレンダー・時計表示に戻ります。
 - 用件再生 ランプ：消灯
 - スピーカ ランプ：消灯
- ・ 再生終了音「ピー」が聞こえます。

《用件消去のしかた（一括消去）》

（用件の一括消去は、《各種用件を一括消去する》（165ページ）をご覧ください。）

決まった日時に留守番機能のセット・解除を自動的に行います。各留守番指定電話機で別々に操作します。タイムは、各曜日毎にタイム1～4があります。

《登録のしかた》

1 **確定** **ナ** **5** **ハ** **6** を押す

《留守番モード自動切替設定》	
0	日曜日
1	月曜日
2	火曜日

・《留守番モード自動切替設定》へ進みます。

2 **フ** **0** ~ **ハ** **6** のいずれかを押す

《留守番自動切替一日》	
1	タイム1
2	タイム2
3	タイム3

・曜日の選択は、ダイヤルボタンで行います。
0 日曜日、**1** 月曜日、**2** 火曜日、**3** 水曜日、
4 木曜日、**5** 金曜日、**6** 土曜日
 ・タイム選択へ進みます。
 ・表示例：**フ0**を押して、日曜日を選択します。

3 **ア** **1** ~ **タ** **4** のいずれかを押す

《留守番自動切替一日-タイム1》	
【登録なし】	
1	登録
2	消去

・タイムを選択します。
1 タイム1 ~ **4** タイム4
 ・選択されたタイムの設定へ進みます。
 ・初期設定は「登録なし」です。

4 **ア** **1** を押す

《留守番自動切替一日-タイム1》	
1	切替時刻
2	モード
3	サイレント

・選択されたタイムの登録へ進みます。

5 **ア** **1** を押す

《留守番自動切替一日-タイム1》	
■	: ~ :
(00:00	~ 24:00)

・選択されたタイムの《切替時刻》登録へ進みます。

6 切替時刻を入力する

《留守番自動切替一日-タイム1》	
18:00	~ 24:0 0
(00:00	~ 24:00)

・留守番自動切替の時間帯を入力します。
 ・00:00～24:00で入力してください。
 ・**フラッシュ** (または **⊙**) を押すと、カーソルの前の桁を削除します。
 ・すでに時刻が入っている場合は上書きします。
 ・日をまたがった時刻指定はできません。

次ページへ →

7 確定を押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》	
1切替時刻	10:00-18:00
2モード	
3サイレント	

- ・選択されたタイマの《切替時刻》が仮登録され、選択されたタイマの登録に戻ります。

8 カ ABC 2 を押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》	
1留守録1	
2留守録2	
3留守録3	

- ・選択されたタイマの《モード》登録へ進みます。

9 ア 1 ~ ラ WXYZ 9 のいずれかを押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》	
2モード	留守録1
3サイレント	
#登録	

- ・モードを選択します。
1留守録1 2留守録2 3留守録3
4お知らせ1 5お知らせ2 6お知らせ3
7追っかけ1 8追っかけ2 9追っかけ3
- ・選択されたモードが仮登録され、タイマ登録へ戻ります。
- ・表示例：モードを留守録1に設定

10 サ DEF 3 を押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》	
1ON	
2OFF	
保留	戻る

- ・選択されたタイマの《サイレント》へ進みます。

11 ア 1 を押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》	
3サイレント	>ON
#登録	
保留	戻る

- ・サイレント設定をします。
- ・《サイレント》ONに仮登録され、タイマ登録へ戻ります。

12 # を押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》	
登録しました	

- ・登録内容を確認してください。
- ・登録内容を確認後、**#**を押すと、本登録され、選択された曜日の登録へ戻ります。

MEMO

操作1はメニュー特番56、
操作1,2はメニュー特番56X
(X:0日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日)
操作1~3はメニュー特番56XY
(X:0日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日)
(Y:1タイマー1、2タイマー2、3タイマー3、4タイマー4)
として、電話機の()オートに登録できます。(221ページ参照)
手動で留守番セットされている場合は、指定した時刻になっても手動でセットした留守番が優先されます。
タイマをセットした時刻になると、留守番指定電話機の表示に「T」が表示されます。

《コピーのしかた》

《留守番モード自動切替設定》の登録された曜日のタイムの内容を他の曜日にコピーすることができます。

1 確定 を押す

《留守番モード自動切替設定》
<input type="radio"/> 日曜日
<input type="radio"/> 月曜日
<input type="radio"/> 火曜日

- ・《留守番モード自動切替設定》へ進みます。

2 ~ のいずれかを押す

《留守番自動切替一日》
<input type="radio"/> タイマ 1
<input type="radio"/> タイマ 2
<input type="radio"/> タイマ 3

- ・コピー元の曜日を選択します。
 日曜日、 月曜日、 火曜日、 水曜日、 木曜日、 金曜日、 土曜日
- ・タイム選択へ進みます。
- ・表示例： を押して、日曜日を選択します。

3 ~ のいずれかを押す

《留守番自動切替 - 日 - タイマ 2》
[10:00-18:00 お知らせ 1 OFF]
<input type="radio"/> 登録
<input type="radio"/> 消去



《留守番自動切替 - 日 - タイマ 2》
[10:00-18:00 お知らせ 1 OFF]
<input type="radio"/> コピー
保留 戻る

- ・コピー元のタイムを選択します。
 タイマ 1 ~ タイマ 4
- ・選択されたタイムの設定へ進みます。
- ・初期設定は「登録なし」です。
- ・表示例： を押して、タイム 2 を選択します。

- ・表示例： を押すと、ページが切り替わり、 コピーを表示します。

4 を押す

《留守番自動切替 - 日 - タイマ 2》
<input checked="" type="checkbox"/> 日曜日
<input type="checkbox"/> 月曜日
<input type="checkbox"/> 火曜日









《留守番自動切替 - 日 - タイマ 2》
<input type="checkbox"/> 土曜日
<input type="checkbox"/> 実行
保留 戻る

- ・選択されたタイム登録のコピー先設定へ進みます。
- ・選択されたタイム登録のコピー元曜日には、 印がついています。

- ・表示例： を押すと、ページが切り替わり、 実行を表示します。

5 コピー先曜日を選択する

《留守番自動切替 - 日 - タイマ2》	
<input checked="" type="checkbox"/>	日曜日
<input checked="" type="checkbox"/>	月曜日
<input type="checkbox"/>	火曜日

- ・  にて曜日を選択し、を押すと選択されます。
- ・ 曜日が選択されると、「」を表示します。
選択されていない場合は、「」表示になります。
- ・ を押すごとに、「」「」を繰り返します。
- ・ 表示例：、を押して、月曜日を選択します。

6 を押す

《留守番自動切替 - 日 - タイマ2》	
登録しました	

- ・ 選択されている曜日のタイマの登録内容がコピー先の曜日のタイマに登録され、選択された曜日のタイマ選択に戻ります。

MEMO

コピー先曜日は、他の曜日を全て選択できます。

例：日曜日のタイマ2を他の曜日（月曜日～土曜日）のタイマ2に一度にコピーできます。

操作1はメニュー特番56、

操作1, 2はメニュー特番56X

(X: 日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日)

操作1～3はメニュー特番56XY

(X: 日曜日、1月曜日、2火曜日、3水曜日、4木曜日、5金曜日、6土曜日)

(Y: 1タイマー1、2タイマー2、3タイマー3、4タイマー4)

として、電話機の  オート に登録できます。（221ページ参照）

《確認のしかた》

1 確定 **ナ** 5 **ハ** 6 を押す

《留守番モード自動切替設定》
0 日曜日
1 月曜日
2 火曜日

- ・《留守番モード自動切替設定》へ進みます。

2 **ワ** 0 ~ **ハ** 6 のいずれかを押す

《留守番自動切替一日》
1 タイマ1
2 タイマ2
3 タイマ3

- ・曜日を選択します。
0日曜日、**1**月曜日、**2**火曜日、**3**水曜日、
4木曜日、**5**金曜日、**6**土曜日
- ・タイマ選択へ進みます。
- ・表示例：**ワ**0を押して、日曜日に選択します。

3 **ア** 1 ~ **タ** 4 のいずれかを押す

《留守番自動切替一日-タイマ1》
【10:00-18:00 留守録1 ON】
1 登録
2 消去

- ・タイマを選択します。
1タイマ1 ~ **4**タイマ4
- ・選択されたタイマの設定へ進みます。
- ・初期設定は「登録なし」です。
- ・表示例：切替時間 : 10:00 - 18:00
モード : 留守番1
サイレント: ON

《変更のしかた》

登録のしかたと同じ操作です。(147ページ)

MEMO

操作1はメニュー特番56、
操作1, 2はメニュー特番56X
(X: **0**日曜日、**1**月曜日、**2**火曜日、**3**水曜日、**4**木曜日、**5**金曜日、**6**土曜日)
操作1~3はメニュー特番56XY
(X: **0**日曜日、**1**月曜日、**2**火曜日、**3**水曜日、**4**木曜日、**5**金曜日、**6**土曜日)
(Y: **1**タイマー1、**2**タイマー2、**3**タイマー3、**4**タイマー4)
として、電話機の**○オート**に登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた（タイマ単位）》

1 確定 **ナ** 5 **ハ** 6 を押す

《留守番モード自動切替設定》
0 日曜日
1月曜日
2火曜日

・《留守番モード自動切替設定》へ進みます。

2 **ワ** 0 ~ **ハ** 6 のいずれかを押す

《留守番自動切替一日》
1 タイマ 1
2タイマ 2
3タイマ 3

・曜日を選択します。
0日曜日、**1**月曜日、**2**火曜日、**3**水曜日、
4木曜日、**5**金曜日、**6**土曜日
 ・タイマ選択へ進みます。
 ・表示例：**ワ** 0 を押して、日曜日を選択します。

3 **ア** 1 ~ **タ** 4 のいずれかを押す

《留守番自動切替一日-タイマ 3》
[10:00-18:00 お知らせ 1 OFF]
1 登録
2消去

・タイマを選択します。
1タイマ 1 ~ **4**タイマ 4
 ・選択されたタイマの設定へ進みます。
 ・表示例：**サ** 3 を押して、タイマ 3 を選択

4 **カ** 2 を押す

《留守番自動切替一日-タイマ 3》
消去しますか？
1 はい
2いいえ

・消去確認へ進みます。

5 **ア** 1 を押す

《留守番自動切替一日-タイマ 3》
消去しました

・《自動切替》の選択された曜日のタイマが消去され、選択された曜日の登録へ戻ります。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 5 6、
 操作 1, 2 はメニュー特番 5 6 X
 (X : **0**日曜日、**1**月曜日、**2**火曜日、**3**水曜日、**4**木曜日、**5**金曜日、**6**土曜日)
 操作 1 ~ 3 はメニュー特番 5 6 X Y
 (X : **0**日曜日、**1**月曜日、**2**火曜日、**3**水曜日、**4**木曜日、**5**金曜日、**6**土曜日)
 (Y : **1**タイマー 1、**2**タイマー 2、**3**タイマー 3、**4**タイマー 4)
 として、電話機の **○オート** に登録できます。(221 ページ参照)

《消去のしかた（曜日単位）》

1 **確定** **ナ** **5** **ハ** **6** を押す

《留守番モード自動切替設定》	
0	日曜日
1	月曜日
2	火曜日

- ・《留守番モード自動切替設定》へ進みます。

2 **マ** **0** ~ **ハ** **6** のいずれかを押す

《留守番自動切替 - 日》	
1	タイマ 1
2	タイマ 2
3	タイマ 3



《留守番自動切替 - 日》	
4	タイマ 4
5	消去（曜日単位）
保留 戻る	

- ・曜日を選択します。
0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、
4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日
- ・タイマ選択へ進みます。
- ・表示例：**マ** **0** を押して、日曜日を選択します。

- ・**マ** **0** を押すと、ページが切り替わり、**5** 消去（曜日単位）を表示します。

3 **ナ** **5** を押す

《留守番自動切替 - 日》	
消去しますか？	
1	はい
2	いいえ

- ・消去確認へ進みます。

4 **ア** **1** を押す

《留守番自動切替 - 日》	
消去しました	

- ・選択された曜日のタイマが消去され、タイマ選択へ戻ります。
- ・表示例：日曜日

MEMO

操作 1 はメニュー特番 5 6、

操作 1, 2 はメニュー特番 5 6 X

(X : 0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日)

操作 1 ~ 3 はメニュー特番 5 6 X 5

(X : 0 日曜日、1 月曜日、2 火曜日、3 水曜日、4 木曜日、5 金曜日、6 土曜日)

として、電話機の **オート** に登録できます。（221ページ参照）

他の留守番指定電話機の操作を行うことができます。

1 留守子機切替 を押す

留守子機切替 ランプ：赤点灯

2 留守番機能の操作をする

- 留守子機切替 を押した後、20秒以内に留守番機能进行操作してください。
- 20秒以内に留守番機能操作を行わないと、自動的に自分の留守番指定電話機に戻ります。

留守子機切替 ランプ：消灯

MEMO

切り替え操作を行うためには、あらかじめ電話機のオート に留守子機切替(特殊番号29)を登録する必要があります。(222ページ参照)
付属のステッカ「留守子機切替」シールを貼ると便利です。

グループごとに留守番応答しないようにする

(グループ識別着信留守番)

あらかじめ電話帳に登録したグループごとに、留守番セットした際、留守番応答せずに着信させることができます。識別着信による留守番応答設定は、工事設定によりグループ(グループ0～9)ごとにそれぞれ留守番応答するか、しないかを指定することができます。

MEMO

留守番応答せずに着信させた場合、その着信を外線自動転送で転送することができます。
(120ページ参照)

電話を取れないときにメッセージで応答する（お待たせメッセージ応答）

外線通話中に別外線に電話がかかってきたとき、すぐに応答できない場合は、電話機の操作により、お待たせメッセージを別外線の相手に1回流したあと、保留音を流します。

（例）外線1で通話中に、外線2に着信が入ったときの操作

《基本的な操作》

1 機能 を押す

機能 ランプ：赤点灯

2 着信が入った 外線 2 を押す

- ・外線2の相手にお待たせメッセージを1回流したあと、保留音を流します。
- ・外線1の通話終了後に、保留中の 外線 2 を押し、外線2の相手と通話することができます。

機能 ランプ：消灯

外線 2 ランプ：緑点滅

《ワンタッチでの操作》

オートダイヤルに お待たせ ボタンを登録しておく、ワンタッチでのお待たせメッセージ応答操作が可能となります。お待たせ（特殊番号12）の登録方法は、222ページを参照してください。（特殊番号の一覧表は555ページ参照）

1 お待たせ を押す

- ・外線2の相手にお待たせメッセージを1回流したあと、保留音を流します。
- ・外線1の通話終了後に、保留中の 外線 2 を押し、外線2の相手と通話することができます。

外線 2 ランプ：緑点滅

MEMO

全ての留守番指定電話機が留守番機能を実行中のとき、お待たせ応答は使用できません。

外線通話中以外に、内線通話中、ドアホン通話中、未使用状態からでも操作できます。

お待たせ応答できる外線は、着信鳴動している外線で、お待たせメッセージ送出中に他の外線着信に対してもお待たせ応答できます。

お待たせ応答後、再応答せずに3分経過すると再び着信音が鳴動します。（初期設定）

（工事設定により、再び着信音が鳴動するまでの時間設定を変更できます。）

アナログ回線でお待たせ応答中に、相手が通話を切っても保留状態のままです。一度 外線 を押してから切ってください。デジタル回線の場合は、相手が通話を切ると、保留中の外線は自動的に切れやす付属のステッカ「お待たせ」シールを貼ると便利です。

非通知の着信にメッセージで応答する (非通知着信メッセージ応答)

発信者番号通知が非通知の着信について、着信拒否メッセージで応答して外線を自動開放します。
非通知着信拒否メッセージの録音方法は135ページを、確認/消去/変更方法は136,137ページを参照してください。

・非通知着信拒否メッセージ応答を使用する際は、工事設定とナンバーディスプレイサービスのご契約が必要となります。

《登録のしかた》

1 を押す

《非通知着信メッセージ外線設定》
外線 1
外線 2
外線 3



《非通知着信メッセージ外線設定》
外線 2 0
#登録
保留 戻る

・《非通知着信メッセージ外線設定》へ進みます。

・ を押して、ページを切り替えると、 を表示します。

2 外線を選択する

《非通知着信メッセージ外線設定》
外線 1
✓外線 2
外線 3

・ にて非通知着信拒否する外線を選択し、 を押すと選択されます。

・外線が選択されると、「」と表示します。
選択されていない場合は、「」の表示になります。
 を押すごとに、「」「」を繰り返します。

・表示例： を押して、外線 2 を選択します。

3 を押す

《非通知着信メッセージ外線設定》
登録しました

・選択された外線が非通知着信メッセージ外線に登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。

・操作 1 ~ 3 を繰り返すと、設定/解除になります。

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 1 * として電話機の に登録できます。(221ページ参照)

《非通知着信拒否機能のセット / 解除》

工事設定により、非通知着信を留守番指定電話機が応答し、メッセージを送出します。
非通知着信拒否を設定した留守番指定電話機より操作します。

オートダイヤルに登録された 留守 を押します。

1 留守 を押す

非通知着信拒否
1 1 月 5 日(金)
午前 9 : 0 0
非通知

- ・非通知着信拒否機能をセットします。
- ・ピクト「非通知」を表示します。
 留守 ランプ：赤点灯
- ・再度 留守 を押すと、非通知着信拒否機能を解除します。

MEMO

非通知着信拒否メッセージが録音されていない場合、内蔵の固定メッセージ「おかけになった電話は、お受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けて、おかけ直してください。」が流れます。

迷惑電話に対して、迷惑電話拒否メッセージで応答して外線を自動開放します。

本システムは、あらかじめ、迷惑電話用固定メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」があります。ご自分でメッセージを作成することもできます。

迷惑電話拒否メッセージの録音方法は、135ページを、確認 / 変更 / 消去方法は、136,137ページを参照してください。

迷惑電話拒否メッセージ応答を使用する際は、工事設定とナンバーディスプレイサービスのご契約が必要になります。

登録は、100件までできます。登録がいっぱいになったとき、消去するには「一件消去」(160ページ)と「全件消去」(161ページ)があります。

《迷惑電話の登録のしかた》

システム着信履歴または、個別着信履歴により迷惑電話に登録したい電話番号を選択します。

1 電話番号を検索する

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:11111111
003:目黒サクサビジネス

- ・システム着信履歴の場合は、 または () 個別着信履歴の場合は、 を押します。
- ・それぞれの着信履歴へ進み、かかってきた電話番号の最新から順に3件表示します。
- ・表示例：《システム着信履歴》

2 電話番号を選択する

《システム着信履歴》
001:0123456789
002:11111111
003:目黒サクサビジネス

- ・ にて、迷惑電話に登録したい電話番号を選択します。
- ・表示例： を押して、システム着信履歴002を選択します。

3 を押す

002:11111111
発信
電話帳登録

- ・選択された着信履歴の設定へ進みます。
- ・表示例：システム着信履歴002

↓

002:11111111
迷惑電話登録
一件消去

- ・ を押すと、ページが切り替わり、 迷惑電話登録を表示します。

4 を押す

11111111
迷惑電話に登録しますか？
はい
いいえ

- ・迷惑電話の登録確認へ進みます。

5 を押す

11111111
迷惑電話に登録しました

- ・着信履歴から選択された電話番号を迷惑電話に登録して、検索した着信履歴の一覧表示に戻ります。

《通話中に登録する》

迷惑電話と外線通話中に次の操作を行ってください。

1 迷惑電話 を押す

MEMO

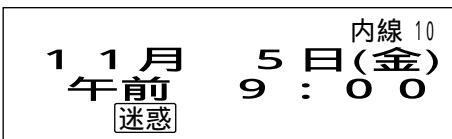
迷惑電話 (特殊番号 2 8) は、電話機の オート に登録できます。(222ページ参照)
付属のステッカ「迷惑電話」シールを貼ると便利です。

《迷惑電話拒否機能のセット/解除のしかた》

工事設定により、迷惑電話に対して留守番指定電話機が応答し、メッセージを送出します。
迷惑電話拒否機能ができる留守番指定電話機より操作します。

オート に登録された 留守 を押します。

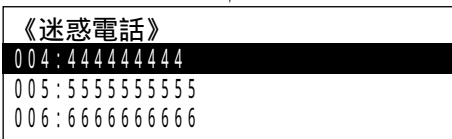
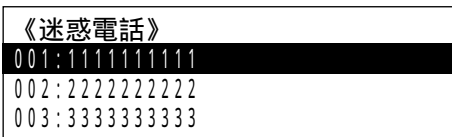
1 留守 を押す



- ・迷惑電話拒否機能をセットします。
このときピクト「迷惑」を表示します。
 留守 ランプ：赤点灯
- ・再度 留守 を押すと、迷惑電話拒否機能を解除し、ピクト「迷惑」が消えます。

《確認のしかた》

1 確定 ラ WXYZ 9 ア 1 サ DEF 3 を押す



- ・《迷惑電話》一覧表示へ進みます。
- ・迷惑電話が登録されていない場合は、《システム》登録に戻ります。
- ・ 留守 留守 にて他の登録された《迷惑電話》が見られます。
- ・表示例： 留守 を押すと、次のページに切り替わり表示します。

MEMO

操作 1 はメニュー-特番 9 1 3 として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)

《一件消去のしかた》




1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **サ 3** を押す

《迷惑電話》
001:111111111
002:222222222
003:333333333

- ・《迷惑電話》一覧表示へ進みます。

2 削除したい電話番号を選択する

《迷惑電話》
001:111111111
002:222222222
003:333333333

- ・  にて、消去したい電話番号を選択します。
- ・表示例： を押して、002を選択します。

3 **確定** を押す

《迷惑電話》
[222222222]
①一件消去
②全件消去

- ・《迷惑電話》へ進みます。

4 **ア 1** を押す

222222222
消去しますか？
①はい
②いいえ

- ・《迷惑電話》消去確認へ進みます。

5 **ア 1** を押す

222222222
消去しました

- ・**ア 1** を押すと、選択した電話番号を《迷惑電話》から消去し、《迷惑電話》一覧へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番913として、電話機の  オート に登録できます。（221ページ参照）

《全件消去のしかた》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **サ** 3 **確定** を押す

《迷惑電話》 [222222222222]
①一件消去
②全件消去

- ・《迷惑電話》消去設定へ進みます。
- ・表示例：《迷惑電話》2222222222
全件消去する場合は、選択する電話番号は何でもよい。

2 **カ** 2 **ABC** を押す

《迷惑電話》 全件消去しますか？
①はい
②いいえ

- ・《迷惑電話》全件消去確認へ進みます。

3 **ア** 1 を押す

《迷惑電話》 全件消去しました

- ・登録されている《迷惑電話》を全件消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作1～3はメニュー特番913*として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

外線通話を録音することができます。通話メモを使用するには工事設定が必要です。(WS、DC電話機は不可)
 最大99件、1件あたりの録音時間は、最大録音時間内で制限なしです。最大録音時間は20～80分です。
 (録音増設ユニットの有無および工事設定によります。)

〈録音のしかた〉

1 外線通話中に 通話メモ を押す

外線通話中 01:	1:00
通話メモ録音中	<input type="checkbox"/> 確定 で停止

- ・通話メモ録音を行います。
 外線 1 ランプ：緑点灯
 通話メモ ランプ：赤点滅

外線通話中 01:	1:15
--------------	------

- ・録音中に 確定 を押すと、通話メモ録音を停止します。
 通話メモ ランプ：消灯
 メモ再生 ランプ：赤点滅
 着信ランプ：青点滅

外線通話中 01:	1:30
通話メモ録音中	<input type="checkbox"/> 確定 で停止

- ・再度、 通話メモ を押すと、通話メモ録音を再開します。
 通話メモ ランプ：赤点滅

2 (終話)

通話終了	1:45
------	------

- 外線 1 ランプ：消灯
 通話メモ ランプ：消灯

1 1 月 午前	5 日 (金) 9:00	内線 12 メモ 2 件
-------------	-----------------	-----------------

MEMO

通話メモ (特殊番号26) は、電話機の オート に登録できます。(222ページ参照)

付属のステッカ「通話メモ」シールを貼ると便利です。

最大件数を超えたとき、または最大録音時間を超えたときは、「これ以上録音できません」が表示され、以降通話メモができなくなります。

《再生のしかた》

1 (待機状態)

内線 10
1 2 月 1 5 日 (水)
午前 1 0 : 0 0
メモ
※3 件

○メモ再生 ランプ：赤点滅
着信ランプ：青点滅

2 ○メモ再生 を押す

通話メモ再生 1 件
1 1 月 5 日 (金)
午前 9 : 0 0
メモ
※3 件

- ・再生開始音鳴動
- ・通話メモ 1 再生開始
- ・通話メモの録音された日時が表示されます。

○メモ再生 メモ再生ランプ：赤点灯
○スピーカ ランプ：赤点灯

3 再生が終わると続けて次のメモを連続再生する

通話メモ再生 3 件
1 1 月 5 日 (金)
午前 9 : 2 0
メモ
※3 件

- ・通話メモ 3 再生開始
- ・全てのメモが再生されると、再生終了音が鳴動し、カレンダー・時計表示に戻ります。

○メモ再生 ランプ：消灯
○スピーカ ランプ：消灯
着信ランプ：消灯

MEMO

○メモ再生 (特殊番号 27) は、電話機の ○オート に登録できます。(222ページ参照)

付属のステッカ「メモ再生」シールを貼ると便利です。

用件再生中に、○用件再生 を押すと、再生が停止され今の用件を初めから再生します。

用件再生中に、○スキップ を押すと、再生が停止され次の用件を再生します。

用件再生中に、○レビュー を押すと、再生が停止され 1 つ前の用件を再生します。

《個別消去のしかた》

1 通話メモ再生中

通話メモ再生 1件
12月20日(月)
午前10:40
メモ

○通話メモ ランプ：赤点灯

○メモ再生 ランプ：赤点灯

○スピーカ ランプ：赤点灯

2 ○消去を押す

通話メモ個別消去
消去しますか？

確定で消去

3 確定を押す

通話メモ個別消去
消去しました

4 次のメモがある場合は次のメモを再生する

通話メモ再生 2件
12月20日(月)
午前10:40
メモ

MEMO

○消去(特殊番号22)は、電話機の○オートに登録できます。(222ページ参照)
付属のステッカ「消去」シールを貼ると便利です。

留守番用件および通話メモの一括消去ができます。
留守番用件一括消去は留守番指定電話機より操作します。

《留守番用件の一括消去のしかた》

1 **確定** **ナ 5** **サ 3** **ア 1** を押す

・《留守番用件の一括消去》確認へ進みます。

《留守番用件の一括消去》
消去しますか？
①はい
②いいえ

2 **ア 1** を押す

・留守番用件を一括消去し、《用件の一括消去》選択へ戻ります。
・消去する用件が多いときは、「消去中です」も表示します。

《留守番用件の一括消去》
消去しました

MEMO

操作 1、2 はメニュー特番 5 3 1 として、電話機の **オート** に登録できます。（221ページ参照）
工事設定で「用件自動消去あり」の場合、すべての用件を再生したとき、次の留守番セット時に自動消去されます。未再生の用件がある場合は、自動消去されません。

《通話メモの一括消去のしかた》

1 **確定** **ナ 5** **サ 3** **カ 2** を押す

・《通話メモの一括消去》確認へ進みます。

《通話メモの一括消去》
消去しますか？
①はい
②いいえ

2 **ア 1** を押す

・通話メモを一括消去し、《用件の一括消去》へ戻ります。
・消去する用件が多いときは、「消去中です」も表示します。

《通話メモの一括消去》
消去しました

MEMO

操作 1、2 は、メニュー特番 5 3 2 として、電話機の **オート** に登録できます。（221ページ参照）

リモコン操作を行うために必要な暗証番号を登録します。

《登録のしかた》

1 確定 を押す

《留守番リモコン用暗証番号》
■ - - -
4桁の数字を入力してください

- ・登録されている場合は「* * * *」を表示します。
- ・登録されていない場合は「- - - -」を表示します。


2 暗証番号入力

《留守番リモコン用暗証番号》
* * * * ■
4桁の数字を入力してください

- ・0000～9999を入力します。
- ・4桁入力されると自動で登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・必ず4桁入力してください。

《留守番リモコン用暗証番号》
設定しました

MEMO

操作1は、メニュー特番57、
操作1、2は、メニュー特番57XXXX (XXXX:0000～9999 (暗証番号))
として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)
暗証番号の確認はできません。
暗証番号が未登録のときは、リモコン機能が利用できません。
サブアドレスから直接リモコン操作ができます。

留守番1:サブアドレス   留守番3:サブアドレス  

留守番2:サブアドレス   (Proのみ) 留守番4:サブアドレス  

《消去のしかた》

1 確定 と押す

《留守番リモコン用暗証番号》
* * * *
4桁の数字を入力してください

- ・暗証番号が登録されていると「* * * *」と表示されます。

2 を押す

《留守番リモコン用暗証番号》
- - - -
4桁の数字を入力してください

- ・登録されている暗証番号が仮消去されます。

3 確定 を押す

《留守番リモコン用暗証番号》
解除しました

- ・登録されている暗証番号が解除されます。

外出先からリモコン操作をする

外出先で、プッシュ信号が送出できる電話機から、リモコン操作で用件を聞いたり、応答録音メッセージなどの変更ができます。

〈リモコン操作のしかた〉

1 外出先の電話機からシステムへ電話をかける

2 システムが自動応答する

- ・留守番セット中でのお買い上げ時の留守番応答時間は9秒です。
(留守番応答時間は任意に変更することができます。140ページを参照してください。)
- ・留守番セットされていないときは、45秒で自動応答します。
(工事設定により応答時間を変更することができます。)
この後は、操作5から操作してください。

3 応答メッセージが聞こえる

- ・操作4は応答メッセージ送出中に操作してください。

4 * を押す

- ・応答メッセージが停止します

5 暗証番号(4桁)を押す

- ・応答メッセージ停止後、5秒以内に暗証番号を押し始めてください。
- ・暗証番号を押す間隔は、5秒以内で行います。

6 受付音「ピッピッ」が聞こえる

7 操作するリモコン番号を押す

- ・詳細は168ページを参照してください。

8 * 0 (終了) を押す

MEMO

操作4で * 押下後、5秒以上経過するとしばらく無音が続いたあとに応答メッセージが聞こえ用件録音状態になります。

応答専用(お知らせ)にセットされているときは、5秒経過すると応答専用メッセージが聞こえます。
(リモコン操作ができません。)

受付音が聞こえてから、20秒以内にリモコン番号を押さないと、自動的に電話が切れます。

暗証番号を間違えると、受付音は鳴りません。再度、正しい暗証番号を入力してください。

暗証番号の入力は、3回まで受け付けます。それ以上、間違えると自動的に電話が切れます。

デジタル回線で外出先からリモコン操作をしたいときは、本システムの電話番号にサブアドレス「9 X」
(X: 1~4)を付加して電話をかけると、すぐに留守番X(X: 1~4)指定電話機が自動応答します。
(工事設定が必要)その後、上記操作5~8を行います。

リモコン操作一覧

機能項目		リモコン番号	動作内容	
レビュー		✳ 1	1つ前の用件を再生	
用件再生		✳ 2	録音された用件を再生	
キュー (スキップ)		✳ 3	1つ後の用件を再生	
応答録音メッセージ	モード1	再生	✳ 4 1	応答録音メッセージ(モード1)の再生
		録音(変更)	✳ 5 1	応答録音メッセージ(モード1)録音(変更)
	モード2	再生	✳ 4 2	応答録音メッセージ(モード2)の再生
		録音(変更)	✳ 5 2	応答録音メッセージ(モード2)録音(変更)
	モード3	再生	✳ 4 3	応答録音メッセージ(モード3)の再生
		録音(変更)	✳ 5 3	応答録音メッセージ(モード3)録音(変更)
応答専用メッセージ	モード1	再生	✳ 4 4	応答専用メッセージ(モード1)の再生
		録音(変更)	✳ 5 4	応答専用メッセージ(モード1)録音(変更)
	モード2	再生	✳ 4 5	応答専用メッセージ(モード2)の再生
		録音(変更)	✳ 5 5	応答専用メッセージ(モード2)録音(変更)
	モード3	再生	✳ 4 6	応答専用メッセージ(モード3)の再生
		録音(変更)	✳ 5 6	応答専用メッセージ(モード3)録音(変更)
追っかけ転送の転送先電話番号の登録(変更)		✳ 6 ↓ 転送先電話番号 (最大24桁) ↓ ✳ ✳	追っかけ転送の転送先電話番号の登録(変更)	
留守番セット	応答録音	✳ 8 1	応答録音(モード1)のセット	
		✳ 8 2	応答録音(モード2)のセット	
		✳ 8 3	応答録音(モード3)のセット	
	応答専用	✳ 8 4	応答専用(モード1)のセット	
		✳ 8 5	応答専用(モード2)のセット	
		✳ 8 6	応答専用(モード3)のセット	
	追っかけ転送	✳ 8 7	追っかけ転送留守番(モード1)のセット	
		✳ 8 8	追っかけ転送留守番(モード2)のセット	
		✳ 8 9	追っかけ転送留守番(モード3)のセット	
留守番セットの解除		✳ 8 0	留守番セットの解除	
用件オールクリア		✳ 9 1	すべての用件を消去	
終了		✳ 0	リモコン操作の終了	

MEMO

各種メッセージの録音時に ✳ を押すと、録音を停止します。
 操作できないリモコン番号を押すとエラー音「プププ」が聞こえます。
 リモコン操作を間違えたとき、✳ ✳ (訂正) を押してから、正しいリモコン番号を押して下さい。

○オート に電話番号または短縮番号を登録することでワンタッチで発信できます。
名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。

《登録のしかた》




1 確定 を押す

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ
オート02:機能特番
オート03:登録なし

- ・《オートダイヤル》へ進みます。
- ・オート01～オート03を表示します。
- ・初期設定は、「登録なし」です。

2 オートNo. を選択する

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ
オート02:機能特番
オート03:登録なし

- ・  にてオートNo.を選択します。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択します。

3 確定 を押す

オート03:登録なし
1 登録
2 消去

- ・選択されたオートNo.の設定へ進みます。

4 | を押す

《オート03》
1 登録種別
2 番号
3 名前

- ・選択されたオートNo.の登録へ進みます。

5 ア 1 を押す

《オート03 - 登録種別》
1 電話番号
2 内線番号 / 内線特番
3 機能特番

- ・ 選択されたオートNo.の登録種別へ進みます。

6 ア 1 を押す

《オート03》
1 登録種別 電話番号
2 番号
3 名前

- ・ 登録種別が電話番号に仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

7 カ ABC 2 を押す

《オート03 - 番号》
桁数：最大 2 4 桁
短縮 特殊コード

- ・ 選択されたオートNo.の番号（この場合は電話番号）登録へ進みます。

8 電話番号を入力する

《オート03 - 番号》
03-3493-5111
桁数：最大 2 4 桁
短縮 特殊コード

- ・ 電話番号を登録します。
- ・ 電話番号は、最大 2 4 桁まで入力できます。
- ・ **短縮** を押すと、特殊コードを入力できます。
- ・ **短縮** を押すごとに、ポーズ：「P」 切断コード：「E」
ハイフン：「-」 ネスティング：「[]」を繰り返します。
- ・ 入力した番号を間違えた場合には、**フラッシュ** を押して、消去します

9 確定 を押す

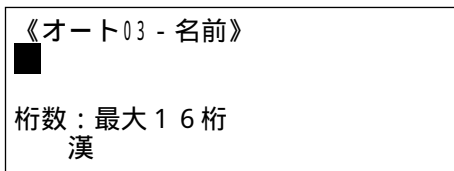
《オート03》
2 番号 03-3493-5111
3 名前
登録

- ・ 電話番号が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

MEMO

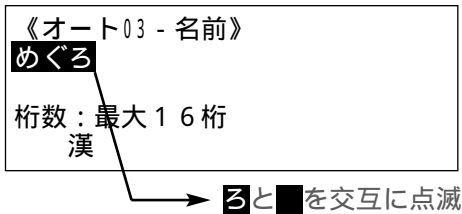
ポーズ（P表示）は、お買い上げ時、待ち時間は約 3 秒です。
 電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
 （登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）


10 を押す




- ・ 選択されたオートNo.の名前登録へ進みます。

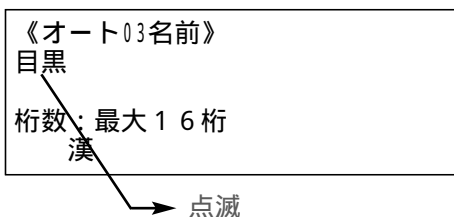
11 名前を入力する







- ・ 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、全角で最大16字)
- ・  で文字入力モードを変更します。
かな(漢) カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- ・ 表示例：「めぐる」
- ・ 入力できる文字は、下記の表のとおりです。

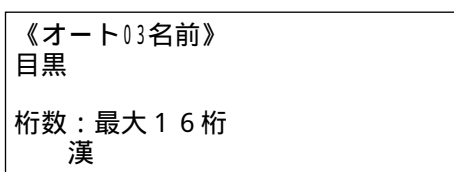
ダイヤルボタン	かな(漢)	カナ(カナ)	英字(英)	数字(数)
	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース(空)	1
	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
	たちつてと	タチツテト	G H I g h i	4
	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	T U V t u v	8
	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
	わをん ゝ ー ・ ! ? 、 。	ワヲン ゝ ー ・ ! ? 、 。	@ . ~ / : _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
	一文字消去			
	カーソル左右移動			

12 を押す



- ・ 文字を入力していないときに、「かな」モードで  を押すと、スペース(空)が入力できます。
- ・ 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
表示例：「めぐる」を変換して「目黒」を表示します。
- ・  にて変換する文字数を変更できます
- ・ 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、再度  を押ししてください
- ・ 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、 を押したあとにかな文字で変換文字を変更して変換してください。
- ・ 変換候補が決定されず。

13 を押す



14 確定 を押す

《オート03》
③名前 目黒
#登録
保留 戻る

- ・名前が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。
- ・表示例：「目黒」

15 井 を押す

《オート03》
登録しました

- ・選択されたオートNo.の登録内容を確認してください。
- ・選択されたオートNo.を本登録し、操作1の《オートダイヤル》一覧に戻ります。

MEMO

操作1はメニュー特番6として、電話機の○オートに登録できます。(221ページ参照)

《かけかた》

1 発信 を押す

外線発信
03:

- ・空き外線を自動で捕捉します。
- ・表示例：外線3を捕捉
○スピーカ ランプ：赤点灯
 老番の未使用 ○外線 ランプ：緑点灯

2 ○オート を押す

外線発信
0334935111
目黒サクサ

- ・登録された電話番号へ自動発信します。
- ・表示例：目黒サクサへ発信

MEMO

工事設定により、受話器をおいたままで ○オート を押すと発信できるようにすることもできます。

《確認のしかた》




1 確定 を押す

《オートダイヤル》
 オート01:目黒A
 オート02:機能特番
 オート03:目黒サクサ本社

- ・《オートダイヤル》へ進みます。
- ・オート01～03を表示します。


2 オートNo. を選択する

《オートダイヤル》
 オート01:目黒A
 オート02:機能特番
 オート03:目黒サクサ本社

- ・  にてオートNo. を選択します。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択します。

3 短縮 を押す

オート03:電話番号
 03-3493-5111
 目黒サクサ本社

- ・選択されたオートNo.の登録内容を上から順に「登録種別」、「番号」、「名前」と表示します。
- ・再度  を押すと《オートダイヤル》に戻ります。

《変更のしかた》

変更のしかたは登録のしかたと同じです。(169ページ参照)

MEMO

操作1は、メニュー特番6として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた》



1 を押す

《オートダイヤル》
オート01:目黒A
オート02:機能特番
オート03:目黒サクサ本社

- ・《オートダイヤル》一覧表示へ進みます。
- ・オート01～オート03を表示します。

2 オートNo. を選択する

《オートダイヤル》
オート01:目黒A
オート02:機能特番
オート03:目黒サクサ本社

- ・にてオートNo. を選択します。
- ・表示例：を2回押してオート03を選択します。

3 を押す

オート03:目黒サクサ本社
03-3493-5111
1登録
2消去

- ・選択されたオートNo.の設定へ進みます。

4 を押す

《オート03》
消去しますか？
1はい
2いいえ

- ・選択されたオートNo.の消去確認へ進みます。

5 を押す

《オート03》
消去しました

- ・選択されたオートNo.の登録内容が消去され、「登録なし」となり、《オートダイヤル》に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番6として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

外線、内線通話中にこちらの音声相手に聞こえず、相手の音声のみが聞こえるようになります。
送話ミュート状態で通話を終了すると自動的に解除されます。

《送話ミュートの設定のしかた》

1 外線・内線通話中

2 機能 を押す

 ランプ：赤点灯





3 を押す

外線通話中	1 : 0 2
送話ミュート ON	

- ・送話ミュートがセットされます。
- ・表示例：送話ミュート設定
- ・表示は5秒後に消えます。
- ・同じ操作を繰り返すと「送話ミュート」が解除されます。

 ランプ：消灯

MEMO

操作2、3は、機能特番2として、電話機の  に登録できます。(220ページ参照)
登録後は、外線・内線通話中に  を押します。
この場合、 を押すごとに、「セット」「解除」を繰り返します。
未使用状態()からの「送話ミュート」の設定方法は次の操作を行います。

 機能  (5秒以内) 

短縮ダイヤルに、いくつかの短縮ダイヤルを組み合わせで登録しておく、1回の短縮ダイヤル発信操作で長い電話番号へかけることで通話ができます。1つの短縮番号には最大5つの短縮番号を登録できます。

《登録のしかた》

1 電話帳登録の《登録のしかた》 の操作1～5を行う (73ページ参照)

2 **短縮** (4回) を押す

《電話帳登録 - 電話番号》

[
桁数：最大24桁
短縮] 特殊コード

- ・ **短縮** を押すたびにP (ポーズ) E (切断コード) (ハイフン) [(ネスティングコード) 表示を繰り返します。
- ・ 表示例： [(ネスティングコード)

3 短縮番号を入力する

《電話帳登録 - 電話番号》

[001]
桁数：最大24桁
短縮] 特殊コード

- ・ ネスティングさせたい短縮番号を押します。
- ・ 短縮番号を2つ以上ネスティングさせる場合は、操作2、3を繰り返します。
- ・ 表示例：短縮001をネスティング

4 電話帳登録の《登録のしかた》 の操作7～19を行う (74ページ参照)

MEMO

短縮Aに短縮A (ネスティングさせたい短縮番号) を登録することはできません。
名前を登録すると、電話をかけたとき名前が表示されます。

《消去のしかた》

「電話帳の消去のしかた」を参照してください。(79ページ)

《確認のしかた》

確認のしかたは、「電話帳検索」により短縮番号を選択して行います。

- ・「電話帳カナ検索発信」の場合(83ページ参照)
- ・「電話帳グループ検索発信」の場合(86ページ参照)
- ・「電話帳一覧」の場合(87ページ参照)

《変更のしかた》

変更のしかたは、「電話帳カナ検索」(83ページ)「電話帳グループ検索」(86ページ)「電話帳一覧より検索」(87ページ)を行い、《電話帳登録》へ進んだあと、「電話帳の新規登録のしかた」(73ページ)の変更する各項目の画面へ進んでください。

「短縮番号」 操作2(73ページ)

「グループ」 操作3、4(73ページ)

「電話番号」 操作5～7(74ページ)

「名前」 操作8～12(74、75ページ)

「カナ」 操作13～15(75、76ページ)

「着信音」 操作16～18(76ページ)

変更が終わりましたら必ず、操作19の本登録(76ページ)を行ってください。

外線発信時、ダイヤル操作で使用したい外線番号を指定して捕捉することができます。
特に該当する(○外線)のない電話機で外線をつかむときに便利です。

1


内線発信
1 0 [■]


- ・受話器を上げます。
- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

2 を押す

内線発信
1 0 [9 6 3]

3 外線番号を押す

外線発信
0 1 :
発信者番号 : 通知  で変更

- ・ダイヤルボタンにて使用したい外線番号を2桁で押します。
- ・表示例： を押して、外線01を捕捉します。
(○外線) ランプ：緑点灯

4 電話番号を押す

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

- ・電話番号を押します。

MEMO

操作2, 3は、内線特番963X(X:01~20)として、電話機の(○オート)に登録できます。(219ページ参照)
内線特番の一覧表は548ページ参照してください。
登録後は、(○オート)を押すだけで、外線をつかめます。

自動応答できない外線着信に応答する (コールピックアップ)

着信応答できない設定の電話機でも、コールピックアップの番号をダイヤルすると着信の外線に応答できます。

1 外線着信中

○外線ランプ：赤点滅

2

内線発信
10 [■]

- ・受話器を上げます。
- ・内線発信音：「プッププッ・・・」が聞こえます。

3 内線特番を押す

内線発信
10 [960]

- ・

ラ	9	ハ	6	ハ	6
WXYZ		MNO		MNO	

 : 自テナント
- ・

ラ	9	ハ	6	ラ	0
WXYZ		MNO			

 : 他テナント
- ・ 表示例：他テナント

4 外線相手と通話する

外線通話中
パーク0：

MEMO

操作3は、内線特番96X (X: 6 (自テナント)、0 (他テナント))
として、電話機の に登録できます。(219ページ参照)

他テナント外線をコールピックアップ(内線特番)で応答した後、保留し、再応答する場合は、登録してある緑点滅中の ○パーク X (X: パーク保留番号0~9) 押下で応答します。

○パーク X (X: パーク保留番号0~9) は、特殊番号50~59として、電話機の ○オート に登録できます。(222ページ参照)

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機に割り込むことができます。

他の電話機が外線通話中

外線 ランプ：赤点灯

1

内線発信
10 [■]

- ・他の電話機で外線通話が行われているときに、受話器を上げます。
- ・内線発信音：「プッププッ・・・」が聞こえます。

2 機能 を押す

機能 ランプ：赤点灯

3 会議 を押す

外線通話割込
割込 [■]

- ・会議 を押すと、外線 入力待ちになります。
- ・機能 ランプ：赤点滅

4 外線 を押す

会議通話中 1 : 13
[11] L 1

- ・割り込む 外線 を押すと、他の電話機が通話中の外線に割り込めます。
- ・表示例：内線 11 の通話中の外線 1 に割り込み
 - 外線 ランプ：緑点灯
 - 会議 ランプ：赤点灯
 - 機能 ランプ：消灯

MEMO

会議(特殊番号42)は電話機のオート に登録できます。(222ページ参照)

特殊番号の一覧表は555ページを参照します。

該当する外線 のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みができます。

① スピーカ 機能 会議 * ダイヤルボタンで割り込む外線を2桁で押す 機能を
押す。

② スピーカ 機能 会議 ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号(2桁の場合、10~89または3桁の場合、100~899)のいずれかを押す 機能を押す。

他の外線通話に受話だけで割り込む (送話ミュート付き外線通話割込)

工事設定により「割り込み可能」に設定した電話機は、外線通話を行っている他の電話機にこちらの声が相手に聞こえないように割り込むことができます。

他の電話機が外線通話中

外線 ランプ：赤点灯

1

内線発信
10 [■]

- ・他の電話機で外線通話が行われているときに、受話器を上げます。
- ・内線発信音：「プッププッ・・・」が聞こえます。

2 9 8 6 を押す

外線通話割込
割込 [■] 送話ミュート

- ・ 9 8 6 を押すと、 外線 入力待ちになります。
 機能 ランプ：赤点滅


3 外線 を押す

会議通話中 1 : 13
[11] L 1 送話ミュート

- ・割り込む 外線、他の電話機が通話中の外線に割り込めます。
- ・表示例：内線 11 の通話中の外線 1 に割り込み
 外線 ランプ：緑点灯
 会議 ランプ：赤点灯
 機能 ランプ：消灯

MEMO

操作 2 は、内線特番 9 8 6 として、電話機の オート に登録できます。(219ページ参照)
登録後は次のような操作になります。
内線特番の一覧表は548ページを参照します。

 オート 外線 割り込みたい 外線 を押す。

該当する 外線 のない電話機は、次の操作でも外線通話割り込みができます。

- ① スピーカ 機能 会議 * ダイヤルボタンで割り込む外線を2桁で押す 機能 を押す。
- ② スピーカ 機能 会議 ダイヤルボタンで割り込む外線を使用している内線番号(2桁の場合、10~89または3桁の場合、100~899)のいずれかを押す 機能 を押す。

ダイヤル、短縮ダイヤル操作を連続してダイヤルすることができます。

<例>ダイヤル操作後、短縮番号を続けてダイヤルする

1 ダイヤル番号 ~ を押す

外線発信
1 8 4

・表示例：1 8 4 をダイヤル

2 を押す

外線発信
1 8 4 [

・表示例：短縮番号入力待ち

3 短縮番号を押す

外線発信
1 8 4 [0 0 0]

・表示例：短縮番号 [0 0 0]

4 (または) を押す

ランプ：緑点灯

ランプ：赤点灯

MEMO

短縮ダイヤルを に登録することで、 でもチェーンダイヤルを利用することができます。
・ に短縮ダイヤルを登録する。(216ページ参照)

携帯電話対応ACR機能

携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。
本機能を利用するには、別途事業者へのサービス申し込みと工事設定が必要です。

《かけかた》

1 携帯の電話番号を押す

外線発信
0 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。
- ・表示例：09012345678

2 発信 を押す

外線発信
0 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
携帯ACR アクセス

- ・携帯電話へ発信します。
- 外線 ランプ：緑点灯
- スピーカ ランプ：赤点灯

《NTT回線を利用して外線をかけるとき》

NTT回線を利用する場合には、0000（NTT強制接続コード）を付けてダイヤルしてください。

1 0 (4回) を押す

外線発信
0 0 0 0

- ・ 0 4回は、「NTT強制接続コード」です。

2 電話番号を押す

外線発信
0 0 0 0 0 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると、下16桁を表示します。

3 発信 を押す

外線発信
0 0 0 0 0 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8

- ・NTT電話回線を選択して、発信します。
- 外線 ランプ：緑点灯
- スピーカ ランプ：赤点灯

アナログ回線でキャッチホンサービスなどを受けるときや、相手の番号を押し間違えてかけ直すときなどに便利です。

《キャッチホンサービスを受ける》

1 外線通話中

- ・通話中にキャッチホン信号「プルルプッブッ・・・」が聞こえたら

○外線ランプ：緑点灯

2 フラッシュを押す

- ・最初の相手が保留され、着信の相手と通話します。
- ・フラッシュを押すたびに、通話相手が切り替わります。

キャッチホンサービス

- ・キャッチホンサービスとはお話中に他から電話がかかってきたときに、通話相手を切り替えることができるNTTのサービスです。
- ・現在は、従来のキャッチホンとコールウェイティングを総称してキャッチホンと呼びます。
- ・キャッチホンサービスのご依頼は、最寄のNTT窓口にお問い合わせください。
- ・デジタル回線でキャッチホンサービスを受けることはできません。

《続けて電話をかける》

1 外線通話中

- ・受話器を上げたまま

○外線ランプ：緑点灯

2 フラッシュを押す

- ・フラッシュを押すと、通話中の外線を開放し、再度捕捉し直します。

MEMO

キャッチホンサービスを受けていないときや、キャッチホン信号が聞こえないときにフラッシュを押すと、通話が切れることがあります。

使用しない外線（PBX内線除く）を一時的に話中状態（発信、着信ともに不可）にできます。

《設定のしかた》

1 機能 を押す

機能 ランプ：赤点灯

2 を押す

・《外線話中設定》へ進みます。

機能 ランプ：赤点滅

《外線話中設定》
外線番号：■

3 外線番号（または 外線）を押す

《外線話中設定》
外線番号：0 1 閉塞

- ・話中設定されます。
- ・外線番号を2桁で押します。
- ・複数の外線を設定する場合は、連続で押します。
- ・表示例：外線1

外線 ランプ：赤点灯

4 機能 を押す

機能 ランプ：消灯

《解除のしかた》

1 機能 を押す

外線話中状態の 外線 ランプ：赤点灯

機能 ランプ：赤点灯

2 を押す

・《外線話中設定》へ進みます。

機能 ランプ：赤点滅

《外線話中設定》
外線番号：■

3 外線番号（または 外線）を押す

《外線話中設定》
外線番号：0 1 許可

- ・話中設定が解除されます。
- ・外線番号を2桁で押します。
- ・複数の外線を解除する場合は、連続で押します。
- ・表示例：外線1

外線 ランプ：消灯

4 機能 を押す

機能 ランプ：消灯

MEMO



設定のしかた、および解除のしかたの操作1～4は、機能特番84XX（XX：01～20）として電話機の オート に登録できます。（220ページ参照）

擬似コールウェイティング

通話中に他の着信があったとき、通話中の外線を保留して、着信に応答することが出来ます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えることも出来ます。本機能を使用するには工事設定が必要です。


1 外線通話中に着信

外線通話中 0 : 3 4
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

- ・外線通話中に着信が入ると、 (外線着信音)
- ・表示例：外線 1 と通話中に同じ外線 1 に着信
 外線 1 ランプ：緑点滅


2 を押す

外線通話中 0 : 0 0
0 1 : 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9


- ・入ってきた着信相手と通話ができます。
- ・話していた相手は保留されます。
- ・外線着信音停止
 外線 1 ランプ：緑点灯

3 を押す

外線通話中 0 : 4 5
0 1 : 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

- ・再度  を押すと、以前に話していた相手と通話ができます。
- ・今話していた相手は保留されます。

MEMO

保留されている相手が終話した後に  を押すと、通話が切れます

内線番号（または内線特番）や特殊番号を未使用の〇オートに登録しておく、ワンタッチで内線呼出などができます。

TD510は18件（オート01～オート18）、TD520は30件（オート01～オート30）、LD500は10件（オート01～オート10）登録できます。

〈登録のしかた〉




1 確定 を押す

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ本社
オート02:機能特番
オート03:登録なし

- ・《オートダイヤル》へ進みます。
- ・オート01～オート03を表示します。
- ・初期設定は、「登録なし」です。

2 オートNo. を選択する

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ本社
オート02:機能特番
オート03:登録なし

- ・  にて、オートNo.を選択します。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択します。

3 確定 を押す

オート03:未登録
1 登録
2 消去

- ・選択されたオートNo.の設定へ進みます。

4 を押す

《オート03》
1 登録種別
2 番号
3 名前

- ・選択されたオートNo.の登録へ進みます。

5 を押す

《オート03-登録種別》
1 電話番号
2 内線番号 / 内線特番
3 機能特番

- ・選択されたオートNo.の登録種別へ進みます。

6 を押す

《オート03》
1 登録種別 内線番号 / 内線特番
2 番号
3 名前

- ・選択されたオートNo.の登録種別が「内線番号 / 内線特番」に仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

7 カ ABC 2を押す

《オート03-番号》
■
 桁数：最大16桁

- ・ 選択されたオートNo.の番号登録へ進みます。

8 内線番号 / 内線特番を入力する。

《オート03-番号》
 10■
 桁数：最大16桁

- ・ 内線番号 / 内線特番を入力します。
- ・ 内線番号 / 内線特番は、最大16桁です。
- ・ 内線特番を入力する場合、内線特番一覧表（548ページ）を参照してください。
- ・ 表示例：内線番号「10」

9 確定を押す

《オート03》
2番号 10
3名前
#登録

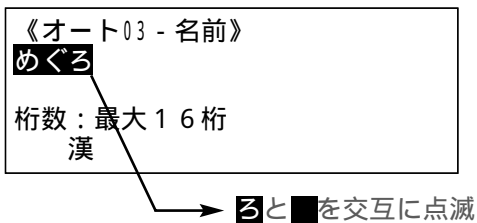
- ・ 選択されたオートNo.の内線番号 / 内線特番が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

10 サ DEF 3を押す

《オート03-名前》
■
 桁数：最大16桁
 漢

- ・ 選択されたオートNo.の名前登録へ進みます。

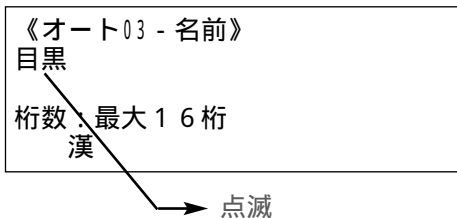
11 名前を入力する



- 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、全角で最大16字)
- 短縮で文字入力モードを変更します。
かな(漢) カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- 表示例：「めぐろ」
- 入力できる文字は、次の表のとおりです。
(かな文字や漢字も入力できます。)

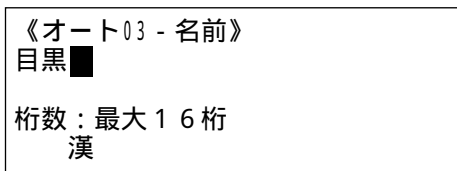
ダイヤルボタン	かな(漢)	カナ(カナ)	英字(英)	数字(数)
1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース(空き)	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてと	タチツテト	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよ	ヤユヨ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをん ゝー。 !?,。	ワワン ゝー。 !?,。	@ . ~ / : _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
フラッシュ	一文字消去			
左右移動	カーソル左右移動			

12 を押す

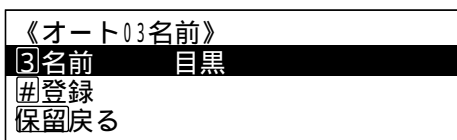


- 文字を入力していないときに、「かな」モードで # を押すと、スペース(空き)が入力できます。
- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- 表示例に「めぐろ」を変換して「目黒」を表示します。
- にて変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、 を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、フラッシュを押したあとにかな文字で変換文字を変更して確認ください。
- 変換候補が決定されます。

13 (確定) を押す



14 (確定) を押す



- 名前が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。
- 表示例：名前「目黒」

15 井を押す

- ・選択されたオートNo.が本登録され、《オートダイヤル》に戻ります。

《オート03》
登録しました

MEMO

操作1はメニュー特番6として、電話機の()オートに登録できます。(221ページ参照)

《かけかた》

1 ()オートを押す

- ・表示例：内線10が内線12を呼び出す。

内線発信
10 [12]




《確認のしかた》

1 確定 6を押す

- ・《オートダイヤル》へ進みます。
- ・オート01～03を表示します。
- ・初期設定は、「登録なし」です。


《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ本社
オート02:機能特番
オート03:目黒

2 オートNo.を選択する

- ・  にてオートNo.を選択します。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択します。

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ本社
オート02:機能特番
オート03:目黒

3 短縮を押す

- ・選択されたオートNo.の登録内容を「オートNo.」、「登録種別」、「番号」、「名前」の順に表示します。
- ・再度  を押すと《オートダイヤル》の一覧表示に戻ります。

オート03:内線番号/内線特番
10
目黒

《変更のしかた》

変更のしかたは、《登録のしかた》と同じです。(187ページ参照)

MEMO

操作1は、メニュー特番6として、電話機の()オートに登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた》

1 確定 ハ MNO **6** と押す

《オートダイヤル》
 オート01:目黒サクサ本社
 オート02:機能特番
 オート03:目黒

- ・《オートダイヤル》へ進みます。
- ・オート01～03を表示します。
- ・初期設定は、「登録なし」です。

2 オートNo.を選択する

《オートダイヤル》
 オート01:目黒サクサ本社
 オート02:機能特番
 オート03:目黒

- ・ にて、オートNo.を選択する。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択する。

3 確定 を押す

オート03:目黒
 10
 1登録
 2消去

- ・選択されたオートNo.の設定へ進みます。

4 カ ABC **2** を押す

《オート03》
 消去しますか？
 1はい
 2いいえ

- ・選択されたオートNo.の消去確認へ進みます。

5 ア **1** を押す

《オート03》
 消去しました

- ・選択されたオートNo.の登録内容が消去され、「登録なし」となり、《オートダイヤル》一覧表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番6として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)

内線番号と名前を一覧表示できます。名前登録のしかたは194ページを参照してください。

《表示する》




1 確定 を押す

《内線一覧》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・《内線一覧》へ進みます。
- ・表示例：内線10～内線12を表示します。


2 内線No.を選択する

《内線一覧》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎


- ・   にて、内線No.を選択します。
- ・ 表示例： を押して、内線11を選択。

3 短縮 を押す

内線 11
目黒次郎
テナント 1

- ・ 選択した内線No.の詳細を上から順に「内線No.」、「名前」、「テナントNo.」と表示します。
- ・ 表示例：内線11
- ・ 再度  を押すと《内線一覧》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番3として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
 付属のステッカ「内線一覧」シールを貼ると便利です。

《呼び出しする》




1 **確定** **サ** **DEF** **3** を押す

《内線一覧》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・《内線一覧》へ進みます。
- ・表示例：内線10～内線12を表示します。

2 内線No.を選択する

《内線一覧》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・  にて、内線No.を選択します。
- ・表示例： を押して、内線11を選択。


3 **確定** を押す

内線 11
目黒次郎
1呼び出し
2名前登録

- ・内線No.を選択し、**確定**を押すと、選択された内線No.の設定へ進みます。
- ・表示例：内線11

4 **ア** **1** を押す

内線発信
10 [1 1]
目黒次郎

- ・選択された内線No.を呼び出します。
- ・表示例：内線10から内線11を呼び出し。
- ・自己呼出の場合は、呼び出ししないで「Error」を表示します。
- ・ **スピーカー** ランプ：赤点灯

MEMO

操作1は、メニュー特番3として、電話機の  **オート** に登録できます。(221ページ参照)

あらかじめ内線 / ドアホン番号に対応させて名前を漢字登録 (最大 10 文字) しておく、内線の発着信時、他の人が使用している外線ボタンを押下した時に登録されている内容が表示されます。電話機未使用時に名前が表示されません。

《登録のしかた (内線の場合)》




1 確定 3 を押す

《内線一覧》	
内線 10:	目黒太郎
内線 11:	目黒次郎
内線 12:	

- ・ 《内線一覧》へ進みます。
- ・ 表示例：内線10～内線12を表示します。


2 内線No.を選択する

《内線一覧》	
内線 10:	目黒太郎
内線 11:	目黒次郎
内線 12:	

- ・   にて、内線No.を選択します。
- ・ 表示例： を 2 回押して、内線12を選択します。

3 確定 を押す

内線 12	
①呼び出し	
②名前登録	

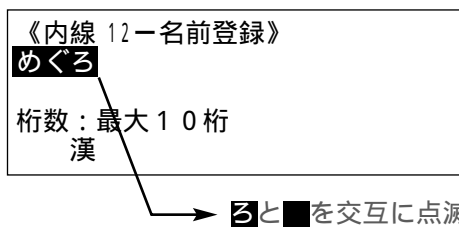
- ・ 内線No.を選択し、 を押すと、選択された内線No.の設定へ進みます。
- ・ 表示例：内線12

4 2 を押す

《内線 12 - 名前登録》	
■	
桁数：最大 10 桁	
漢	

- ・ 選択された内線No.の《名前登録》へ進みます。
- ・ 表示例：内線12

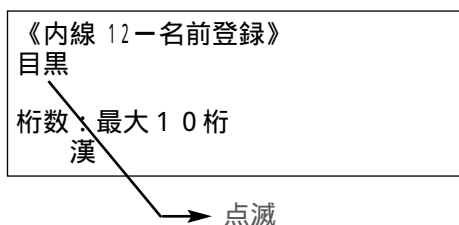
5 文字を入力する



- 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、全角で最大10文字)
- 短縮** で文字入力モードを変更します。
かな(漢) カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- 表示例：「めぐろ」
- 入力できる文字は、下記の表のとおりです。

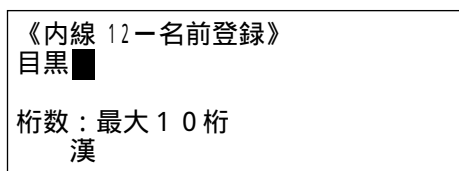
ダイヤルボタン	かな(漢)	カナ(カナ)	英字(英)	数字(数)
	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース(空き)	1
	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
	たちつとっ	タチツテトツ	G H I g h i	4
	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	T U V t u v	8
	らりるれる	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
	わをん ゝーゝ ! ?、。	ワヲン ゝーゝ ! ?、。	@ . ~ / : _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
	一文字消去			
	カーソル左右移動			

6 を押す

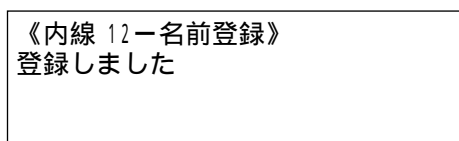


- 文字を入力していないときに、「かな」モードで **#** を押すと、スペース(空き)が入力できます。
- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
表示例：「めぐろ」を変換して「目黒」を表示します。
- にて変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、 を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、**フラッシュ** を押したあとにかな文字で変換文字を変更して確認ください。
- 変換候補が決定されます。

7 確定 を押す



8 確定 を押す



- 選択された内線No.の名前が登録され、《内線一覧》表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番3として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた（内線の場合）》




1 確定 3 を押す

《内線一覧》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・《内線一覧》へ進みます。
- ・表示例：内線10～内線12を表示します。

2 内線No.を選択する

《内線一覧》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・  にて、内線No.を選択します。
- ・表示例： を2回押して、内線12を選択。


3 を押す

内線 12
目黒三郎
1呼び出し
2名前登録



内線 12
目黒三郎
3名前消去
保留 戻る

- ・選択された内線No.の設定へ進みます。
- ・表示例：内線12

- ・表示例： を押すと、ページが切り替わり、**3** 名前消去を表示します。

4 3 を押す

《内線 12一名前消去》
消去しますか？
1はい
2いいえ

- ・選択された内線No.の名前消去確認へ進みます。
- ・表示例：内線12

5 1 を押す

《内線 12一名前消去》
消去しました

- ・選択された内線No.の名前が消去され、《内線一覧》へ戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番3として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

《登録のしかた（ドアホンの場合）》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **マ** 7 **を押す**

《ドアホン》
 ① ドアホン 1
 ② ドアホン 2
 ③ ドアホン 3

・《ドアホン》の一覧へ進みます。

2 **ア** 1 ~ **サ** 3 **のいずれかを押す**

《ドアホン 1》
 【登録なし】
 ① 名前登録
 ② 名前消去

・ドアホンを選択します。

① ドアホン 1、② ドアホン 2、③ ドアホン 3

・選択されたドアホンの設定へ進みます。

・表示例：ドアホン 1 選択します。

3 **ア** 1 **を押す**

《ドアホン 1 - 名前登録》
 ■
 桁数：最大 10 桁
 漢

・選択されたドアホンの名前登録へ進みます。

・表示例：ドアホン 1

4 **文字を入力する**

《ドアホン 1 - 名前登録》
 げんかん
 桁数：最大 10 桁
 漢

・文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。

（文字数は、全角で最大 10 文字）

・**短縮** で文字入力モードを変更します。

かな（漢） カナ（カナ） 英字（英） 数字（数）を繰り返します。

・表示例：「げんかん」

・入力できる文字は、《登録のしかた（内線の場合）》の表のとおりです。（195ページ参照）

んと■を交互に点滅

5 **○** **を押す**

《ドアホン 1 - 名前登録》
 玄関
 桁数：最大 10 桁
 漢

・文字を入力していないときに、「かな」モードで **#** を押すと、スペース（空き）が入力できます。

・「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。

・表示例：「げんかん」の候補「玄関」

・**○** で変換する文字数を変更できます。

・表示された候補の次の候補を表示させたいときは、**○** を押してください。

・変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、**フラッシュ** を押したあとにかな文字で変換文字を変更して確認ください。

点滅

6 **確定** **を押す**

《ドアホン 1 - 名前登録》
 玄関■
 桁数：最大 10 桁
 漢

・変換候補が決定されます。

7 確定 を押す

- ・名前を入力し、**確定**を押すと、選択されたドアホンの名前が登録され、《ドアホン》一覧表示に戻ります。

《ドアホン1－名前登録》
登録しました

MEMO

操作1はメニュー特番917

操作1、2はメニュー特番917X(X: **1**ドアホン1、**2**ドアホン2、**3**ドアホン3)

操作1～3はメニュー特番917X1(X: **1**ドアホン1、**2**ドアホン2、**3**ドアホン3)として、電話機の**オート**に登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた(ドアホンの場合)》

1 **確定** **ラ**9 **ア**1 **マ**7 と押す

- ・《ドアホン》の一覧へ進みます。

《ドアホン》

1 玄関
2 ドアホン2
3 ドアホン3

2 **ア**1 ~ **サ**3 のいずれかを押す

- ・ドアホンを選択します。
1ドアホン1、**2**ドアホン2、**3**ドアホン3
- ・選択されたドアホンの設定へ進みます。
- ・表示例：ドアホン1の玄関を選択します。

《ドアホン1》

【**玄関**】
1 名前登録
2 名前消去

3 **カ**2 を押す

- ・選択されたドアホンの名前消去確認へ進みます。
- ・表示例：ドアホン1

《ドアホン1－名前消去》
消去しますか？

1 はい
2 いいえ

4 **ア**1 を押す

- ・選択されたドアホンの名前が消去され、《ドアホン》一覧表示に戻ります。

《ドアホン1－名前消去》
消去しました

MEMO

操作1はメニュー特番917

操作1、2はメニュー特番917X(X: **1**ドアホン1 ~ **3**ドアホン3)

操作1～4はメニュー特番917X2(X: **1**ドアホン1 ~ **3**ドアホン3)として、電話機の**オート**に登録できます。(221ページ参照)

内線呼出ししている相手が話中または不応答のとき、別の内線番号をダイヤルすると、次の内線番号の電話機を呼び出します。



(例) 内線 10 の電話機から内線番号 11 を呼出したが、不応答のため、続けて内線 12 を呼び出す。

(内線 10 の電話機)

1 

内線発信
10 []

- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。
- ・表示例：内線10

2   を押す



内線発信
10 [1 1]

- ・内線リングバックトーン「プーッ」(音声呼出の場合)
- ・内線リングバックトーン「プルル、プルル、プルル・・・」(信号呼出の場合)
- ・表示例：内線10から内線11へ電話をする

(内線 11 不応答)

3   を押す

内線発信
10 [1 2]

- ・続けて   を押します。
- ・内線リングバックトーン「プーッ」(音声呼出の場合)
- ・内線リングバックトーン「プルル、プルル、プルル・・・」(信号呼出の場合)
- ・表示例：内線10から内線12へ電話をする

(内線 12 応答)

4 通話

内線通話中
10 = [1 2]

- ・表示例：内線10と内線12が通話中

呼び出されている他の内線の代わりに自内線で応答できます。

1 他の内線が呼び出されている

2

- ・内線発信音「ブップブッ・・・」が聞こえます。
- ・表示例：内線12

内線発信
1 2 []

3 を押す

4 通話する

- ・表示例：内線12と内線15が通話中

内線通話中
1 2 = [1 5]

MEMO

操作3は、内線特番9 6 1として、電話機の○オートに登録できます。(219ページ参照)
内線特番の一覧表は548ページを参照してください。
付属のステッカ「内線代理応答」シールを貼ると便利です。
自テナント内の内線のみときだけ内線代理応答できます。

話中の内線への内線着信を他の内線へ着信させる (スライド着信)

工事設定により代表番号を呼び出したとき、内線の代表番号が話中の場合は、工事設定で指定した電話機を呼び出します。

あらかじめ工事設定で内線のグループ編成をし、内線代表電話機の設定ができます。

1

内線発信
1 2 []

- ・内線発信音「プップッ・・・・」が聞こえます。
- ・表示例：内線 1 2

2 内線代表番号を押す

内線発信
1 2 [2 0]

- ・表示例：内線代表番号を内線 2 0 としたとき

3 相手話中

内線発信
1 2 [2 1] 転送

- ・かけた相手が話中だった場合には、内線グループ内の次の内線番号を呼び出します。
- ・表示例：内線 1 2 が内線 2 0 を呼び出したとき、内線 2 0 が通話中だったので内線 2 1 を呼び出します。

4 通話

内線通話中
1 2 = [2 1]

- ・相手が出たら通話します。

MEMO

内線代表番号は、電話機の **()オート** に登録できます。(219ページ参照)
内線特番の一覧表は、548ページ参照をしてください。

全ての内線を呼び出す

(一斉呼出 / 電話機グループ呼出)

電話機から未使用の電話機へ一斉またはグループ呼出をします。

グループ呼出を行う場合、電話機および構内放送ごとにグループA～Dのいずれかに工事設定します。
構内放送を呼出す場合は、ドア・ページングユニットが必要です。

応用編

内線の便利な機能

〈呼び出す側〉 表示例：内線12

1 を押す



















内線発信
1 2 []

 ランプ：赤点灯

・内線発信音「プップッ・・・・」が聞こえます。

2 内線特番(3桁)を押す

内線発信
一斉呼出

- ・    : 一斉呼出
- ・    : グループA呼出
- ・    : グループB呼出
- ・    : グループC呼出
- ・    : グループD呼出
- ・    : 未使用の全電話機と構内放送を同時に行う

(一斉呼出のとき)

3

・受話器をあげ、呼びかけます。

 ランプ：消灯

〈受ける側〉 表示例：内線15

1 呼出音が鳴る

内線着信
一斉呼出

・呼出音「プー」が鳴り相手の声が聞こえます。

2

内線発信音「プップッ・・・・」が聞こえます。

内線発信
1 5 []


3 を押す

4 通話する

・表示例：内線15と内線12が通話中

内線通話中
1 5 = [1 2]

MEMO

呼び出す側の操作および、受ける側の操作は、内線特番970～974、977、979として電話機の  に登録できます。(219ページ参照)

付属のステッカ「一斉呼出」、「呼出応答」シールを貼ると便利です。

工事設定により、グループ呼出をしたときに、各グループごとに外部スピーカから音声を出すように変更することもできます。

工事設定により、「音声呼」を「信号呼」に変更できます。

個別の着信中の一斉着信についての表示は、個別着信のままになります。

内線通話を保留にすることができます。

(例) 内線 10 と内線 11 が内線通話中に内線 10 が保留操作を行い、保留を解除して再応答する。

〈内線独占保留のしかた〉

(内線 10)

1 内線通話中

- ・内線 10 と内線 11 で通話中

内線通話中
10 = [11]

2 を押す

- ・内線 11 へ保留音が流れます。
- ・保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。

内線発信
10 []

ランプ：赤点滅

内線独占保留中

〈再応答のしかた〉

1

- ・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

内線発信
10 []

2 を押す

- ・内線 11 と再度通話ができます。

内線通話中
10 = [11]

ランプ：消灯

MEMO

内線独占保留操作後に受話器を置いて内線独占保留は切れません。

内線通話を保留にした電話機のみ、再通話の操作ができます。

電話機の に (特殊番号 42) を登録します。(222ページ参照)

付属のステッカ「会議」を貼ると便利です。

内線通話を保留して、他の子機で再応答する (内線システム保留)

内線通話を保留にしても、内線通話を保留にした電話機以外でも再通話ができます。

(例) 内線 1 0 と内線 1 1 が内線通話中に内線 1 0 が保留操作を行い、内線 1 2 が保留解除して内線 1 1 と再通話する。

《内線システム保留のしかた》

(内線 1 0)

1 内線通話中

- ・内線 1 0 と内線 1 1 で通話中

内線通話中
1 0 = [1 1]

2 機能 を押す

- ・内線 1 1 へ保留音が流れます。
- ・保留音は、外線保留音と同じ曲が流れます。

内線発信
1 0 []

内線システム保留中

《再応答のしかた》

(内線 1 2)

1

- ・内線発信音「ブップブッ・・・」


内線発信
1 2 []

2 機能 を押す

- ・内線 1 1 と通話ができます。

内線通話中
1 2 = [1 1]

MEMO

内線システム保留および再応答の操作 2 は、機能特番 3 として電話機の  に登録できます。
(220ページ参照)

席を離れるときなどに内線呼出し音をストップするようセットします。

《登録のしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **カ** **2** を押す

《不在設定》
【設定なし】
0 設定なし
1 不在モード

- ・《不在設定》へ進みます。
- ・初期設定は「設定なし」です。

2 **ア** **1** を押す

《不在モード》
設定しました

- ・《不在設定》を不在モードにセットし、カレンダー・時計表示へ戻ります。

機能 ランプ：赤点滅

《解除のしかた》

1 不在設定中

機能 ランプ：赤点滅

2 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **カ** **2** を押す

《不在設定》
【不在モード】
1 不在モード
2 不在転送

- ・《不在設定》画面へ進みます。
- ・表示例：《不在設定》が【不在モード】に設定されている。

↓

《不在設定》
【不在モード】
保留 戻る
0 設定なし

- ・表示例：を押して、ページを切り替えると、**0** 設定なしを表示します。

3 **0** を押す

《不在設定》
解除しました

- ・不在設定が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。

機能 ランプ：消灯

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 2 2
 操作 1、2 はメニュー特番 9 2 2 1
 として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)
 付属のステッカ「不在設定」シールを貼ると便利です。

不在時の内線呼出しを他の電話機へ転送するようセットします。

《登録のしかた》

1 確定 を押す

《不在設定》
【設定なし】
0 設定なし
1 不在モード



《不在設定》
【設定なし】
2 不在転送
3 話中 / 不応答転送

- ・《不在設定》へ進みます。
- ・初期設定は「設定なし」です。

- ・表示例： を押して、ページを切り替えると、 不在転送が表示されます。

2 を押す

《不在転送》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・《不在転送》の転送先設定へ進みます。

3 転送先を選択する

《不在転送》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・ にて、転送先を選択する。
- ・表示例： を押して、内線 11 を選択します。

4 確定 を押す

《不在転送》
設定しました

- ・転送先を選択し、 を押すと、《不在設定》で不在転送の転送先が選択された内線に設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。

機能 ランプ：赤点滅

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 2 2

操作 1、2 は、メニュー特番 9 2 2 2

操作 1～4 は、メニュー特番 9 2 2 2 X X または 9 2 2 2 Y Y Y

(X X : 1 0 ~ 8 9 (内線 2 桁モード時))(Y Y Y : 1 0 0 ~ 8 9 9 (内線 3 桁モード時))

として、電話機の オート に登録できます。(221ページ参照)

《解除のしかた》

1 不在設定中

○機能 ランプ：赤点滅

2 確定 を押す

《不在設定》
【不在転送 (内線 11)】
2不在転送
3話中 / 不応答転送



《不在設定》
【不在転送 (内線 11)】
0設定なし
1不在モード

・《不在設定》へ進みます。

・表示例：○を押して、ページを切り替えると、 設定なしが表示されます。

3 を押す

《不在設定》
解除しました

・《不在設定》が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。

○機能 ランプ：消灯

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 2 2、
操作 1、2 は、メニュー特番 9 2 2 0
として、電話機の に登録できます。(221ページ参照)

話中 / 不応答転送にセットすることで、内線呼び出しに対して、話中時や一定期間不応答の場合あらかじめ指定された他の内線へ転送することができます。

《登録のしかた》


1 確定 を押す

《不在設定》
【設定なし】
0 設定なし
1 不在モード



《不在設定》
【設定なし】
2 不在転送
3 話中 / 不応答転送

- ・《不在設定》へ進みます。
- ・初期設定は「設定なし」です。

- ・表示例：  を押して、ページを切り替えると、 **3** 話中 / 不応答転送を表示します。




2 を押す

《話中 / 不応答転送》
内線 10: 目黒太郎
内線 11: 目黒次郎
内線 12: 目黒三郎

- ・《話中 / 不応答転送》の転送先選択へ進みます。

3 転送先を選択する

《話中 / 不応答転送》
内線 10: 目黒太郎
内線 11: 目黒次郎
内線 12: 目黒三郎

- ・   にて、転送先を選択します。
- ・表示例：  を押して、内線 1 1 を選択します。


4 を押す

《話中 / 不応答転送》
設定しました

- ・《不在設定》で話中 / 不応答転送の転送先が選択された内線に設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。

 ランプ：赤点滅

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 2 2、
 操作 1、2 は、メニュー特番 9 2 2 3、
 操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 9 2 2 3 X X または 9 2 2 3 Y Y Y
 (X X : 1 0 ~ 8 9 (内線 2 桁モード時)) (Y Y Y : 1 0 0 ~ 8 9 9 (内線 3 桁モード時))
 として、電話機の  に登録できます。(221 ページ参照)
 付属のステッカ「話中設定」シールを貼ると便利です。
 工事設定により、不応答時に転送を開始する時間を変更できます。

《解除のしかた》

1 不在設定中

○機能 ランプ：赤点滅

2 確定 を押す

《不在設定》
【話中 / 不応答転送 (内線 11)】
3話中 / 不応答転送
保留 戻る



《不在設定》
【話中 / 不応答転送 (内線 11)】
0設定なし
1不在モード

・《不在設定》へ進みます。

・表示例：○を押して、ページを切り替えると、 設定なしを表示します。

3 を押す

《不在設定》
解除しました

・《不在設定》が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。

○機能 ランプ：消灯

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 2 2
操作 1、2 は、メニュー特番 9 2 2 0
として、電話機の に登録できます。(221ページ参照)

すべての電話機の不在設定を一括解除します。

《解除のしかた》

1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **ラ 9** を押す

- ・《全電話機の不在設定解除》確認へ進みます。

《全電話機の不在設定解除》
解除しますか？

- 1 はい
- 2 いいえ

2 **ア 1** を押す

- ・すべての電話機の不在設定が解除され、カレンダー・時計表示へ戻ります。

《全電話機の不在設定解除》
解除しました

MEMO

操作 1、2 はメニュー特番 9 1 9 として、電話機の **○オート** に登録できます。(221 ページ参照)

話中の相手に呼び出し中であることを知らせます。

単独電話機、WS子機、DC子機を話中呼出することはできません。

《通知をする》

(内線10)

1 

・内線発信音「プッププッ・・・」が聞こえます。

内線発信
10 []

2 内線番号を押す

・相手が通話中のときは話中音「プープー・・・」が鳴ります。

・表示例：内線12呼出

内線発信
10 [12]

3 を押す

・相手のスピーカに話中呼出音「プー」音がでます。

内線発信
10 [12] *

《応答する》

(内線12)

1 内線、外線通話中

・表示例：内線10から通知

・内線、外線通話中に話中呼出音「プー」音がでます。
着信ランプ：点滅

内線通話中
12 [10] *

2 を押す

・表示例：待機者の内線10が内線12と通話。

・それまでの通話を保留し、待機者と通話します。

着信ランプ：消灯

 会議 ランプ：赤点滅（内線通話の場合）

 外線 ランプ：緑点滅（外線通話の場合）

内線通話中
12 = [10]

話中のときはそのまま待って相手呼び出す (コールウェイティング)

内線呼び出して相手が話中のとき、そのまま待っていれば、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

1

内線発信
10 [11]

- ・内線呼び出して相手が話中のとき話中音「プープープー…」が聞こえます。
- ・表示例：内線10が内線11を呼出し

2 相手話中そのまま待つ

- ・相手の通話が終わるまでそのまま待ちます。

3 通話する

内線通話中
10 = [11]

- ・相手の通話が終わりしだい呼出します。
相手がでたら通話します。

「外線 1 人と内線 2 ~ 3 人」または「外線 2 人と内線 1 ~ 2 人」の会議通話ができます。会議通話は最大 4 組（内線会議通話と外線会議通話）まで同時に行うことができます。

他テナントの内線を含めた外線会議通話はできません

《外線会議通話（外線 1 人・内線 2 人）》

外線通話中に、もうひとりの内線を参加させたい場合。

操作例：内線 1 0 が外線通話中に内線 1 1 を会議に参加させる。

1 外線通話中

2 保留 を押す

外線 ランプ：緑点滅

3 内線番号を押す

- ・ 会議に加えたい内線番号を押して、内線通話します。
- ・ 表示例：内線 1 0 と 1 1 が内線通話中

内線通話中
1 0 = [1 1]

4 会議 を押す

- ・ 会議することを伝え、 会議 を押します。
- ・ ここまでは三者通話（外線 1 人・内線 2 人）となります。

会議通話中
[1 1] L 1 1 : 5 0

外線 ランプ：緑点灯

会議 ランプ：赤点灯

《外線会議通話（外線 1 人・内線 3 人）》

外線会議中（外線 1 人・内線 2 人）に、もう 1 人の内線を参加させたい場合、上項の「外線 1 人と内線 2 人」と同じ操作をします。

MEMO

会議 (特殊番号 4 2) は、電話機の オート に登録できます。(222ページ参照)

特殊番号の一覧表は555ページを参照します。

付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

《外線会議通話（外線2人・内線1人）》

外線通話中（外線1人・内線1人）に、もう1人の外線を参加させたい場合。

1 外線通話中（例：外線1）

2 を押す

1ランプ：緑点滅

3 (例：外線2) を押す

・空いている を押します。

2ランプ：緑点灯

4 電話番号を押す

・会議に加えたい外線相手の電話番号を押します。

5 を押す

・相手が応答したら、会議することを伝え、 を押します。
ここまでは三者通話（外線2人・内線1人）となります。

会議通話中	0 : 1 0
L 1 L 2	

1ランプ：緑点灯

ランプ：赤点灯

・表示例：外線1、2で会議通話

《外線会議通話（外線2人・内線2人）》

外線会議中（外線2人・内線1人）に、もう1人の内線を参加させたい場合、213ページの外線会議通話（外線1人と内線2人）と同じ操作をします。

MEMO

外線どうしの通話音量は局線の状態により小さくなる場合があります。

(特殊番号42) は、電話機の に登録できます。(222ページ参照)

特殊番号の一覧表は555ページを参照します。

付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

内線で会議通話ができます。会議通話は最大4組(内線会議通話と外線会議通話)まで同時に行うことができます。

《内線会議通話(内線3人)》

内線通話中に、もう1人の内線を参加させたい場合

操作例：内線10が内線12と内線通話中に、内線13を会議に参加させる。

1 内線通話中

2 を押す

ランプ：赤点滅

3 内線番号を押す

・会議に加えたい内線番号を押して、内線通話します。

内線通話中
10 = [13]

4 を押す

・会議することを伝え、を押します。ここまでは三者通話(内線3人)となります。

ランプ：赤点灯

・表示例：内線13が会議に参加

会議通話中
[12][13]

《内線会議通話(内線4人)》

内線会議通話中(内線3人)にもう1人の内線を参加させる場合、上項と同じ操作をします。

MEMO

(特殊番号42) は、電話機の に登録できます。(222ページ参照)

特殊番号の一覧表は555ページを参照します。

付属のステッカ「会議」シールを貼ると便利です。

オートダイヤルにいろいろな機能を登録する（オートダイヤル）

○オート にいろいろな機能を登録することでワンタッチで使用できます。

登録できる機能は次のとおりです。

- 1：電話番号
- 2：内線番号 / 内線特番（一覧表を参照548ページ）
- 3：機能特番（一覧表を参照549ページ）
- 4：メニュー特番（一覧表を参照550ページ）
- 5：特殊番号（一覧表を参照555ページ）

《登録のしかた（電話番号）》




1 確定 6 を押す

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ
オート02:機能特番
オート03:登録なし

- ・《オートダイヤル》一覧表示へ進みます。
- ・オート01～オート03を表示します。

2 オートNo. を選択する

《オートダイヤル》
オート01:目黒サクサ
オート02:機能特番
オート03:登録なし

- ・、にてオートNo.を選択する。
- ・表示例：を2回押してオート03を選択。

3 確定 を押す

オート03:登録なし
1登録
2消去

- ・選択されたオートNo.の設定へ進みます。

4 1 を押す






《オート03》
1登録種別
2番号
3名前

- ・選択されたオートNo.の登録へ進みます。

5 1 を押す

《オート03 - 登録種別》
1電話番号
2内線番号 / 内線特番
3機能特番

- ・選択したオートNo.の登録種別へ進みます。
- ・登録できる登録種別は次のとおりです。

-  1電話番号
-  2内線番号 / 内線特番
-  3機能特番
-  4メニュー特番
-  5特殊番号

6 ア 1 を押す

《オート03》	
1 登録種別	電話番号
2 番号	
3 名前	

- 登録種別が電話番号に仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。
- 表示例：オート03

7 カ ABC 2 を押す

《オート03 - 番号》	
桁数：最大24桁	
短縮 特殊コード	

- 選択されたオートNo.の番号（この場合は電話番号）登録へ進みます。
- 登録種別が登録されていないと、番号は登録できません。
- 表示例：オート03

8 電話番号を入力する

《オート03 - 番号》	
03-3493-5111	
桁数：最大24桁	
短縮 特殊コード	

- 電話番号をダイヤルボタンで入力します。
- 電話番号は、最大24桁まで入力できます。
- 短縮 を押すと、特殊コードを入力できます。
- 短縮 を押すごとに、ポーズ：「P」 切断コード：「E」 ハイフン：「-」 ネスティング：「[]」を繰り返します。
- ポーズ（P表示）は、お買い上げ時、待ち時間は約3秒です。電話番号の途中でポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。（デジタル回線）
（登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）
- 入力した番号を間違えた場合は、フラッシュ を押して消去します。

9 確定 を押す

《オート03》	
2 番号	03-3493-5111
3 名前	
# 登録	

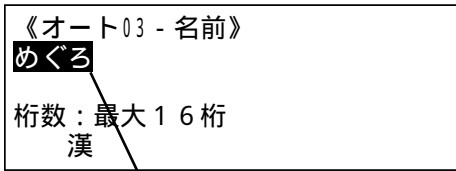
- 電話番号が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

10 サ DEF 3 を押す

《オート03 - 名前》	
桁数：最大16桁	
漢	

- 選択されたオートNo.の名前登録へ進みます。

11 名前を入力する

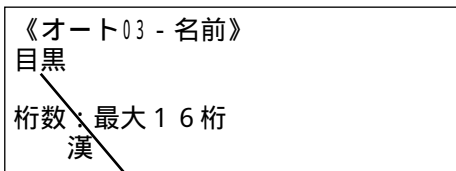


と を交互に点滅

- 文字入力は、ダイヤルボタンから入力します。
(文字数は、全角で最大16字)
- 短縮で文字入力モードを変更します。
かな(漢) カナ(カナ) 英字(英) 数字(数)を繰り返します。
- 表示例：「めぐろ」
- 入力できる文字は、次の表のとおりです。
(かな文字や漢字も入力できます。)

ダイヤルボタン	かな(漢)	カナ(カナ)	英字(英)	数字(数)
1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース(空)	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてと	タチツテト	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよ	ヤユヨ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをん ゝー。 ! ?、。	ワヲン ゝー。 ! ?、。	@ . ~ / : _ ! ? ' - & () " \$ % + , ; < = > [¥] ^ ` { } 「 」 * #	0
フラッシュ	一文字消去			
左右移動	カーソル左右移動			

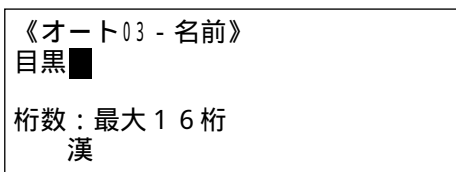
12 を押す



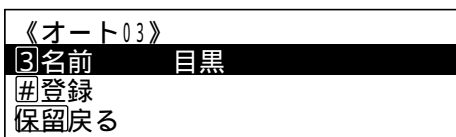
点滅

- 文字を入力していないときに、「かな」モードで # を押すと、スペース(空)が入力できます。
- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- 表示例に「めぐろ」を変換して「目黒」を表示します。
- にて変換する文字数を変更できます。
- 表示された候補の次の候補を表示させたいときは、 を押してください。
- 変換候補で、確定する漢字が表示されないときは、フラッシュ を押したあとにかな文字で変換文字を変更して確認ください。
- 変換候補が決定されます。

13 (確定) を押す



14 (確定) を押す



- 名前が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。
- 選択されたオートNo.の登録内容を確認してください。

15 **#**を押す

《オート03》
登録しました

- ・ 選択されたオートNo.を本登録し、操作1の《オートダイヤル》の一覧に戻ります。

MEMO

操作1はメニュー特番6として、電話機の()オートに登録できます。(221ページ参照)
メニュー特番ショートカット一覧表(550ページ参照)

《登録のしかた(内線番号/内線特番)》

1 《登録のしかた(電話番号)》の操作1~5を行う(216ページ参照)

《オート03-登録種別》

- ①電話番号
- ②内線番号/内線特番
- ③機能特番

- ・ 選択したオートNo.の登録種別へ進みます。
- ・ 表示例：オート03

2 **カ** **2**を押す

《オート03》
①登録種別 内線番号/内線特番
②番号
③名前

- ・ 選択されたオートNo.の登録種別が内線番号/内線特番に仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

3 **カ** **2**を押す

《オート03 - 番号》

桁数：最大16桁

- ・ 選択されたオートNo.の番号(この場合は内線番号/内線特番)登録へ進みます。

4 内線番号/内線特番を入力する

《オート03 - 番号》
961

桁数：最大16桁

- ・ 内線番号/内線特番を入力します。
- ・ 内線番号/内線特番は、最大16桁まで入力できます。
- ・ 内線特番一覧表をご覧ください。(548ページ)
- ・ 表示例：961(内線代理応答)

5 **確定**を押す

《オート03》
②番号 961
③名前
#登録

- ・ 内線番号/内線特番が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

(これ以降は《登録のしかた(電話番号)》の操作10~15を行います。)(217ページ参照)

《登録のしかた（機能特番）》

1 《登録のしかた（電話番号）》の操作1～5を行う（216ページ参照）

《オート03 - 登録種別》
①電話番号
②内線番号 / 内線特番
③機能特番

- ・選択されたオートNo.の機能種別登録へ進みます。
- ・表示例：オート03

2 を押す

《オート03》
①登録種別 機能特番
②番号
③名前

- ・選択されたオートNo.の登録種別が機能特番に仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

3 を押す

《オート03 - 番号》
桁数：最大16桁

- ・選択されたオートNo.の番号（この場合は機能特番）登録へ進みます。

4 機能特番を入力する

《オート03 - 番号》
2
桁数：最大16桁

- ・機能特番を入力します。
- ・機能特番は、最大16桁まで入力できます。
- ・機能特番一覧表をご覧ください。（549ページ）
- ・表示例：2（ハンドセット送話ミュート設定）

5 を押す

《オート03》
②番号 2
③名前
#登録

- ・機能特番が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

（これ以降は《登録のしかた（電話番号）》の操作10～15を行います。）（217ページ参照）

《登録のしかた（メニュー特番）》

1 《登録のしかた（電話番号）》の操作1～5を行う（216ページ参照）

《オート03－登録種別》
1電話番号
2内線番号 / 内線特番
3機能特番

- ・ 選択されたオートNo.の機能種別登録へ進みます。
- ・ 表示例：オート03



《オート03－登録種別》
4メニュー特番
5特殊番号
保留戻る

- ・ を押してページを切り替えると、4メニュー特番を表示します。

2 4 を押す

- ・ 選択されたオートNo.の登録種別がメニュー特番に仮登録され、選択したオートNo.の登録に戻ります。

《オート03》
1登録種別 メニュー特番
2番号
3名前

3 2 を押す

- ・ 選択されたオートNo.の番号（この場合はメニュー特番）登録へ進みます。

《オート03 - 番号》
桁数：最大16桁

4 メニュー特番を入力する

- ・ メニュー特番を入力します。
- ・ メニュー特番は、最大16桁まで入力できます。
- ・ メニュー特番ショートカット一覧表をご覧ください。（550ページ）
- ・ 表示例：21（電話帳の新規登録）

《オート03 - 番号》
21
桁数：最大16桁

5 を押す

- ・ メニュー特番が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

《オート03》
2番号 21
3名称
#登録

（これ以降は《登録のしかた（電話番号）》の操作10～15を行います。）（217ページ参照）

《登録のしかた（特殊番号）》


1 《登録のしかた（電話番号）》の操作1～5を行う（216ページ参照）

《オート03－登録種別》
①電話番号
②内線番号 / 内線特番
③機能特番



《オート03－登録種別》
④メニュー特番
⑤特殊番号
保留戻る

- ・ 選択されたオートNo.の機能種別登録へ進みます。
- ・ 表示例：オート03

- ・ を押してページを切り替えると、⑤特殊番号を表示します。

2 を押す

《オート03》
①登録種別 特殊番号
②番号
③名前

- ・ 選択されたオートNo.の登録種別が特殊番号に仮登録され、選択したオートNo.の登録に戻ります。

3 を押す

《オート03 - 番号》
桁数：最大2桁

- ・ 選択されたオートNo.の番号（この場合は特殊番号）登録へ進みます。

4 特殊番号を入力する

《オート03 - 番号》
43
桁数：最大2桁

- ・ 特殊番号を入力します。
- ・ 特殊番号は、最大2桁まで入力できます。
- ・ 特殊番号一覧表をご覧ください。（555ページ）
- ・ 表示例：43（リダイヤル）

5 を押す

《オート03》
②番号 43
③名前
#登録

- ・ 特殊番号が仮登録され、選択されたオートNo.の登録に戻ります。

（これ以降は《登録のしかた（電話番号）》の操作10～15を行います。）（217ページ参照）

《確認のしかた》




1 確定 を押す

《オートダイヤル》
オート01:目黒A
オート02:機能特番
オート03:目黒サクサ本社

- ・《オートダイヤル》一覧表示へ進みます。
- ・オート01～03を表示します。


2 オートNo.を選択する

《オートダイヤル》
オート01:目黒A
オート02:機能特番
オート03:目黒サクサ本社

- ・  にてオートNo.を選択します。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択。

3 短縮 を押す

オート03:電話番号
03-3493-5111
目黒サクサ本社

- ・選択されたオートNo.の登録内容を上から順に「オートNo.と登録種別」、「番号」、「名前」と表示します。
- ・再度  を押すと《オートダイヤル》の一覧表示に戻ります。

《変更のしかた》

変更のしかたは《登録のしかた》と同じです。(216ページ参照)

登録種別を変更すると、番号と名前は消去されます。

MEMO

操作1は、メニュー特番6として、電話機の  に登録できます。(221ページ参照)

《消去のしかた》




1 確定 ハ MNO **6** と押す

《オートダイヤル》
オート01:目黒A
 オート02:機能特番
 オート03:目黒サクサ本社

- ・《オートダイヤル》一覧表示へ進みます。
- ・オート01～03を示します。

2 オートNo.を選択する

《オートダイヤル》
 オート01:目黒A
 オート02:機能特番
オート03:目黒サクサ本社

- ・  にてオートNo.を選択する。
- ・表示例： を2回押してオート03を選択する。

3 確定 を押す

オート03:目黒サクサ本社
 03-3493-5111
1登録
 2消去

- ・選択されたオートNo.の設定へ進みます。

4 カ ABC **2** を押す

《オート03》
 消去しますか？
1はい
 2いいえ

- ・選択されたオートNo.の消去確認へ進みます。

5 ア **1** を押す

《オート03》
 消去しました

- ・選択されたオートNo.の登録内容が消去され、「登録なし」となり、《オートダイヤル》一覧表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番6として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

内線着信時に受話器を置いたままで応答する(パーソナルハンズフリー)

内線通話の音声呼出をされたときだけ(応答側のみ)ハンズフリーができます。

《セットのしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **サ** **3** を押す

《ハンズフリー応答設定》
【しない】
2 しない
保留 戻る



《ハンズフリー応答設定》
【しない】
1 する
2 しない

- ・《ハンズフリー応答設定》へ進みます。
- ・初期設定は「する」です。

- ・**1** を押すと **1** するを表示します。

2 **ア** **1** を押す

《ハンズフリー応答設定》
設定しました
マイク

- ・ハンズフリー応答設定が設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- このとき、ピクト「マイク」を表示します。

《解除のしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **サ** **3** を押す

《ハンズフリー応答設定》
【する】
1 する
2 しない
マイク

- ・《ハンズフリー応答設定》へ進みます。

2 **カ** **2** を押す

《ハンズフリー応答設定》
解除しました

- ・ハンズフリー応答設定が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- このとき、ピクト「マイク」を消灯します。

MEMO

操作 1、2 はメニュー特番 9 2 3 として、電話機の **1** オート に登録できます。(221ページ参照)
登録後は **1** オート を押すごとに「セット」「解除」を繰り返します。

《内線通話中にセット / 解除する》

1 ○機能 [ア] を押す

- ・ ○機能 [ア] を押すたびにハンズフリーの「セット」「解除」を繰り返します。
- ・ 待機中でも操作できます。

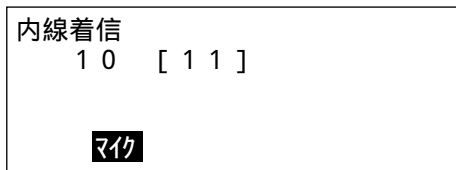
MEMO

操作 1 は、機能特番 1 として ○オート に登録できます。(220ページ参照)
登録後は ○オート を押すごとに、「セット」「解除」を繰り返します。

《内線の電話を受ける》

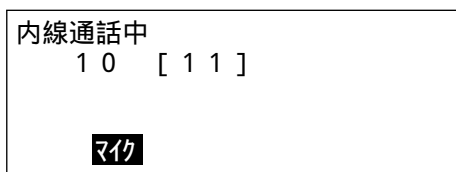
1 音声呼出で内線着信を受ける

- ・ ピクト「マイク」が表示されています。



2 パーソナルハンズフリー通話をする

- ・ 電話機マイクに向かって話します。



MEMO

ハンズフリー通話中に受話器を上げると、そのまま受話器で通話ができます。
音声の反響がなく、騒がしい所は避けてください。
電話機の正面から約30cm離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。
信号呼出の場合は、○スピーカを押してから、ハンズフリー通話になります。

外線通話中に受話器を置いたままで相手と話す (外線ハンズフリー)

外線発着信のときに、受話器を取らずに発信/応答ができます。
この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

〈セットのしかた〉


1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **サ** **3** を押す

《ハンズフリー応答設定》
【しない】
2 しない
保留 戻る



《ハンズフリー応答設定》
【しない】
1 する
2 しない

- ・《ハンズフリー応答設定》へ進みます。
- ・初期設定は「する」です。

・  を押すと **1** するを表示します。

2 **ア** **1** を押す

《ハンズフリー応答設定》
設定しました
マイク

- ・ハンズフリー応答設定が設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- このとき、ピクト「マイク」を表示します。

〈解除のしかた〉

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **サ** **3** を押す

《ハンズフリー応答設定》
【する】
1 する
2 しない
マイク



2 **カ** **2** を押す

《ハンズフリー応答設定》
解除しました

- ・《ハンズフリー応答設定》へ進みます。

- ・ハンズフリー応答設定が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- このとき、ピクト「マイク」を消灯します。

MEMO

操作 1、2 は、メニュー特番 9 2 3 として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
登録後は  オート を押すごとに「セット」「解除」を繰り返します。

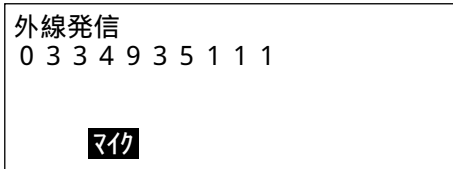
〈外線に電話をかける〉

1 発信 (または 外線) を押す



- ・「マイク」が表示されています。
- ・表示例：外線 1
 - 外線 ランプ：緑点灯
 - スピーカ ランプ：赤点灯

2 電話番号を押す



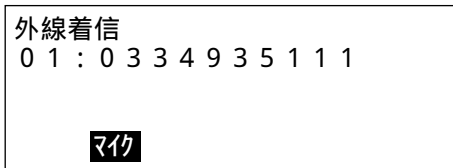
- ・表示例：0334935111へ発信

3 ハンズフリー通話をする

- ・相手が応答したら電話機のマイクに向かって話します。

〈外線の電話を受ける〉

1 外線着信中



- ・「マイク」が表示されています。
- 外線 ランプ：赤点滅

2 外線 を押す

- ・外線を押しして応答します。
- 外線 ランプ：緑点灯

3 ハンズフリー通話をする

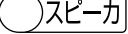
- ・電話機のマイクに向かって話します。

MEMO

ハンズフリー通話中に受話器を上げると、そのまま受話器で通話ができます。
音声の反響がなく、騒がしい所は避けてください。
電話機の正面から約30cm離れて通話してください。大声や極端に小さな声で話すと相手に聞こえにくいことがあります。
相手と交互にお話ください。同時に話すとも相手の声が途切れる場合があります。

外線または内線通話の途中から受話専用にします。

1 外線または内線通話中

2  を押す

 ランプ : 赤点灯

3 

- ・スピーカ受話になり、こちらの声が相手に流れません。
ただし、外線ハンズフリーセットしていると流れます。

4 

- ・通話を再開する場合、受話器を上げて再度、相手と通話します。

 ランプ : 消灯

システム全体の昼間モード 夜間モード (着信音の鳴る電話機等) の切り替えができます。

夜間モードには夜間モード A / B の 2 種類があり、選択し切り替えることができます。

夜間モード切り替え時間が毎日同じ場合は、自動的に切り替えることもできます。

(夜間モード自動切替は夜間 A モードのみです)

初期設定は、昼間モードでは「全電話機が鳴動する」、夜間モード A / B では、「内線 10、11 のみ鳴動する」です。

昼間モードと夜間モード A / B は工事設定で鳴動する電話機の変更と、発信を規制する電話機の変更ができます。

《登録のしかた (手動夜間設定の場合)》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **カ** 2 **を押す**

・《夜間設定》へ進みます。

《夜間設定》
1 手動夜間設定
2自動夜間設定
保留 戻る

2 **ア** 1 **を押す**

・《手動夜間設定》へ進みます。
・初期設定は、「設定なし」です。

《手動夜間設定》
【設定なし】
0 設定なし
1夜間 A

3 **ア** 1 **または** **カ** 2 **を押す**

・夜間モードを選択します。
1夜間 A、2夜間 B
・夜間設定が手動切替の選択された夜間モードに設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。
この時ピクト「**夜間 A**」または「**夜間 B**」が表示します。
・表示例：夜間 A

《手動夜間設定》
設定しました



1 1 月 5 日 (金)
午前 9 : 00
内線 10
夜間 A

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 2

操作 1、2 はメニュー特番 9 1 2 1

操作 1 ~ 3 はメニュー特番 9 1 2 1 X (X : 1夜間 A、2夜間 B) (* 1)

として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

* 1 登録後は、**オート** を押すごとに「セット」「解除」を繰り返します。

付属のステッカ「夜間設定」シールを貼ると便利です。

《確認のしかた（手動夜間設定の場合）》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **カ** 2 **ア** 1 **を押す**

- ・《手動夜間設定》へ進みます。
- ・【 】内に設定内容を表示します。
- ・表示例：手動夜間設定内容「夜間 A」

《手動夜間設定》
【夜間 A】
1 夜間 A
2 夜間 B

《解除のしかた（手動夜間設定の場合）》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **カ** 2 **を押す**

- ・《夜間設定》へ進みます。

《夜間設定》
1 手動夜間設定
2 自動夜間設定
保留 戻る

2 **ア** 1 **を押す**

- ・《手動夜間設定》へ進みます。

《手動夜間設定》
【夜間 A】
1 夜間 A
2 夜間 B



《手動夜間設定》
【夜間 A】
0 設定なし
1 夜間 A

- ・表示例：  を押すと、 **0** 設定なしを表示します。

3 **ラ** 0 **を押す**

- ・手動夜間設定が解除され、カレンダー・時計表示へ戻ります。この時表示されていたピクトが消灯します。

《手動夜間設定》
解除しました

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 2、
 操作 1、2 はメニュー特番 9 1 2 1、
 操作 1 ~ 3 はメニュー特番 9 1 2 1 0
 として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

《登録のしかた（自動夜間設定の場合）》

1 **確定** **ラ** 9 **ア** 1 **カ** 2 **を押す**

・《夜間設定》へ進みます。

《夜間設定》
1 手動夜間設定
2 自動夜間設定
保留 戻る

2 **カ** 2 **を押す**

・《自動夜間設定》へ進みます。
・初期設定は「登録なし」です。

《自動夜間設定》
【登録なし】
1 登録
2 消去

3 **ア** 1 **を押す**

・切替時刻登録へ進みます。

《自動夜間設定》
■ : ~ :
(00:00 ~ 23:59)

4 切替時刻を入力する

・ダイヤルボタンで切替時刻を入力します。
・設定範囲は00:00 ~ 23:59です。

《自動夜間設定》
1 8 : 0 0 ~ 0 7 : 0 0
(00:00 ~ 23:59)

5 **確定** **を押す**

・自動夜間設定が入力された切替時刻で登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。

《自動夜間設定》
登録しました

1 1 月 5 日(金) 午前 9 : 0 0 内線 10
夜間A

・表示例：切替開始時刻にて夜間モードに切り替わると、ピクト「夜間A」が表示します

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 2、

操作 1、2 はメニュー特番 9 1 2 2、

操作 1 ~ 3 はメニュー特番 9 1 2 2 1、

操作 1 ~ 5 はメニュー特番 9 1 2 2 1 SSSSEEEE

(SSSS: 切替開始時刻、EEEE: 切替終了時刻)

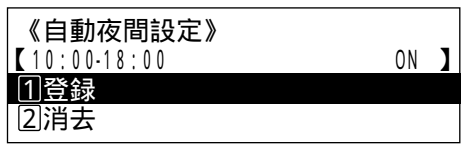
として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

自動夜間設定は、手動夜間設定が設定されている場合、自動夜間設定は無効となり、手動夜間設定で動作します。

《確認のしかた（自動夜間設定の場合）》

1 **確定** **ラ** **9** **ア** **1** **カ** **2** **カ** **2** を押す

- ・《自動夜間設定》へ進みます。
- ・【 】内に設定内容を表示します。
- ・表示例：自動夜間設定内容「切替時刻 10:00-18:00 自動夜間設定 ON」です。



《セットのしかた（自動夜間設定の場合）》

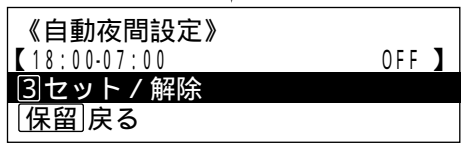
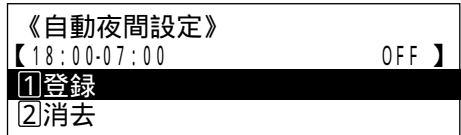
1 **確定** **ラ** **9** **ア** **1** **カ** **2** を押す

- ・《夜間設定》へ進みます。



2 **カ** **2** を押す

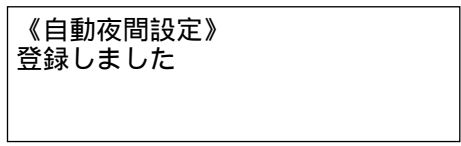
- ・《自動夜間設定》へ進みます。



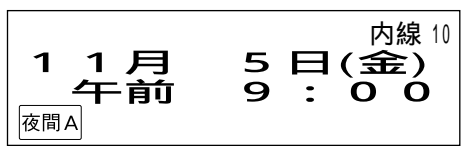
- ・表示例：○を押してページを切り替えると、**3** セット/解除を表示します。

3 **サ** **3** を押す

- ・自動夜間設定が登録 (ON) され、カレンダー・時計表示に戻ります。



- ・表示例：切替開始時刻にて夜間モードに切り替わると、ピクト「夜間A」が表示します



MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 2、
 操作 1、2 はメニュー特番 9 1 2 2、
 操作 1 ~ 3 はメニュー特番 9 1 2 2 3 (* 1)
 として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)
 * 1 登録後は、**オート** を押すたびに「セット」「解除」を繰り返します。
 自動夜間設定は、手動夜間設定が設定されている場合、自動夜間設定は無効となり、手動夜間設定で動作します。

《解除のしかた（自動夜間設定の場合）》

1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **カ 2** を押す

《夜間設定》
1 手動夜間設定
2 自動夜間設定
保留 戻る

・《夜間設定》へ進みます。

2 **カ 2** を押す

《自動夜間設定》
【18:00-07:00 ON】
1 登録
2 消去

・《自動夜間設定》へ進みます。

↓

《自動夜間設定》
【18:00-07:00 ON】
3 セット / 解除
保留 戻る

・表示例：○を押してページを切り替えると、**3** セット / 解除を表示します。

3 **サ 3** を押す

《自動夜間設定》
解除しました

・自動夜間設定が解除（OFF）され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 2、
操作 1、2 はメニュー特番 9 1 2 2、
操作 1 ~ 3 はメニュー特番 9 1 2 2 3（* 1）
として、電話機の ○オート に登録できます。（221ページ参照）
* 1 登録後は、○オート を押すたびに「セット」「解除」を繰り返します。

《消去のしかた（自動夜間設定の場合）》

1 **確定** **ラ** **9** **ア** **1** **カ** **2** を押す

《夜間設定》
1 手動夜間設定
2 自動夜間設定
保留 戻る

・《夜間設定》へ進みます。

2 **カ** **2** を押す

《自動夜間設定》
【 18:00-07:00 ON 】
1 登録
2 消去

・《自動夜間設定》へ進みます。

3 **カ** **2** を押す

《自動夜間設定》
消去しますか？
1 はい
2 いいえ

・自動夜間設定の消去確認へ進みます。

4 **ア** **1** を押す

《自動夜間設定》
消去しました

・自動夜間設定が消去され、カレンダー・時計表示へ戻ります。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 2、
操作 1、2 はメニュー特番 9 1 2 2、
操作 1 ~ 3 はメニュー特番 9 1 2 2 2
として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

あらかじめセットした時刻に、待機状態のとき電話機から約10秒間、時刻アラーム音「ピピピ・・・」を鳴らすことができます。

時刻アラーム1は、1度時刻アラーム音が鳴ると自動的にリセットされます。

時刻アラーム2は、リセットされません。(毎日、定刻に鳴ります。)

《登録のしかた》

1 **確定** **ラ 9** **カ 2** **ナ 5** を押す

・《時刻アラーム》へ進みます。

《時刻アラーム》
1 時刻アラーム1(1回)
2 時刻アラーム2(毎日)
保留 戻る

2 **ア 1** または **カ 2** を押す

・時刻アラームを選択します。

1時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日)

・選択された時刻アラームの設定へ進みます。

・初期設定は「登録なし」です。

・表示例：**ア 1**を押して時刻アラーム1(1回)を選択する。

《時刻アラーム1(1回)》
【登録なし】
1 登録
2 消去

3 **ア 1** を押す

・選択された時刻アラームの時刻登録へ進みます。

・表示例：時刻アラーム1(1回)

《時刻アラーム1(1回)》
■ 時 分
(00:00 ~ 23:59)

4 時刻を入力する

・ダイヤルボタンで時刻を入力します。

・設定範囲は00:00 ~ 23:59です。

《時刻アラーム1(1回)》
10時 0 分
(00:00 ~ 23:59)

5 **確定** を押す

・選択された時刻アラームが登録(ON)され、カレンダー・時計表示に戻ります。

この時、時刻アラームのピクト「🔔」が表示します。

《時刻アラーム1(1回)》
登録しました
🔔

MEMO

操作1はメニュー特番925、

操作1、2は、メニュー特番925X

(X：**1**時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日))

操作1~3は、メニュー特番925X1

(X：**1**時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日))

操作1~5は、メニュー特番925X1HHMM

(X：**1**時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日))(HH：時、MM：分)

として、電話機の**オート**に登録できます。(221ページ参照)

《確認のしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **ナ** **5** **ア** **1** または **カ** **2** を押す

《時刻アラーム1(1回)》	
【10:00	ON】
1 登録	
2 消去	

- ・ 選択された時刻アラームの設定へ進みます。
- ・ **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **ナ** **5** **ア** **1** : 時刻アラーム(1回)
- ・ **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **ナ** **5** **カ** **2** : 時刻アラーム(毎日)
- ・ 【 】内に設定内容を表示します。
- ・ 表示例: 時刻アラーム(1回)「設定時刻10:00、設定ON」

《セットのしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **ナ** **5** を押す

《時刻アラーム》	
1 時刻アラーム1(1回)	
2 時刻アラーム2(毎日)	
保留 戻る	

- ・ 《時刻アラーム》へ進みます。


2 **ア** **1** または **カ** **2** を押す

《時刻アラーム1(1回)》	
【10:00	OFF】
1 登録	
2 消去	





《時刻アラーム1(1回)》	
【10:00	OFF】
3 セット/解除	
保留 戻る	

- ・ 時刻アラームを選択します。
- ・ **1**時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日)
- ・ 選択された時刻アラームの設定へ進みます。
- ・ 表示例: 時刻アラーム1(1回)

- ・ 表示例:  を押してページを切り替えると、**3**セット/解除を表示します。

3 **サ** **3** を押す

《時刻アラーム1(1回)》	
登録しました	
	

- ・ 選択された時刻アラームが登録(ON)され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・ この時、時刻アラームのピクト「」が表示します。

MEMO

操作1はメニュー特番925、
 操作1、2は、メニュー特番925X
 (X: **1**時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日))
 操作1~3は、メニュー特番925X3(*1)
 (X: **1**時刻アラーム1(1回) **2**時刻アラーム2(毎日))
 として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)
 *1登録後は、**オート** を押すたびに「セット」「解除」を繰り返します。

《解除のしかた》

1 確定 **ラ** 9 **カ** 2 **ナ** 5 を押す

《時刻アラーム》
1 時刻アラーム1 (1回)
2 時刻アラーム2 (毎日)
保留 戻る
🔔

- ・《時刻アラーム設定》へ進みます。
- ・時刻アラームのピクト「🔔」が表示しています。

2 **ア** 1 または **カ** 2 を押す

《時刻アラーム1 (1回)》
【10:00 ON】
1 登録
2 消去
🔔

- ・時刻アラームを選択します。
- 1 時刻アラーム1 (1回) 2 時刻アラーム2 (毎日)
- ・選択された時刻アラームの設定へ進みます。
- ・表示例：時刻アラーム1 (1回)

↓

《時刻アラーム1 (1回)》
【10:00 ON】
3 セット/解除
保留 戻る
🔔

- ・表示例：🔔を押してページを切り替えると、**3**セット/解除を表示します。

3 **サ** 3 を押す

《時刻アラーム1 (1回)》
解除しました

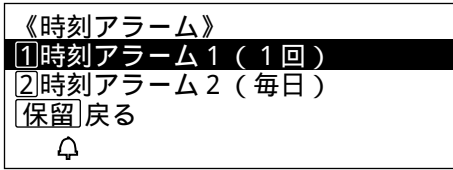
- ・選択された時刻アラームが解除 (OFF) され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・この時、時刻アラームの 🔔 が消えます。

MEMO

操作1はメニュー特番925、
操作1、2は、メニュー特番925X
(X: **1** 時刻アラーム1 (1回) **2** 時刻アラーム2 (毎日))
操作1~3は、メニュー特番925X3
(X: **1** 時刻アラーム1 (1回) **2** 時刻アラーム2 (毎日))
として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

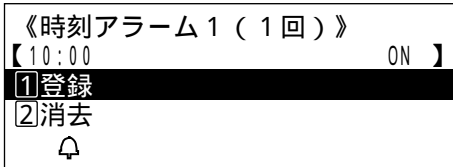
《消去のしかた》

1 **確定** **ラ** **9** **カ** **2** **ナ** **5** を押す



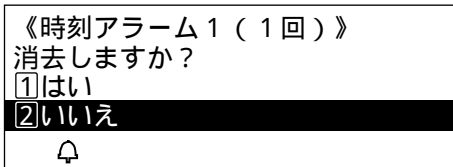
- ・《時刻アラーム》へ進みます。
- ・時刻アラームのピクト「🔔」が表示しています。

2 **ア** **1** または **カ** **2** を押す



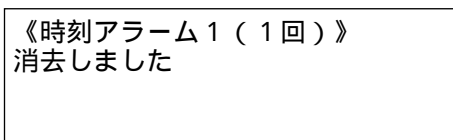
- ・時刻アラームを選択します。
- ・**1**時刻アラーム 1 (1回)、**2**時刻アラーム 2 (毎日) 選択された時刻アラームの設定画面へ進みます。
- ・初期設定は「未登録」です。
- ・表示例：時刻アラーム 1 (1回)

3 **カ** **2** を押す



- ・選択された時刻アラームの消去確認画面へ進みます。
- ・表示例：時刻アラーム 1 (1回)

4 **ア** **1** を押す



- ・選択された時刻アラームが消去され、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・この時、時刻アラームのピクト「🔔」が消えます。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 2 5、
 操作 1、2 は、メニュー特番 9 2 5 X
 (X : **1** 時刻アラーム 1 (1回) **2** 時刻アラーム 2 (毎日))
 操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 9 2 5 X 2
 (X : **1** 時刻アラーム 1 (1回) **2** 時刻アラーム 2 (毎日))
 として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

全電話機の時刻アラームを一括解除できます。

《解除のしかた》

1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **フ 0** **を押す**

・《全電話機の時刻アラーム解除》確認へ進みます。

《全電話機の時刻アラーム解除》
解除しますか？
1 はい
2 いいえ

2 **ア 1** **を押す**

・全電話機の時刻アラームを解除し、カレンダー・時計表示に戻ります。

《全電話機の時刻アラーム解除》
解除しました

MEMO

操作1は、メニュー特番910として、電話機の()オートに登録できます。(221ページ参照)

各種着信時に着信ランプの色を変えることができます。(全電話機共通です)

・着信ランプの色の種類は、下記のとおり 8 種類です。

- 1 シグナルレッド 2 レモンイエロー 3 グラスグリーン 4 ロイヤルブルー
5 ライトブルー 6 ピーチホワイト 7 バイオレッド 8 7色

・初期設定は、下記の通りです。

- 1 外線着信 : シグナルレッド 2 内線着信 : ライトブルー
3 ドアホン着信 : レモンイエロー 4 通話メモ / 用件 : ロイヤルブルー
5 時刻アラーム : バイオレッド

《変更のしかた》

1 を押す

《着信ランプ》
<input checked="" type="checkbox"/> 1 外線着信
<input type="checkbox"/> 2 内線着信
<input type="checkbox"/> 3 ドアホン着信

・《着信ランプ》へ進みます。

2 ~ のいずれかを押す

《着信ランプ - 外線着信》
【シグナルレッド】
<input checked="" type="checkbox"/> 1 シグナルレッド
<input type="checkbox"/> 2 レモンイエロー

・変更したい着信ランプの状態を選択します。

- 1 外線着信 2 内線着信
3 ドアホン着信 4 通話メモ / 用件
5 時刻アラーム

・選択された状態の着信ランプ設定へ進みます。

・表示例： を押して外線着信の着信ランプ設定へ進みます。

3 ~ のいずれかを押す

《着信ランプ - 外線着信》
設定しました

・着信ランプの色を選択します。

- 1 シグナルレッド、2 レモンイエロー、
3 グラスグリーン、4 ロイヤルブルー、
5 ライトブルー、6 ピーチホワイト、
7 バイオレッド、8 7色

・選択された状態の着信ランプの色が登録され、《着信ランプ》に戻ります。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 1 5、

操作 1、2 は、メニュー特番 9 1 5 X

(X : 1 外線着信、2 内線着信、3 ドアホン着信、4 通話メモ / 用件、5 時刻アラーム)

として、電話機の に登録できます。(221 ページ参照)

通話時間を表示する

(通話時間表示)

外線に電話をかけて、相手が応答すると時間表示されます。

1 相手応答

- ・通話時間(分、秒)表示を1秒ずつカウントします。
- ・表示例：2分10秒の通話

外線通話中	2 : 1 0
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1	

MEMO

構内交換機(PBX)に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
通話時間は目安としてご利用ください。

通話料金を表示する

(通話料金表示)

ISDN回線の料金情報サービス(基本サービス)を利用して通話料金を電話機に表示させることができます。
通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。

1 相手応答

- ・通話時間を表示します。
- ・表示例：通話時間1分5秒

外線通話中	1 : 0 5
-------	---------

2

- ・通話を終了します。
- ・表示例：通話料金9円

通話終了	1 : 1 0 9 円
------	----------------

MEMO

通話料金は目安としてご利用ください。
国際電話をかけたときは通話料金は表示されません。
104電話番号案内、携帯電話、PHS、船舶無線、ダイヤルQ2などにかけたときは通話料金が表示されなかったり、正しく表示されないことがあります。
マイライン・マイラインプラスでNTTグループ以外をご契約された場合は、料金表示されません。

いままでに電話をかけた通話料金集計をシステム全体、テナントごと、外線ごと、および電話機ごとに表示できます。

通話料金集計表示とNTTで集計した料金の内容が異なることがあります。同一料金とは限りません。あくまで目安としてご利用ください。(最大9,999,999円まで表示されます。)

《システム全体の通話料金集計の場合》

1 **確定** **ラ 9** **サ 3** を押す

・《通話料金集計》へ進みます。

《通話料金集計》
1 システム
2テナント
3外線

2 **ア 1** を押す

・システム全体の通話料金を集計し、表示します。
・表示例：システム全体の通話料金999999円。

《通話料金集計 - システム》
【 999999円】
1 消去
保留 戻る

MEMO

操作1はメニュー特番93

操作1、2はメニュー特番931として、電話機の**○オート**に登録できます。(221ページ参照)

《テナントごとの通話料金集計の場合》

1 **確定** **ラ** **9** **サ** **3** を押す

《通話料金集計》
1 システム
2 テナント
3 外線

- ・ 《通話料金集計》へ進みます。

2 **カ** **2** を押す

《通話料金集計 - テナント》
1 テナント1
2 テナント2
3 テナント3

- ・ 《通話料金集計 - テナント》へ進みます。

3 **ア** **1** ~ **タ** **4** のいずれかを押す

《通話料金集計 - テナント1》
【 9 9 9 9 9 9 円 】
1 消去
保留 戻る

- ・ テナントを選択します。
1 テナント1 ~ **4** テナント4
- ・ 選択されたテナントの通話料金を集計し、表示します。
- ・ 表示例：テナント1の通話料金9 9 9 9 9 9円。

MEMO

操作1は、メニュー特番9 3

操作1、2は、メニュー特番9 3 2

操作1～3は、メニュー特番9 3 2 X (X: **1** テナント1 ~ **4** テナント4)

として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

《外線ごとの通話料金集計の場合》

1 **確定** **ラ** **9** **サ** **3** **を押す**

《通話料金集計》
①システム
②テナント
③外線

・《通話料金集計》へ進みます。




2 **サ** **3** **を押す**

《通話料金集計 - 外線》
外線 1
外線 2
外線 3

・《通話料金集計 - 外線》選択へ進みます。

3 **外線No. を選択する**

《通話料金集計 - 外線》
外線 4
外線 5
外線 6


・   にて、外線 1 ~ 外線 20 のいずれかを選択する。
 ・ 表示例：  にて、ページを切り替え、外線 4 を選択します。

4 **確定** **を押す**

《通話料金集計 - 外線 4 》
【 9 9 9 9 9 9 円】
①消去
保留 戻る

・ 選択された外線No.の通話料金を集計し、表示します。
 ・ 表示例：外線 4 の通話料金 9 9 9 9 9 9 円。

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 3
 操作 1、2 は、メニュー特番 9 3 3、
 操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 9 3 3 X X (X X : 0 1 ~ 2 0 (外線 1 ~ 2 0))
 として、電話機の  オート に登録できます。(221 ページ参照)

《電話機ごとの通話料金集計の場合》


1 確定 9 3 を押す

《通話料金集計》
1 システム
2 テナント
3 外線



《通話料金集計》
4 電話機
保留 戻る
1 システム

- ・《通話料金集計》へ進みます。

- ・表示例： にて、ページを切り替えると、**4** 電話機を表示します。




2 4 を押す

《通話料金集計 - 電話機》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

- ・《通話料金集計 - 電話機》へ進みます。

3 内線No. を選択する

《通話料金集計 - 電話機》
内線 13:
内線 14:
内線 15:

- ・  にて、内線No.を選択します。
- ・表示例： にて、ページを切り替え、内線 1 3 を選択します。

4 を押す

《通話料金集計 - 内線 13》
【 9 9 9 9 9 9 円】
1 消去
保留 戻る

- ・選択された内線No.の通話料金集計し、表示します。
- ・表示例：内線 1 3 の通話料金 9 9 9 9 9 円。


MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 3

操作 1、2 は、メニュー特番 9 3 4、

操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 9 3 4 X X (X X : 内線 1 0 ~ 8 9 (内線 2 桁モード時)

または、9 3 4 Y Y Y (Y Y Y : 内線 1 0 0 ~ 8 9 9 (内線 3 桁モード時)

として、電話機の  に登録できます。(221 ページ参照)

《システム全体の通話料金集計消去》

1 **確定** **ラ** **9** **サ** **3** を押す

・《通話料金集計》へ進みます。

《通話料金集計》
1 システム
2テナント
3外線

2 **ア** **1** を押す

・システム全体の通話料金を集計し、表示します。

《通話料金集計 - システム》
【 9 9 9 9 9 9 円】
1 消去
保留 戻る

3 **ア** **1** を押す

・システム全体の通話料金の消去確認へ進みます。

《通話料金集計 - システム》
消去しますか？
1 はい
2 いいえ

4 **ア** **1** を押す

・システム全体の通話料金を消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

《通話料金集計 - システム》
消去しました

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 3、
 操作 1、2 は、メニュー特番 9 3 1、
 操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 9 3 1 1 として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

《テナントごとの通話料金集計消去》

1 **確定** **ラ** 9 **サ** 3 **を押す**

《通話料金集計》
1 システム
2 テナント
3 外線

- ・《通話料金集計》へ進みます。

2 **カ** 2 **を押す**

《通話料金集計 - テナント》
1 テナント 1
2 テナント 2
3 テナント 3

- ・《通話料金集計 - テナント》選択へ進みます。

3 **ア** 1 ~ **タ** 4 **のいずれかを押す**

《通話料金集計 - テナント 1》
【 9 9 9 9 9 円】
1 消去
保留 戻る

- ・テナントを選択します。
1 テナント 1 ~ **4** テナント 4
- ・選択されたテナントの通話料金集計し、表示します。
- ・表示例：テナント 1

4 **ア** 1 **を押す**

《通話料金集計 - テナント 1》
消去しますか？
1 はい
2 いいえ

- ・選択されたテナントの通話料金集計の消去確認へ進みます。
- ・表示例：テナント 1

5 **ア** 1 **を押す**

《通話料金集計 - テナント 1》
消去しました

- ・選択されたテナントの通話料金を消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 3、
操作 1、2 は、メニュー特番 9 3 2、
操作 1 ~ 3 は、メニュー特番 9 3 2 X (X: **1** テナント 1 ~ **4** テナント 4)
操作 1 ~ 5 は、メニュー特番 9 3 2 X 1 (X: **1** テナント 1 ~ **4** テナント 4)
として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

《外線ごとの通話料金集計消去》

1 **確定** **ラ** 9 **サ** DEF 3 **を押す**

《通話料金集計》
1 システム
2 テナント
3 外線

・ 《通話料金集計》へ進みます。




2 **サ** DEF 3 **を押す**

《通話料金集計 - 外線》
外線 1
外線 2
外線 3

・ 《通話料金集計 - 外線》へ進みます。

3 **外線No.** を選択する

《通話料金集計 - 外線》
外線 4
外線 5
外線 6

・   にて、外線 1 ~ 外線 20 のいずれかを選択します。
 ・ 表示例:  にて、ページを切り替え、外線 4 を選択

4 **確定** **を押す**

《通話料金集計 - 外線 4 》
【 9 9 9 9 9 9 円】
1 消去
保留 戻る

・ 選択された外線No.の通話料金集計し、表示します。
 ・ 表示例: 外線 4

5 **ア** 1 **を押す**

《通話料金集計 - 外線 4 》
消去しますか？
1 はい
2 いいえ


・ 選択された外線No.の通話料金集計の消去確認へ進みます。
 ・ 表示例: 外線 4

6 **ア** 1 **を押す**

《通話料金集計 - 外線 4 》
消去しました

・ 選択された外線No.の通話料金を消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作 1 はメニュー特番 9 3、
 操作 1、2 は、メニュー特番 9 3 3、
 操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 9 3 3 XX (XX : 0 1 ~ 2 0 (外線 1 ~ 2 0))
 操作 1 ~ 6 は、メニュー特番 9 3 3 XX 1 (XX : 0 1 ~ 2 0 (外線 1 ~ 2 0))
 として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

《電話機ごとの通話料金集計消去》

1 確定 を押す

《通話料金集計》
1 システム
2 テナント
3 外線



《通話料金集計》
4 電話機
<input type="button" value="保留 戻る"/>
1 システム

・《通話料金集計》へ進みます。

・表示例：にて、ページを切り替えると、**4** 電話機を表示します。

・《通話料金集計 - 電話機》へ進みます。

2 を押す

《通話料金集計 - 電話機》
内線 10:目黒太郎
内線 11:目黒次郎
内線 12:目黒三郎

3 内線No. を選択する

《通話料金集計 - 電話機》
内線 13
内線 14
内線 15

・にて、内線No.を選択します。

・表示例：にて、ページを切り替え、内線 13 を選択します。

4 を押す

《通話料金集計 - 内線 13》
【 9 9 9 9 9 9 円】
1 消去
<input type="button" value="保留 戻る"/>

・選択された内線No.の通話料金集計し、表示します。

・表示例：内線 13

5 を押す

《通話料金集計 - 内線 13》
消去しますか？
1 はい
2 いいえ

・選択された内線No.の通話料金集計の消去確認に進みます。

・表示例：内線 13

6 を押す

《通話料金集計 - 内線 13》
消去しました

・選択された内線No.の通話料金を消去し、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 3、
操作 1、2 は、メニュー特番 9 3 4、
操作 1 ~ 4 は、メニュー特番 9 3 4 XX (XX : 1 0 ~ 8 9 (内線 2 桁モード時))
または 9 3 4 YYY (YYY : 1 0 0 ~ 8 9 9 (内線 3 桁モード時))
操作 1 ~ 6 は、メニュー特番 9 3 4 XX 1 (XX : 1 0 ~ 8 9 (内線 2 桁モード時))
または 9 3 4 YYY 1 (YYY : 1 0 0 ~ 8 9 9 (内線 3 桁モード時))
として電話機の に登録できます。(221ページ参照)

ダイヤル回線からプッシュ信号を送出する（プッシュ信号送出）

ダイヤル（DP）回線をお使いの方でも、外線発信のときに電話がつながると自動的にプッシュ信号（PB）に切り替わり、「ピポパポ」音を送出されます。（自動PB切り替え）銀行の残高照会、航空券予約などのサービス、ディスプレイケベルの操作などができます。また、自動でプッシュ信号に切り替わった後、通話中にダイヤル（DP）に戻す場合 リダイヤル を押します。（ * # を押すと再度、プッシュ信号（PB）になります。）

1 電話をかける

・サービス提供先等に電話をかけます。

2 相手につながる

・サービス提供先等に電話につながります。

3 ダイヤルボタンを押す

・サービス提供先等の指示にしたがってダイヤルボタンを押します。

MEMO

JRの指定席予約（#9500）やNTTの伝言ダイヤルなどのサービスは、プッシュ回線（PB）専用ですのでダイヤル回線（DP）では利用できません。

外線着信、NTTへのお問い合わせ「113」、「116」（局番なし）、およびフリーダイヤル0120などは自動PB切り替えになりません。この場合、通話中に * # を押すとプッシュ信号に切り替わります。

構内交換機（PBX）に接続している場合は、自動PB切り替えができないこともあります。

リダイヤル（特殊番号43）は電話機の オート に登録できます。（222ページ参照）

内線番号の確認

使っている電話機の内線番号の確認ができます。

1 **確定** **ラ 9** **カ 2** **ハ 6** **を押す**

・使っている電話機の内線番号を表示します。

内線 10
目黒太郎
テナント 1

MEMO

操作 1 は、メニュー特番 9 2 6 として、電話機の **オート** に登録できます。(221ページ参照)

本システムは、ドアホンと通話することができます。ドア・ページングユニットが必要です



- ・ドアホンから呼び出し

1 呼出音が鳴る

ドアホン着信
ドアホン 1

- ・スピーカから呼出音が鳴ります。
- ・表示例：ドアホン1

2

ドアホン通話中
1 2 = ドアホン 1

- ・ドアホンと通話できます。
- ・表示例：内線12応答

MEMO

ドアホン呼出音の選択は、工事設定によります。

ドアホン呼出音が鳴り始めてから、15秒以内に応答してください。15秒過ぎると応答できません。

ドアホンは、最大3台まで接続できます。但し、同時通話は1台です。

外線通話中または内線通話中にドアホン着信があると、スピーカから呼出音が鳴ります。

通話を終了するか保留してから応答してください。

工事設定により、ドアホン着信にオフフックしただけで自動応答できなくすることもできます。

T V ドアホンの場合は、約2分30秒で、通話およびT V モニタが切れます。

ドア・ページングユニットが必要です。

1 スピーカ を押す

内線発信
1 2 []

スピーカ ランプ：赤点灯

- ・内線発信音「プッププッ・・・」
- ・表示例：内線12

2 ラ WXYZ 9 ヤ TUV 8 を押す

内線発信
1 2 [9 8]

3 ア 1 ~ サ DEF 3 のいずれかを押す

ドアホン通話中
1 2 = ドアホン 1

- ・ドアホンの番号を押します。

ア 1 : ドアホン 1

カ ABC 2 : ドアホン 2

サ DEF 3 : ドアホン 3

- ・表示例：ドアホン1

4 ドアホンモニタ

5 スピーカ (終了) を押す

スピーカ ランプ：消灯

MEMO

操作 2、3 は内線特番 9 8 1 ~ 9 8 3 として、電話機の オート に登録できます。(219ページ参照)
付属のステッカ「ドアホンモニタ」シールを貼ると便利です。

工事設定により、ドアホン通話中に電機錠などを解錠します。ドア・ページングユニットが必要です。

1 ドアホン通話中

ドアホン通話中
1 2 = ドアホン 1

2 機能 を押す

機能 ランプ：赤点灯

3 ハ MNO 6 を押す

・ドアロックを解錠します。

機能 ランプ：消灯

ドアホン通話中
1 2 = ドアホン 1
ドア解錠

MEMO

操作 2、3 は機能特番 6 として、電話機の オート に登録できます。(220ページ参照)
付属のステッカ「ドア解錠」シールを貼ると便利です。

IP電話サービス回線で電話をかける（IP電話対応ACR機能）

外線をかけるとき、通話料金の安いIP電話回線を自動的に選択して発信することができます。

IP電話サービス回線を利用して発信する場合は、「プリセットダイヤル」や「オフフック発信」を利用して発信します。IP電話サービス回線を使用される場合は、工事設定が必要です。

IP電話サービス回線をご利用になるには、IP電話サービスの提供会社との契約が必要です。

〈プリセットダイヤル〉

1 電話番号を押す

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると下16桁を表示します。

2 発信 を押す

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1
IP電話サービス アクセス

- ・IP電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にIP電話サービス回線を選択します。
- ・IP電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合は、一般の電話回線を自動的に選択します。
 - 外線 ランプ：緑点灯
 - スピーカ ランプ：赤点灯

〈オフフック発信〉

この機能を使用される場合は、工事設定が必要です。

1 電話番号を押す

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

- ・ダイヤルボタンで入力します。
- ・電話番号が17桁以上になると下16桁を表示します。

2

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1
IP電話サービス アクセス

- ・IP電話サービスの提供エリアへの発信の場合は、自動的にIP電話サービス回線を選択します。
- ・IP電話サービスの提供エリアでない電話番号の場合は、一般の電話回線を自動的に選択します。
 - 外線 ランプ：緑点灯
 - スピーカ ランプ：赤点灯

MEMO

電話番号の入力は、電話番号を押す以外に、電話帳や発信履歴・着信履歴から選んでかけることができます。

IP電話サービス回線の 外線 を直接選んでから、電話番号を入力することもできますが、IP電話サービスの提供エリア以外の電話番号にはつながりませんのでご注意ください。提供エリアにつきましては、IP電話サービス提供会社にご確認ください。

IP電話サービス回線の 外線 を直接選んでから、電話番号を入力する場合は、ダイヤルとダイヤルの間が規定時間以上かかった場合つながりませんのでご注意ください。規定時間につきましては、IP電話サービス提供会社にご確認ください。

IP電話回線をご利用しない場合は、一般の電話回線用の 外線 を押します。

《NTT回線を利用して外線をかけるとき》

NTT回線を利用する場合には、0000（NTT強制接続コード）を付けてダイヤルしてください。

1 (4回) を押す

- ・  4回は、「NTT強制接続コード」です。

外線発信
0 0 0 0

2 電話番号を押す

- ・ ダイヤルボタンで入力します。
- ・ 電話番号が17桁以上になると、上16桁を表示します。

外線発信
0 0 0 0 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

3 を押す

- ・ NTT電話回線を選択して、発信します。

外線発信
0 0 0 0 0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

外線 ランプ：緑点灯

スピーカ ランプ：赤点灯

ですくdeにゆーすを利用する / しない

ですくdeにゆーすは、インターネット上にあるサーバから、ニュースや天気予報を定期的に自動取得して、電話機に表示することができます。

ですくdeにゆーすを利用するには、インターネット接続ユニット（オプション）が必要です。

本システムは、10種類のニュースを電話機に表示することができます。

ここでは、ですくdeにゆーすを利用するかしないかを設定します。

《登録のしかた》


1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **ヤ 8** を押す

《ですくdeにゆーす利用設定》
【しない】
② しない
保留 戻る



《ですくdeにゆーす利用設定》
【しない】
① する
② しない

- ・《ですくdeにゆーす利用設定》へ進みます。
- ・初期設定は「しない」です。

・表示例に  を押すと、①するを表示します。

2 **ア 1** を押す

《ですくdeにゆーす利用設定》
設定しました

- ・ですくdeにゆーすを利用するに登録され、カレンダー・時計表示に戻ります。

《解除のしかた》

1 **確定** **ラ 9** **ア 1** **ヤ 8** と押す

《ですくdeにゆーす利用設定》
【する】
① する
② しない



- ・《ですくdeにゆーす利用設定》へ進みます。

2 **カ ABC 2** を押す

《ですくdeにゆーす利用設定》
解除しました

- ・ですくdeにゆーす利用が解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

操作1は、メニュー特番918として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
この場合、 オート を押すごとに、「セット」「解除」を繰り返します。

ニュースの更新は自動的おこないません。(工事設定による)
ここでは、手動での更新のしかたを説明します。

1 **確定** **ヤ 8** **サ 3** を押す

・《手動更新》確認へ進みます。

《手動更新》 更新しますか？ <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ

2 **ア 1** を押す

- ・ニュースを更新して、カレンダー・時計表示に戻ります。
- ・設定内容無効または設定可能時間外の場合は「無効、または時間外です」が表示されます。

MEMO

操作1は、メニュー特番83として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)

電話機ごとに表示する / しないを設定する (ニュース個別表示設定)

電話機ごとにニュースの表示する / しないを設定します。
表示する場合は、ニュースの流れる速度を設定します。

《表示する場合》

1 **確定** **ヤ TUV 8** **カ ABC 2** を押す

《スクロール設定》
【表示しない】
1 表示しない
2遅い

- ・《スクロール設定》へ進みます。
- ・初期設定は「標準」です。

2 **カ ABC 2** ~ **タ GHI 4** のいずれかを押す

《スクロール設定》
設定しました

- ・スクロール表示の速さを選択します。
2 遅い、**3** 標準、**4** 速い
- ・選択された速さでスクロール表示するように設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。

《表示しない場合》


1 **確定** **ヤ TUV 8** **カ ABC 2** を押す

《スクロール設定》
【標準】
3 標準
4速い



《スクロール設定》
【標準】
1 表示しない
2遅い

- ・《スクロール設定》へ進みます。
- ・初期設定は「標準」です。

・表示例：  を押して、ページを切り替えると、**1**表示しないを表示します。

2 **ア 1** を押す

《スクロール設定》
設定しました

- ・ニュースを表示しないに設定され、カレンダー・時計表示に戻ります。

MEMO

ニュース個別表示設定はメニュー特番として、電話機の **○オート** に登録できます。(221ページ参照)
表示する場合、メニュー特番 8 2 X (X: **2** 遅い、**3** 標準、**4** 速い)
表示しない場合、メニュー特番 8 2 1

ニュースの一覧を見る

(ニュース一覧表示)

電話機ごとにニュースの一覧表示を見ることができます。




1 確定 を押す

《ニュース一覧》
ニュース1のタイトル
ニュース2のタイトル
ニュース3のタイトル


- ・《ニュース一覧》へ進みます。
- ・ニュースのタイトルは最大10項目です。
- ・ニュースがない場合は、「データなし、または更新中です」が表示されます。

2 他のニュースのタイトルを見る

《ニュース一覧》
ニュース4のタイトル
ニュース5のタイトル
ニュース6のタイトル

- ・  により他のニュースのタイトルが見られます。
- ・表示例： を押して、ページを切り替えます。

MEMO

操作1は、メニュー特番81として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)
付属のステッカ「ニュース一覧」シールを貼ると便利です。

ニュースを見る

(ニュース表示)

電話機ごとにニュースを見ることができます。




1 確定 を押す

《ニュース一覧》
ニュース1のタイトル
ニュース2のタイトル
ニュース3のタイトル

- ・《ニュース一覧》へ進みます。
- ・ニュースのタイトルは最大10項目です。
- ・ニュースがない場合は、「データなし、または更新中です」が表示されます。

2 ニュースを選択する

《ニュース一覧》
ニュース1のタイトル
ニュース2のタイトル
ニュース3のタイトル

- ・  にて見たいニュースを選択します。
- ・表示例： を押して、ニュース2のタイトルを選択します。

3 確定 を押す

ニュース2の内容

- ・選択されたニュースの内容が表示されます。

MEMO

操作1は、メニュー特番81として、電話機の  オート に登録できます。(221ページ参照)

ヘッドセット接続

受話器の代わりにヘッドセット（推奨品）を接続して通話することができます。
ヘッドセットを接続するには、工事設定が必要です。

〈ヘッドセットでの発信〉

1 電話番号を押す

外線発信
0 3 3 4 9 3 5 1 1 1

2 発信 を押す

外線 ランプ：緑点灯

スピーカ ランプ：赤点灯

(ヘッドセットで通話)

3 スピーカ (終話) を押す

・終話をします。

外線 ランプ：消灯

スピーカ ランプ：消灯

〈ヘッドセットでの応答〉

外線着信に対する応答

1 スピーカ を押す

・外線着信に応答します。

外線 ランプ：緑点灯

スピーカ ランプ：赤点灯

(ヘッドセットで通話)

2 スピーカ (終話) を押す

・終話をします。

外線 ランプ：消灯

スピーカ ランプ：消灯

MEMO

受話器は、置いたままの状態（オンフック状態）で、ヘッドセット通話が利用できます。
ヘッドセットの取付方法、操作方法は、ヘッドセットに付属の説明書をご覧ください。
ヘッドセットは、当社推奨品をご利用ください。ヘッドセットの種類によっては、うまく動作しないものがあります。
ヘッドセットを接続した電話機からは、次の機能は利用できません。
・スピーカ受話
・ハンズフリー通話
ヘッドセットの購入については、お買い上げの販売店にご相談ください。

《ページング（構内放送）》

ドア・ページングユニットを接続し、ページング（構内放送）装置と組み合わせると、電話機から構内放送ができます。

電話機から構内放送をする

1 

- ・内線発信音「プッププッ・・・」

内線発信 1 0 []

2

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

ナ JKL	5
----------	---

 を押す

- ・内線特番を押します。

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

ナ JKL	5
----------	---

 : 構内放送 1

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

ハ MNO	6
----------	---

 : 構内放送 2

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

ヤ TUV	8
----------	---

 : 構内放送一斉

- ・予告音が聞こえます。
- ・表示例：構内放送 1

内線発信 外部スピーカ 1

(構内放送 1 のとき)

構内放送呼び出しに応答する

1 

- ・内線発信音「プッププッ・・・」

内線発信 1 0 []

2

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

＊

 を押す

- ・

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

＊

 : 外部スピーカ 1 呼出応答

- ・

ラ WXYZ	9
-----------	---

マ PQRS	7
-----------	---

＃

 : 外部スピーカ 2 呼出応答

- ・ 構内放送一斉のときは、外部スピーカ 1、または 2 呼出応答のどちらでも応答できます。


MEMO

別々の電話機から、それぞれ、構内放送 1 と構内放送 2 を同時に利用できます。

工事設定により、構内放送からの予告音を停止することができます。

工事設定により、外線着信音を構内放送から流すこともできます

工事設定により、予告音が鳴動中に音声を送出することもできます。

構内放送する、または呼び出しに応答するときの操作は、内線特番 9 7 5、9 7 6、9 7 8、9 7 ＊、9 7 # として、電話機の  オート に登録できます。(219ページ参照)

付属のステッカ「構内呼出 1 」、「構内呼出 2 」、「構内応答 1 」、「構内応答 2 」シールを貼ると便利です。

その他の接続（アンプアダプタ / BGM放送）

〈アンプアダプタ〉

アンプ・ブザー（AMP・BZ-01）をTD510電話機、TD520電話機に接続すると、電話機から出るスピーカ音などが拡声されます。ただし、PF500電話機には接続できません。

外線発信時の「ツー」音、ダイヤルボタン等を押したときのボタン押下音、およびBGM放送などは、拡声されません。

〈BGM放送〉

BGM音源と組合せると電話機が未使用のとき、ドア・ページングユニットを接続し、電話機のスピーカや構内放送からBGMを流すことができます。工事設定が必要です。

1 機能 を押す

機能 ランプ：赤点灯

2 を押す

3 機能 を押す

・約5秒後に表示が消えます。

機能 ランプ：消灯

《BGM設定》
BGM ON

MEMO

BGM放送の操作1～3は、機能特番93として電話機のオートに登録できます。（220ページ参照）登録後は、オートを押すごとに「設定」「解除」を繰り返します。

単独電話機用ポートFAXを接続できます。

FAXの送信はお使いのFAXの操作方法に従ってください。

FAXの無鳴動着信の受け付けはできません。

電話とFAXを共用してご利用される場合は、ダイヤルインサービスまたはi・ナンバーサービスを利用したFAX接続をお勧めします。

かかってきた電話がFAX送信のとき、FAXへ転送できます。

1 着信音が鳴る

・  外線着信音：「ブルル...」

2

・ 外線着信音：消音

3 FAX送信音（「ボ...ボ」）が聞こえる

4 保留を押す








・ 内線発信音「プッププッ...」

5 FAXの内線番号を押す

・ 単独電話機用ポートの場合、

Stdは、  または  、




Proは、  または   を押します。

・   と   の代わりに    を押しても操作できます。

6

・ FAXに自動で転送されます。

MEMO

操作4、5で   と   の場合は、内線特番999として、電話機の  オート に登録できます。(219ページ参照)

登録後は次の操作をします。

着信音が鳴る   

付属のステッカ「FAX」シールを貼ると便利です。

保留転送後、転送先が約30秒経過しても応答しない場合は、保留警告音が鳴ります。

